地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

型番 LVW-264K

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

はじめに

本機には、はじめて電源を入れたときに、"かんたん設定"画面が表示され、テレビ放送の視聴に必要な設定を行なう機能があります。
「かんたん設定をする」P.33をご覧になり、設定してください。

保証書について

- 保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

- 本機は業務用途、監視用途には対応していません。

もくじ

ページ

次ページへつづく

テレビを見る

テレビを使いこなす

メニューからの操作

次ページへつづく

デジタル放送を録る/予約する/見る

(録画には HDMI CEC 対応のレコーダーとの接続が必要です)

テレビをお好みの設定にする

次ページへつづく

テレビを お好みの設定にする

ページ

お知らせ

困ったとき

安全のために必ずお守りください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋･家財などの損害に結び付く可能性があるもの

- 絵表示の例

● 記号は必ず行なっていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- 絵表示の意味

 必ず指示にしたがい、行なってください。

 絶対に行なわないでください。

 絶対に触れないでください。

 絶対に濡らさないでください。

 注意してください。

 破裂に注意してください。

 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 絶対に分解/修理はしないでください。

 絶対に水場では使用しないでください。

 絶対に濡れた手で触れないでください。

 高温に注意してください。

 指をはさまないよう注意してください。

家庭用品品質表示法に基づく表示

使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりを取るため内部を掃除するときは、販売店、電気店等に相談してください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

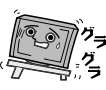
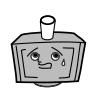
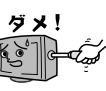
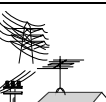
※ **この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。**

■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

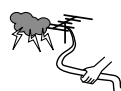
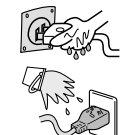
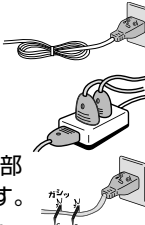
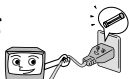
■ 本液晶テレビの廃棄

- 事業者が廃棄する場合
本液晶テレビを廃棄するときには廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理票は、（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
本液晶テレビの蛍光管には、水銀が含まれております。本液晶テレビを廃棄するときは、お買い上げ先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください。
また本機を廃棄されるときは「全情報の初期化」を行なう必要があります。詳しくはP.133ページをご覧ください。

■ ご注意

本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。
この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。

- ビデオの上に本機を直接置いた場合、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

⚠警告

■ ご使用になるとき

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

- 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

水漏れ禁止

本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

- こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

水濡れ禁止　水場での使用禁止

本機を水でぬらさない

水滴のかかる場所に置かない

- 海岸・水辺や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

改造・分解禁止

本機を改造または分解しない

- 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

アンテナは送配電線から離れた場所に設置する

- 倒れた場合は感電事故の原因になります。

■ 電池の取り扱い

乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものを使用する

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

電池は乳幼児の手の届かないところへおいてください

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

■ 電源コード・プラグの取り扱い

電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。
通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。

交流100V

本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

- 指定（表示）以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

電源プラグのほこりなどはとる

- 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

接触禁止

雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグにふれない

- 落雷すると誘導雷雷により感電することがあります。

禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

- 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

禁止

電源コードを正しく使用する

- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
- タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない

- **破損させない**
- **加熱しない**
- **引っぱらない**
- **加工しない**
- **切断しない**
- **ねじらない**
- **曲げない**
- **重いものをのせない**

●そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる

- 発火の原因になります。

次ページへつづく

⚠警告

■ 電源コード・プラグの取り扱い(つづき)

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

- 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。

- 時々点検をしてください。

本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない

- 火災・感電の原因になります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない

- 感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください

- 感電の原因になります。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

使用禁止

プラグを抜く

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 異常が発生したときは電源プラグを抜く

使用禁止

プラグを抜く

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
  お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

■ 設置・移動のご注意

海水や塩害に注意

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。

使用禁止

本機を車の中で使用しない
自動車内に放置しない

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

設置禁止

本機を次のような場所に置かない

- **湿気やほこりの多い場所**
- **油煙や湯気が当たる場所**
- **熱器具の近く**
- **他のテレビの近く**
- **直射日光の当たる場所**
- **押し入れや本棚など風通しの悪い場所**
- **閉めきった自動車内など高温になるところ**

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

次ページへつづく

禁止

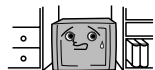
本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない

- バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

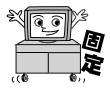
本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

- 故障の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがない

- **風通しの悪い狭い場所に置かない**
- **じゅうたんや布団の上に置かない**
- **テーブルクロスなどをかけない**
- **本機の設置は、上面30cm以上、背面20cm以上、左右10cm以上の間隔をおく**

- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください

安定した場所に設置する

- 本機は安定した場所に設置してください。
  転倒し、けがの原因となることがあります。

■ 電源コード・プラグの取り扱いのご注意

プラグを抜く

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

- **長時間外出するとき**
- **旅行をするとき**
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

- **アンテナ線や外部の接続線もはずす**

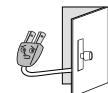
- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

電源コードを引っ張らない

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引き回さない

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

- 発煙や発火の原因となります。

高温注意

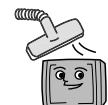
電源コードを熱器具に近付けない

- コードの被覆が溶けて火災/感電の原因となることがあります。

■ ご使用になるときのご注意

掃除

年に一度を目安に本機内部の掃除を依頼する

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

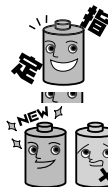
液晶パネルの破損

- 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

■ 電池の取り扱いについてのご注意

正しく入れる

乾電池は正しく挿入する

- **プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる**
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定されていない電池の使用
新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

破裂注意

乾電池の取り扱いに注意

- **ショートさせない**
- **分解・加熱をしない**
- **火の中に投入しない**
- **日光や火等の過度の熱に晒さない**
- 破裂したりする危険があります。

ご使用上のお願い

電波妨害について

- 本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
- 横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

画面の残像について

- 静止画を長時間表示された場合や、画面モードを「ノーマル」で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

動作時の本体温度について

- 本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

液晶パネルについて

液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。

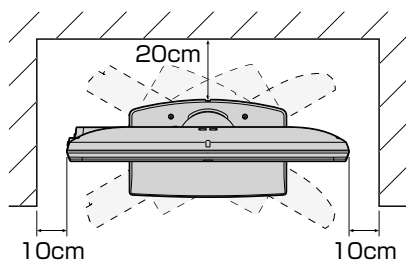
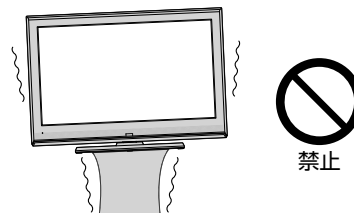
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布でふきとってください。
  液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐにふきとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ 液晶パネルの輝点（点灯したままの点）や黒点（点灯しない点）は保証の対象とはなりません。
■ お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■ データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■ 本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」P.133により個人情報を消去されることをおすすめします。

本機の設置についてのお願い

お願い!

傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
本機の下へ物をはさまないでください。

● 最低限、下図のスペースを取ってください。

● 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

転倒防止についてのお願い

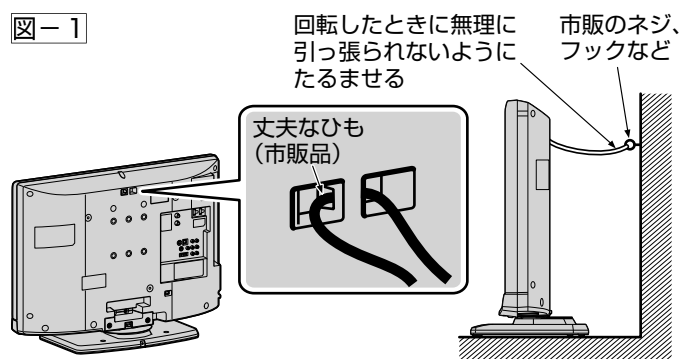
⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。
ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。

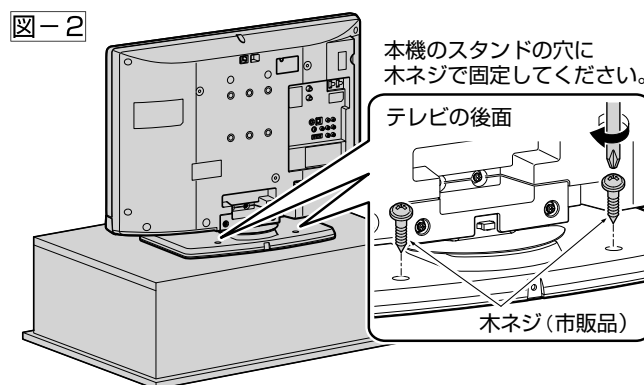
壁や柱などの安定した場所への固定

図−1のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

図−1

お願い! ● ひも、ネジなどの取り付けは確実に行なってください。

テレビ台への固定

図−2のように、お使いの台の天板と液晶テレビのスタンド(2カ所)を市販の木ネジで取り付けてください。スタンドのネジ穴部分の厚みは6.1mmです。

図−2

お願い! ● 再び移動させるときは木ネジをはずしてから行なってください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

■ 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
■ 付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンター P.134 へご連絡ください。なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
■ 万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■ あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(VHF:90～222MHz、UHF:470～770MHz、BS:1032MHz～1336MHz、CS:1595MHz～2071MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

操作できなくなった場合は

受信異常により、本機の操作ができなくなった場合はコンセントから電源プラグをいったん抜いて、しばらくして再度電源プラグを差し直してください。

電源プラグはコンセントから頻繁に抜かないことをおすすめします

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ(待機)状態でも、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行なわれる場合があります。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行なわれている場合)
降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください

B-CASカード挿入口には、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

本体前面／側面

お知らせ

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびデジタルチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行なわれる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、しばらく電源プラグをコンセントから抜き、しばらくして再度電源プラグを差してみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。
- くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

本体後面

〈下＝地上デジタル/アナログ入力〉
地上デジタルや地上アナログ用のアンテナ（VHF/UHF）を接続する。 P.21～24

〈上＝BS・110度CS-IF入力〉
BS・110度CSアンテナを接続する。 P.23

HDMI機器を接続する。 P.26、27

市販の光ケーブルで、デジタル音声（光）入力端子をもつオーディオ機器と接続する。 P.28

パソコンの音声出力を接続する。 P.29
映像入力端子は側面にあります。

ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力を接続する。 P.25

DVDプレーヤーなどのD映像出力やコンポーネント映像出力、ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力を接続する。 P.25

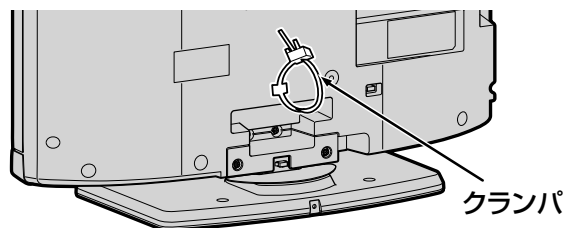
オーディオアンプなどへの音声出力端子。 P.28

(DC15V最大4W) BS·110度 CS-IF
(VHF／UHF) 地上デジタル／アナログ
アンテナ入力

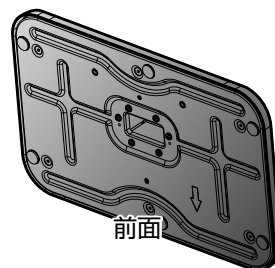
HDMI 映像·音声入力 1 2

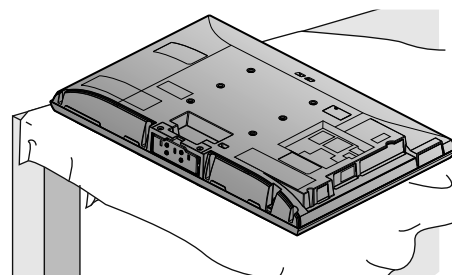
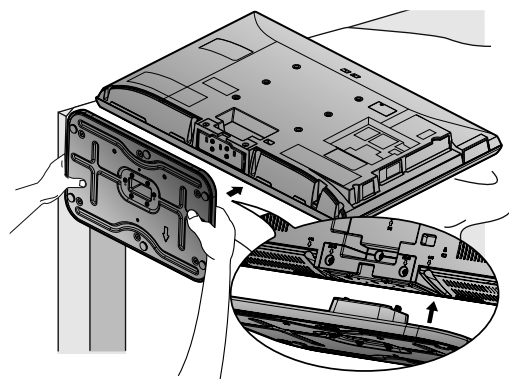
PC音声入力
デジタル音声(光)出力
音声出力 左 右
ビデオ1入力 S2映像 映像 左 右 音声
D端子1入力 D4映像 左 右

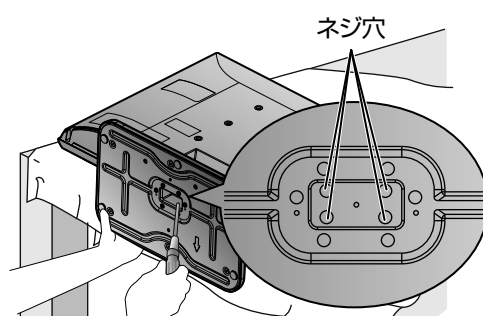
お願い

- 接続は、電源プラグを抜いてから行なってください。
- 映像·音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
- 映像…黄、音声ー左…白、音声ー右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

■クランパについては、「他の機器を接続したあとは…」P.29をご覧ください。

スタンドの取り付けかた

お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。
本体にスタンドを取り付ける際には、スタンドの前後が正しい方向に合うように注意してください。

1 本体を裏返して、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置いてください。
そのとき、画面を傷つけないように注意してください。

- テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- テーブルは必ず本体の重さに耐えることができて、本体より大きいものを使用してください。

2 スタンドを本体にゆっくりと、フックを差し込みながら完全に挿入してください。

3 スタンド取付ネジ（付属品）を４つのネジ穴に、プラスドライバーでしっかりと締めてください。

- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジにあったドライバーをご使用ください。

お願い！

- スタンドを取り付けるときに、すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。
スタンドが適切に取り付けられていなければ、本体が落下する原因となり本体を傷つけるだけでなく、けがをする場合もあります。

リモコン

ふだんよく使うボタン

電源を「入」「切」する。 P.38、40

消音 ……音を一時的に消す。

音量を調節する。 P.38、40

放送波を切り換える。 P.38、40

- 地デジ……地上デジタル放送
- BS……BSデジタル放送
- CS……110度CSデジタル放送
  押すごとに、CS1とCS2が切り換わります。
- アナログ……地上アナログ放送

視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。 P.111

入力切換 ▼……押すごとに、ビデオ1→側面端子→D端子1→HDMI1→HDMI2→HDMI3→PC→放送の順に切り換わる。 P.42

入力切換 ▲ を押すと逆方向に切り換わります。

使用しない入力をスキップする(飛ばす)ことができます。 P.108

数字ボタン

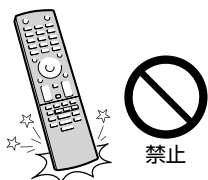
チャンネルを直接選んだり、数字を入力する。 P.38、40

視聴している放送の種類の中でチャンネルを昇順、または降順で切り換える。 P.38、40

ビデオ入力やPC入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

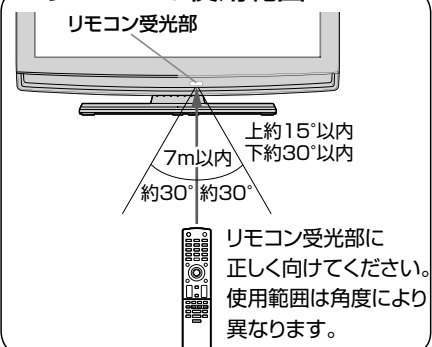
視聴しないチャンネルをスキップすることができます。 P.115、120

お願い！ リモコンの取り扱い

落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

リモコンの使用範囲

リモコン受光部に正しく向けてください。使用範囲は角度により異なります。

さらに便利に使いこなすボタン

地上アナログ放送のとき
このボタンに続けて2桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。 P.40

デジタル放送のとき
このボタンに続けて3桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ。 P.38

デジタル放送の番組表を表示する。 P.52

メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。 P.60
リンク機器の「操作パネル」表示中は、接続したHDMI CEC対応レコーダーの操作ができる。 P.85
「アクトビラ」の操作パネルを表示中は、アクトビラコンテンツの操作ができます。 P.57

テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。 P.41

番組表の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。 P.53
リンク機器の「操作パネル」表示中は、接続したHDMI CEC対応レコーダーの操作ができる。 P.85
「アクトビラ」の操作パネルを表示中は、アクトビラコンテンツの操作ができます。 P.57

番組内容 ……… 選択中のデジタル放送の番組内容を表示する。 P.54
アクトビラ … 「アクトビラ」のホーム画面を表示する。 P.56

押すごとに30分、60分、90分、120分後に電源が切れるように設定できる。 P.44

チャンネル番号、音声の種類、画面モード、未読メールの有無、現在時刻などを画面に表示する。 P.45

デジタル放送のとき
上記に加え、放送時間、番組名などを表示する。

メニューの操作を始めるときと終るときに押す。 P.60

メニューなどの画面を表示中に、1つ前の画面に戻る。 P.60

デジタル放送で現在放送中の裏番組を表示する P.47

HDMI端子を使って接続している機器を本機のリモコンで操作する。 P.85
HDMI CEC対応機器との接続が必要です。対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

「アクトビラ　ビデオ・フル」を視聴中に操作パネルを表示します。 P.57

画面モード … お好みの画面モードを選ぶ。 P.48

音声切換 ……… **地上アナログ放送のとき**
二重音声放送の主音声・副音声の切り換えとモノラル音声の設定をする。 P.43

デジタル放送のとき
複数の音声がある番組のときに、他の音声に切り換える。 P.43

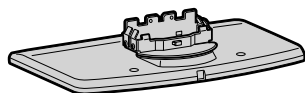
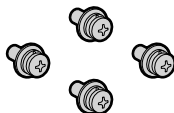
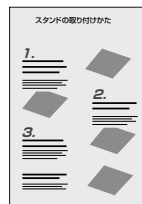
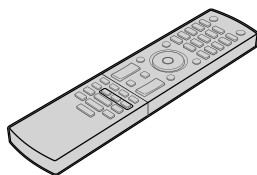
字幕 ……… 選択中のデジタル放送の字幕を表示する。 P.46

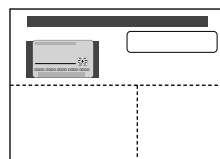
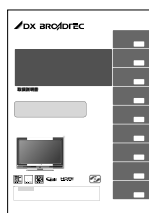
テレビを見るまでの準備の流れ

準備 1 付属品を確認する

※最初に本体と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取付方法は、本書 P.15 または付属品の「スタンドの取り付けかた」シートをご覧ください。

※スタンド…1台

※スタンド取付ネジ…4個

※スタンドの取り付けかた…1枚

リモコン(NH202JD)…1台

単4形乾電池…2個
(リモコン動作確認用)

B-CASカード…1枚

取扱説明書(本書)…1冊

かんたん準備ガイド…1冊

保証書…1枚

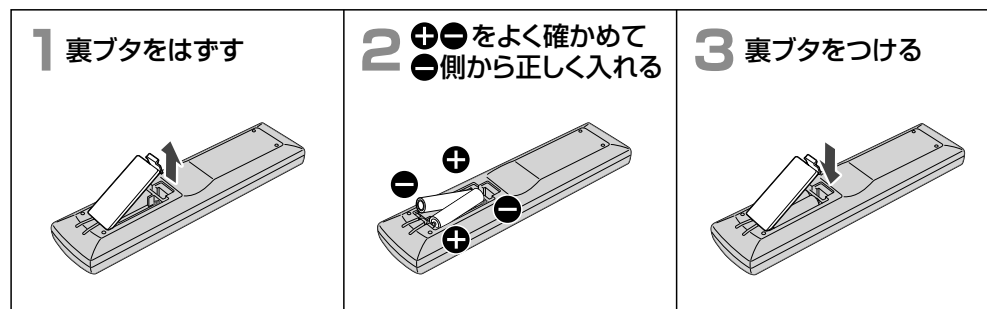
準備 2 リモコンの準備をする

乾電池を入れる

単４形乾電池　R03（UM-4）を２個使用

1 裏ブタをはずす

2 ⊕⊖をよく確かめて⊖側から正しく入れる

3 裏ブタをつける

⚠警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

⚠注意

乾電池は⊖側から入れる

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。

アルカリ乾電池ご使用の注意

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

準備3 B-CASカードを入れる

本機には、B-CASカードを付属しています。B-CASカードはデジタル放送を見るために必要です。
番組の著作権保護のため、B-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。
現在、デジタル放送をご覧にならなくてもB-CASカードを入れておかれることをおすすめします。
B-CASカードの詳しい説明は、P.134をご覧ください。

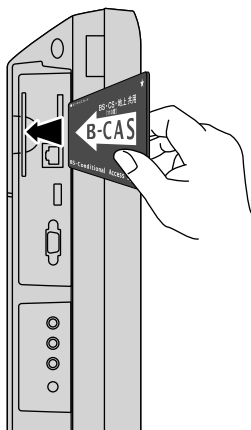
B-CASカードの入れかた

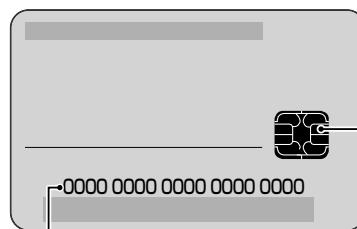
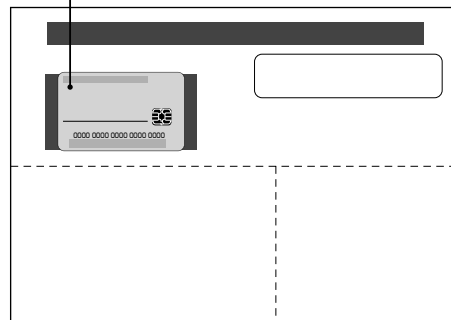
※ **B-CAS カードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課されることはありません。**

1 電源プラグをコンセントに差していないことを確認する

B-CASカードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行なってください。

2 B-CASカードを入れる

矢印の描かれている面が表面です。

本体背面から見て、カードを表面にして持ち、
矢印の方向に押し込んでください。

B-CASカードについて

B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC（集積回路）部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

- 万一B-CASカードを抜く必要があるときは、電源プラグをコンセントから抜いたあと、ゆっくりと抜いてください。
- B-CASカードにはIC（集積回路）が組込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

お願い！

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
  故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

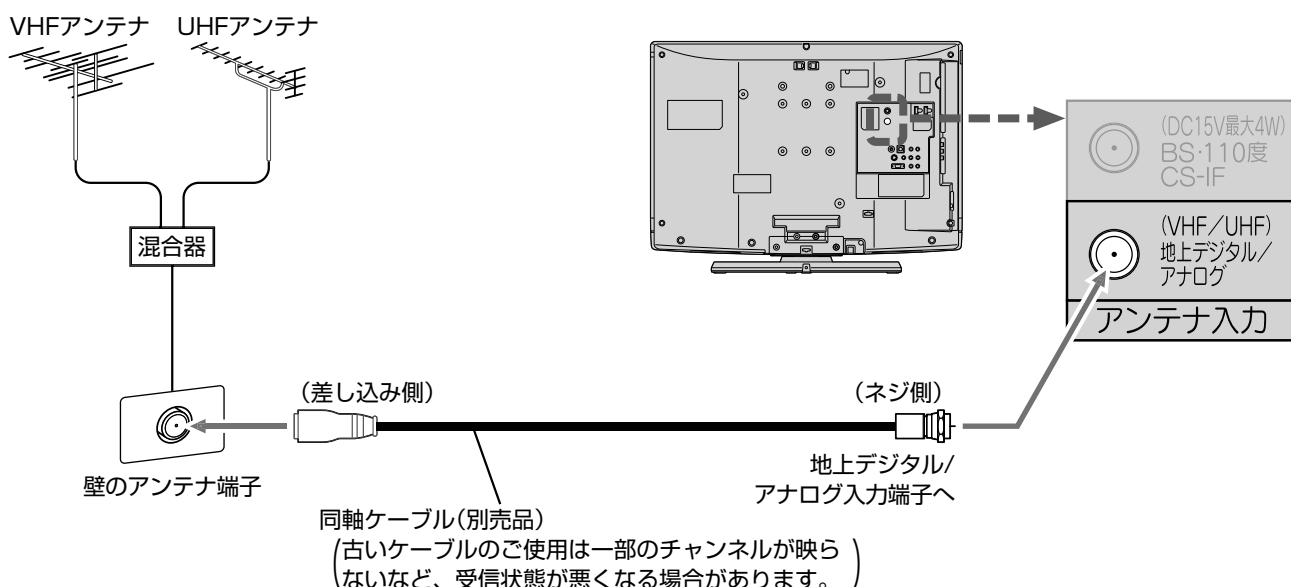
準備 4 アンテナ線(同軸ケーブル)をつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
21ページから24ページの図を参考にして、あてはまる接続を確実に行なってください。

VHF/UHFアンテナ　地上デジタル放送、地上アナログ放送を見るとき

- 地上アナログ放送や地上デジタル放送をご覧になるためには、VHF/UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。
  くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 現在VHFアンテナだけで地上アナログ放送を受信している場合、地上デジタル放送を受信するためには、あらたに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置が必要です。お買上げの販売店にご相談ください。

VHF/UHF混合またはケーブルテレビのとき

(**ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信する場合も、CATVアンテナ線を下図と同様につないでください。**
くわしくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。)

次ページへつづく

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37 をご覧ください。

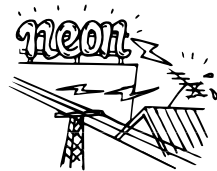
映像にしまが出たり、縦線状の妨害が出るとき

本機のようなプログレッシブ表示に対応したテレビ受像機は、デジタル回路を多く内蔵しています。このためアンテナ接続部のシールドをより強化して、デジタル回路から同軸ケーブルに飛び込むノイズを抑え込むことが、よりきれいな映像でご覧いただくためのコツです。

お願い

- アンテナ線の接続には、同軸ケーブル(別売品)にF形接栓(別売品)を取付けたものを使用してください。妨害を受けにくい二重シールドタイプ(3C-FB、5C-FB等)をおすすめします。
- 平行フィーダー線やF形接栓以外の同軸ケーブル用コネクターは、内部のデジタル回路やパソコン、他のAV機器などからの妨害を受けやすくなりますのでなるべく使用しないでください。
- アンテナ分配器などを使用されている場合は、それらの器具のシールド効果が弱い場合、本機から遠ざけると妨害が減ることがあります。

アンテナの場所

妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。
万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。映りが悪いときは販売店にご相談ください。

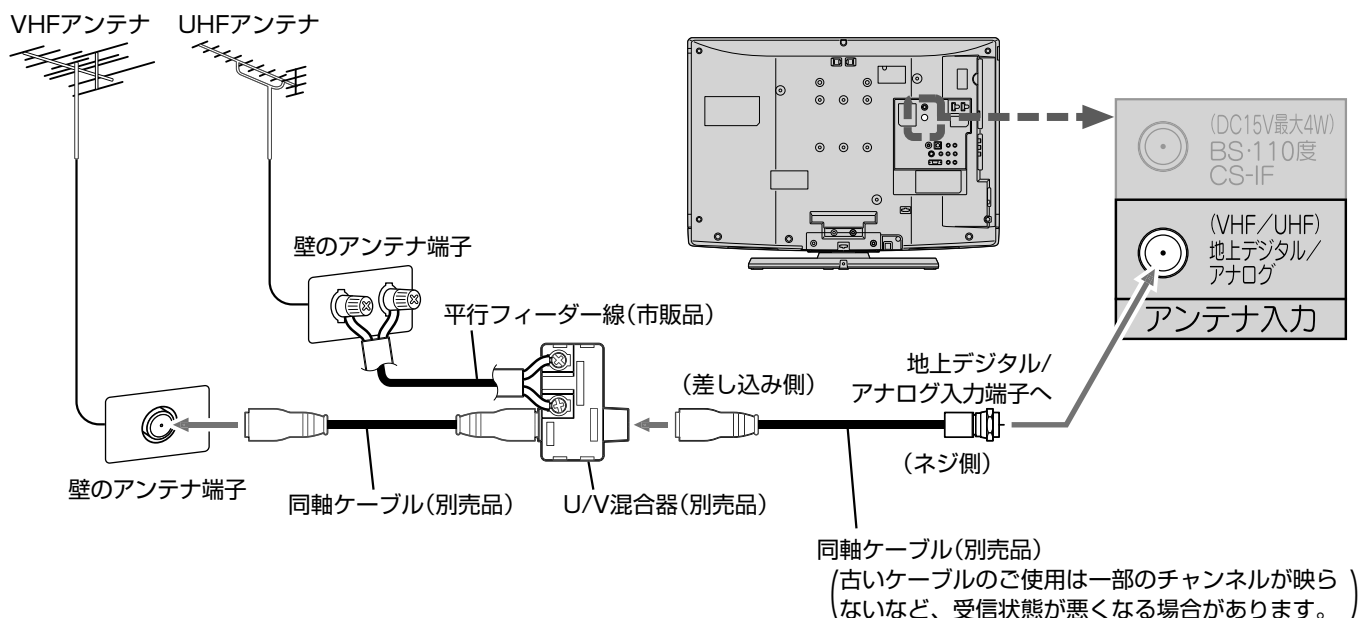
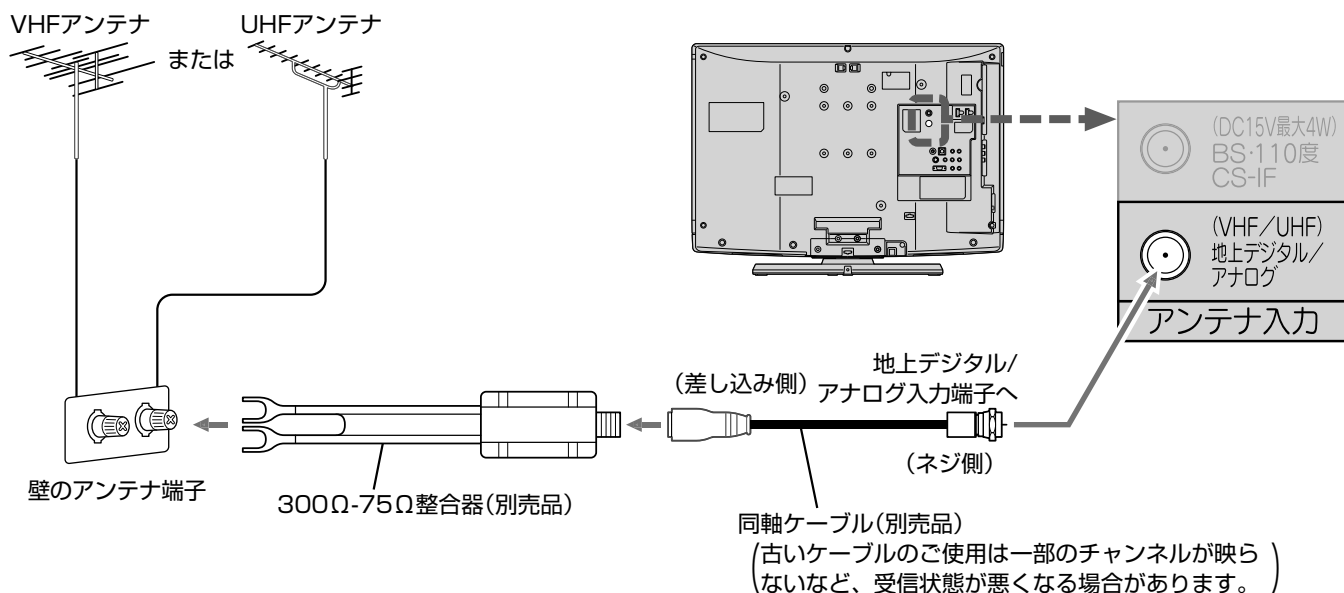
テレビを見るための準備　アンテナ線(同軸ケーブル)をつなぐ　B・CASカードを入れる

アンテナ線(同軸ケーブル)をつなぐ(つづき)

VHFとUHFがそれぞれ別になっているとき

同軸ケーブル(別売品)
(古いケーブルのご使用は一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。)

平行フィーダー線用のとき

同軸ケーブル(別売品)
(古いケーブルのご使用は一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。)

お願い!

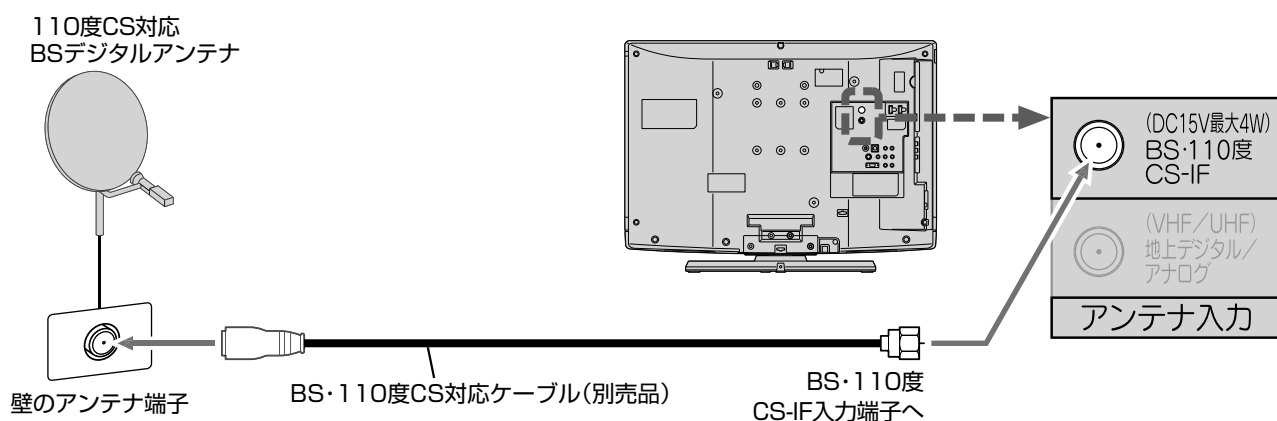
- 平行フィーダー線はデジタル回路からの妨害を受けやすくなりますのでなるべく使用しないでください。
- お部屋(壁側)のアンテナ端子が平行フィーダー線用端子の場合は、販売店にご相談ください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37をご覧ください。

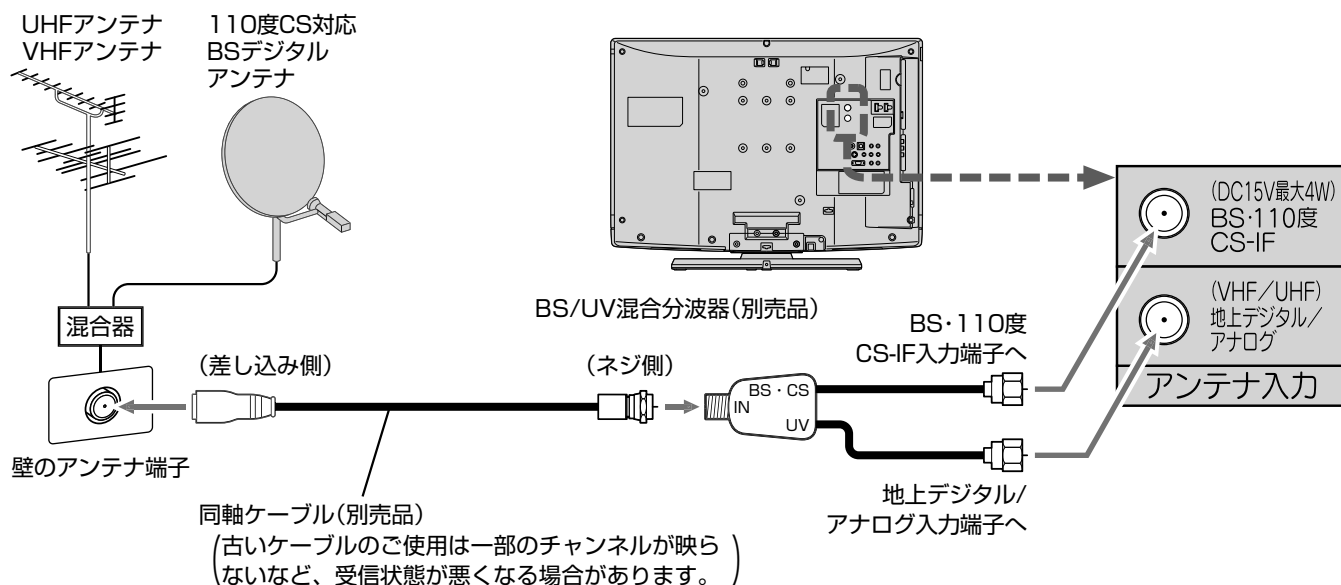
BS・110度CSアンテナ　BSデジタル・110度CSデジタル放送を見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

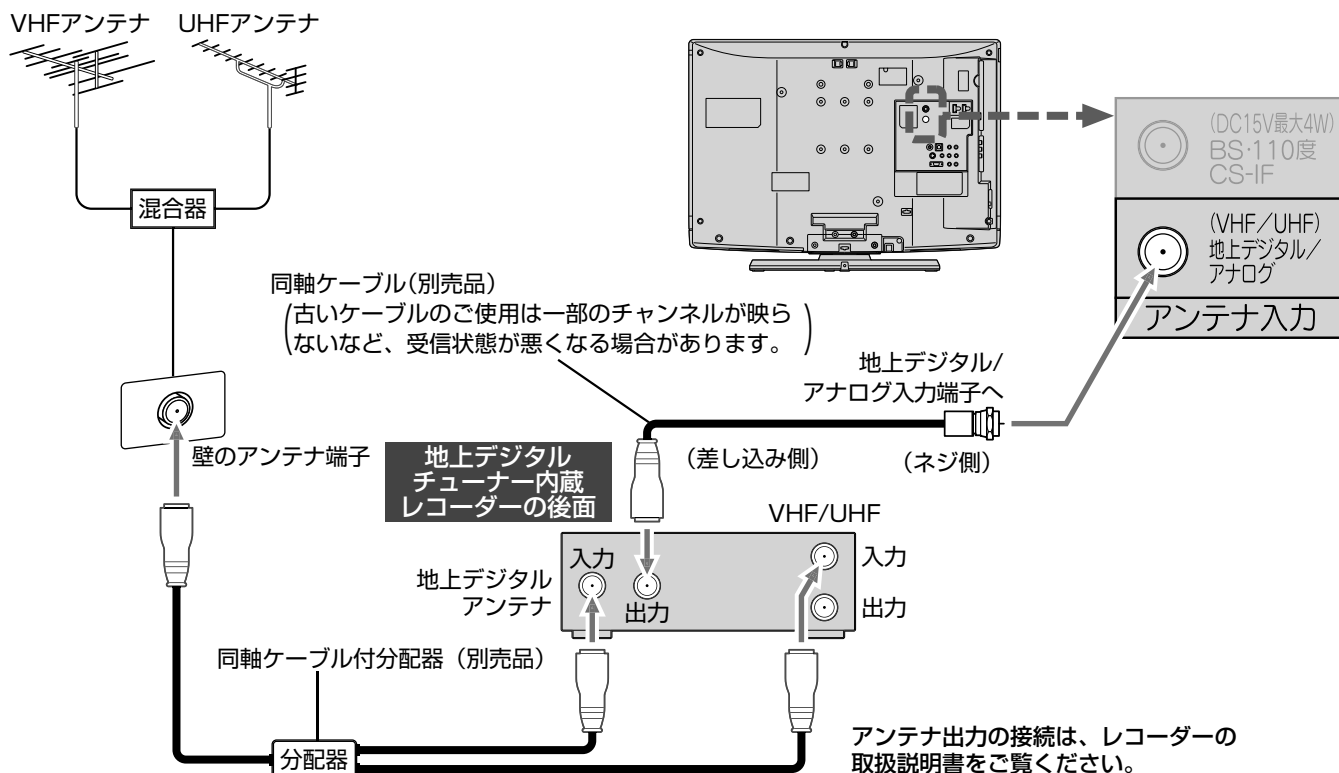
- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

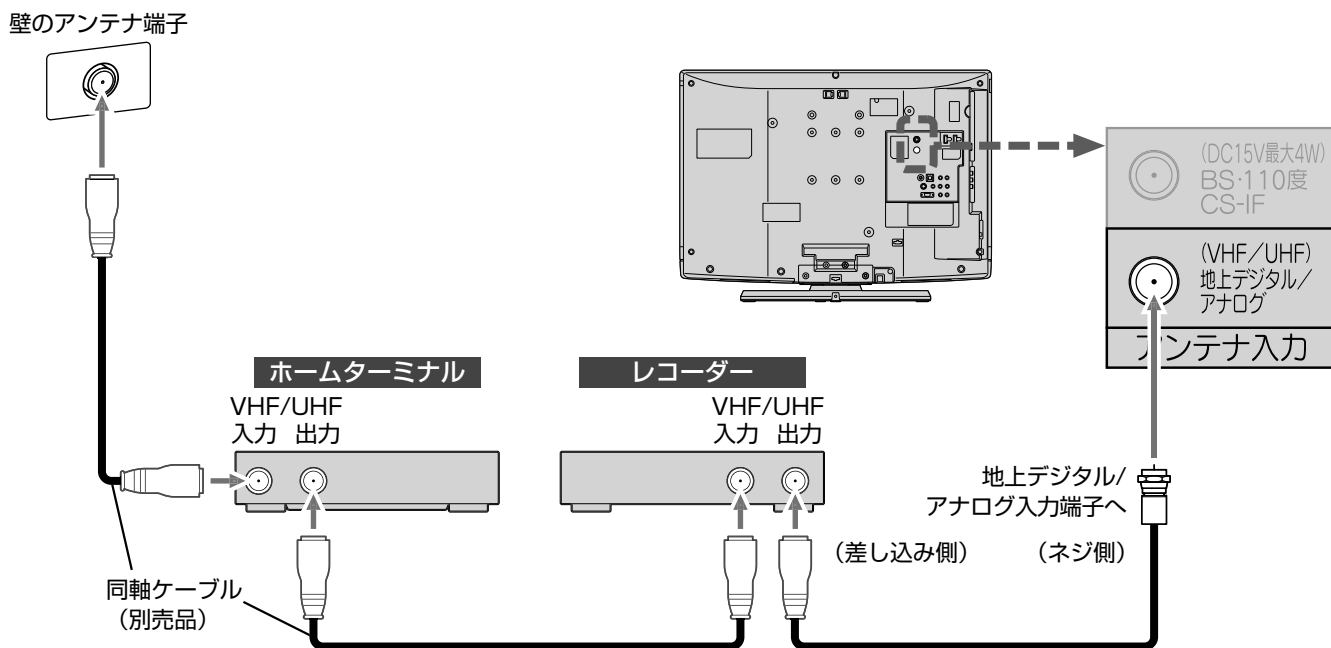
お知らせ　同軸ケーブルがショートしている状態でアンテナ電源を「テレビ連動」に設定 P.122 すると、保護回路がはたらき、自動的に「供給しない」に切り換わります。同軸ケーブルの買換え、修理については、販売店にご相談ください。

VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)

アンテナ線(同軸ケーブル)をつなぐ(つづき)

レコーダーを通して接続するとき

(例:レコーダーが地上デジタルチューナー内蔵で
アンテナ入力がVHF/UHF混合のとき)

アンテナ出力の接続は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

CATV(ケーブルテレビ)アンテナ

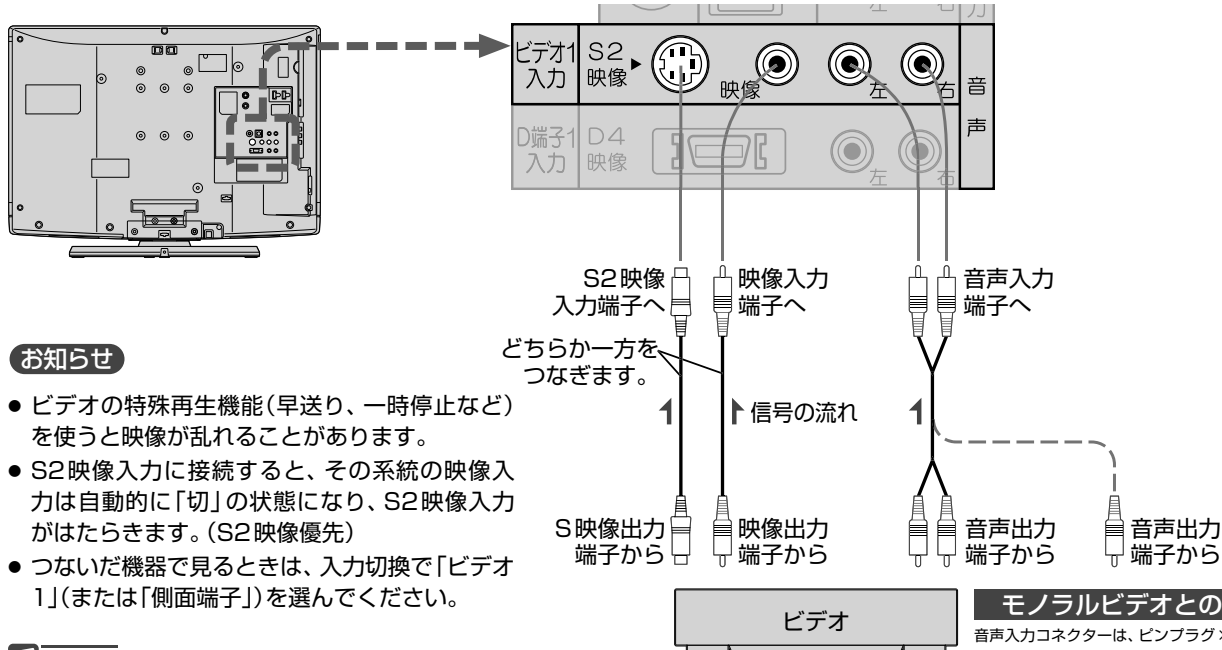
(例:ホームターミナルとレコーダーを接続するとき)

**代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問合わせください。**

準備 5 他の機器とつなぐ

ビデオとの接続

例：「ビデオ 1 入力」に接続する

モノラルビデオとの接続

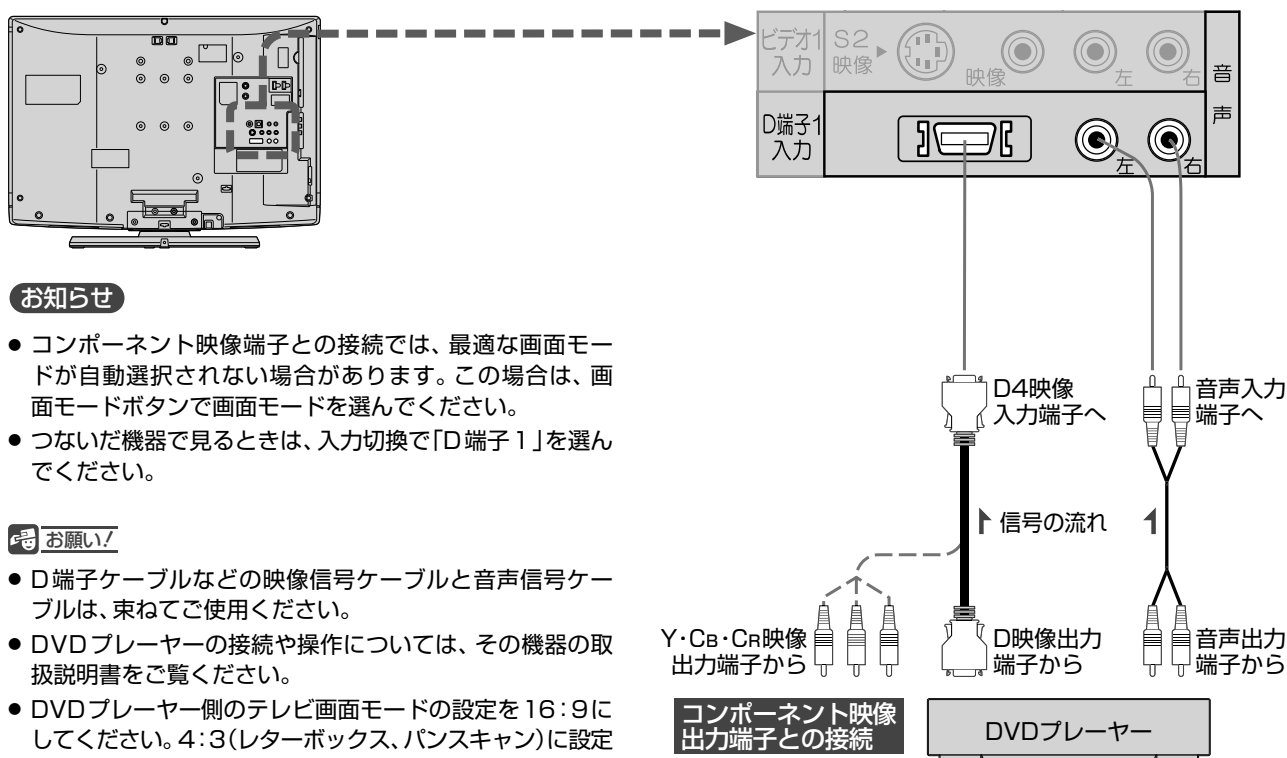
音声入力コネクターは、ピンプラグ×1←→ピンプラグ×2のケーブル（市販品）で、必ず映像入力コネクターと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

お知らせ

- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。
- S2映像入力に接続すると、その系統の映像入力は自動的に「切」の状態になり、S2映像入力がはたらきます。（S2映像優先）
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ1」（または「側面端子」）を選んでください。

お願い

- ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

DVD プレーヤーとの接続

コンポーネント映像出力端子との接続

お知らせ

- コンポーネント映像端子との接続では、最適な画面モードが自動選択されない場合があります。この場合は、画面モードボタンで画面モードを選んでください。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「D端子1」を選んでください。

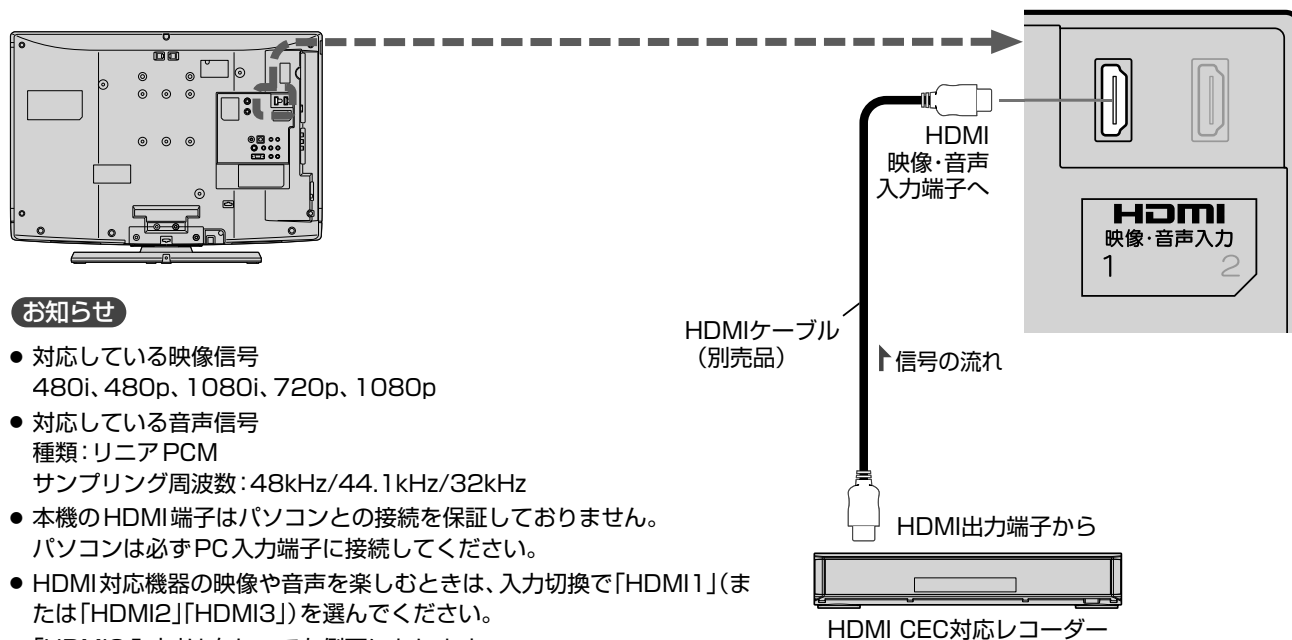
お願い

- D端子ケーブルなどの映像信号ケーブルと音声信号ケーブルは、束ねてご使用ください。
- DVDプレーヤーの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16：9にしてください。4：3（レターボックス、パンスキャン）に設定されていると適正な画面モードで見ることができません。

他の機器とつなぐ（つづき）

HDMI機器との接続

映像・音声信号を１本のケーブルでつなぐことができます。
HDMI CEC対応レコーダーでHDMI CEC機能をお使いになるには、この接続を行なってください。
HDMI CEC機能については、下記の解説をご覧ください。

例：HDMI CEC 対応レコーダーを「HDMI1 入力」に接続する

お知らせ

- 対応している映像信号
  480i、480p、1080i、720p、1080p
- 対応している音声信号
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- 本機のHDMI端子はパソコンとの接続を保証しておりません。
  パソコンは必ずPC入力端子に接続してください。
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「HDMI1」（または「HDMI2」「HDMI3」）を選んでください。
- 「HDMI3入力」は向かって左側面にあります。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れることがあります。

お願い！

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたカテゴリー２以上のものをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI CECについて

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。
HDMI CEC対応のレコーダーをHDMI接続して、「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」の「リンク制御」P.107を「入」に設定していると、本機のリモコンで次のような操作ができます。
（仕様は予告なく変更することがあります。）

- メインメニューに「リンク機器操作」を表示し、その接続機器を操作できます。（操作できる内容は、接続した機器によって異なります。）P.74
- 操作パネルボタンを押すと「操作パネル」を表示し、その接続機器を操作できます。P.85

お知らせ

- 他社製の機器をHDMI接続した場合、HDMI CEC対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部（今すぐ録画など）ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI1～3入力共にHDMI CEC対応機器を接続したときは、番号の小さい方から優先されます。

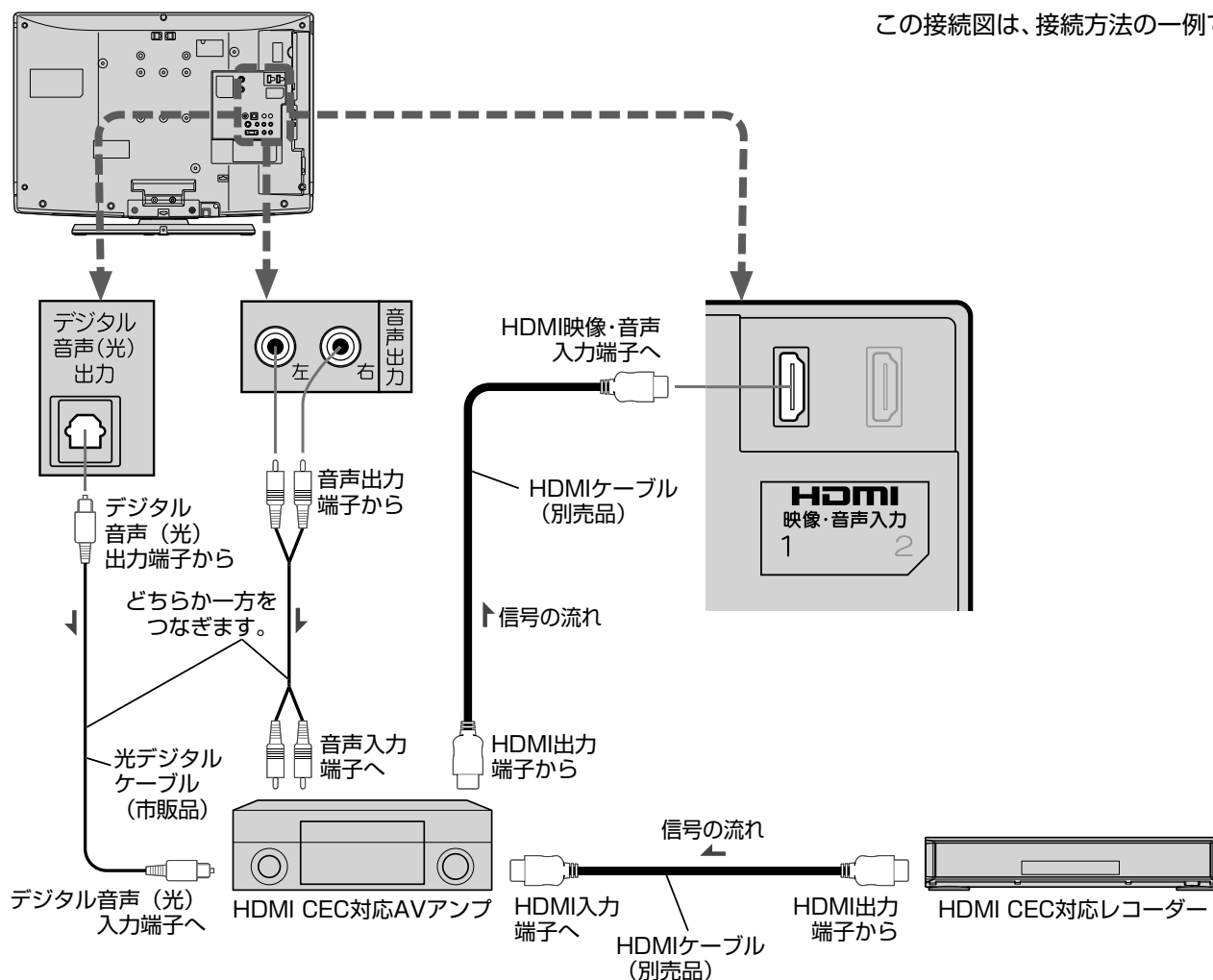
お願い！

- HDMI端子の接続を変更した場合（HDMI1入力からHDMI2入力に差し替えた場合など）は、本機の電源を入れ直して入力切換で変更後のHDMI入力を選んで、HDMI CEC機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMI CEC対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- HDMI CEC機能を中止するために「リンク制御」P.107を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

例：HDMI コントロール対応 AV アンプを「HDMI1 入力」に接続する

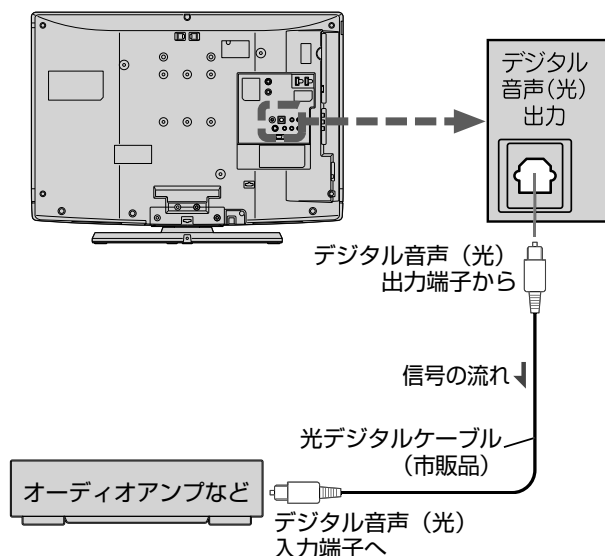
本機のリモコンで、AVアンプの音量調節ができます。

この接続図は、接続方法の一例です。

お願い

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたカテゴリー２以上のものをご使用ください。
- HDMI CEC対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- HDMI CEC対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声（光）出力または音声出力もAVアンプと接続してください。P.28 AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- AVアンプにHDMI CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとHDMI CEC機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- AVアンプを含め、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI CEC対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

他の機器とつなぐ（つづき）

デジタル音声（光）入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声（光）入力端子を持つオーディオ機器を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音することができます。
マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。
接続後は、接続先に合わせて光音声出力の設定が必要です。P.108

お知らせ

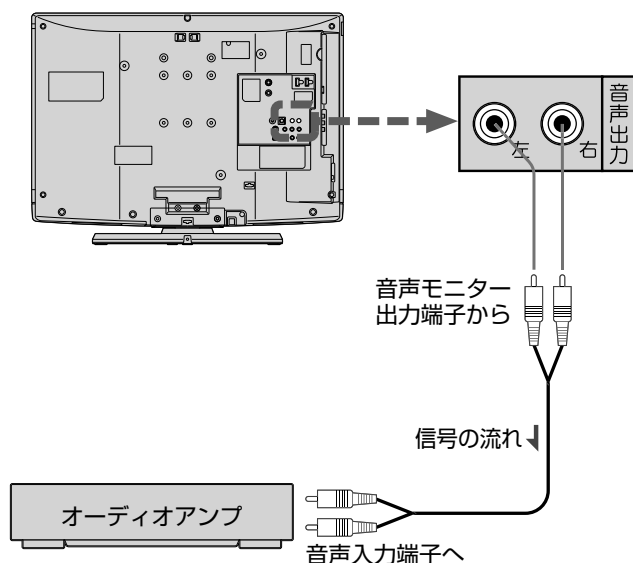
- 接続できるオーディオ機器は、アンプやMDなどのデジタル音声（光）入力端子を持つ機器です。
- AACとは、Advanced Audio Coding の略称で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約１／12にまで圧縮できます。また、5ch＋低域強調チャンネル（ウーハー）のサラウンド音声や多言語放送を行なうこともできます。AACはデジタル放送で使用される方式です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にしてください。

お願い！

- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

アナログ音声入力対応のオーディオ機器との接続

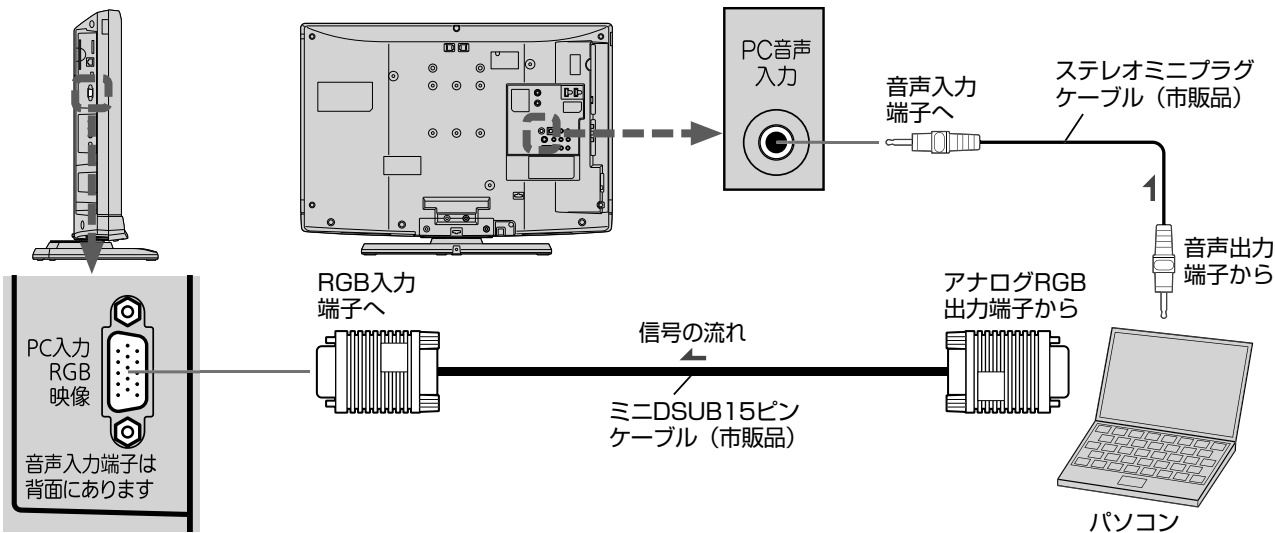
音声モニター出力端子からは、画面に映っている番組などの音声が出力されます。

例：オーディオアンプとの接続

お知らせ

- 音声モニター出力端子から出力される音声レベルは固定です。本機の音量を変えても出力される音声レベルは変わりません。オーディオアンプ側で音量を調節してください。本機の音量は「0」にしてください。

お願い！

- オーディオアンプなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

アナログRGB対応のパソコンとの接続

お知らせ

- 接続するパソコンの種類によっては、変換コネクターやアナログRGB出力アダプターなどが必要な場合があります。
- PC入力では、画面モードボタンは無効です。
- 画面の位置・大きさが適切でなかったり、文字のニジミがある場合は、「メニュー」→「設定」→「画面設定」の「PC設定」で調整してください。
- 入力が「PC」以外の場合、または「PC」時にPC入力端子に信号が入力されていない場合は、メニューの「PC設定」に入ることができません。
- 音声を接続する場合、パソコン側で先に音量を適当に調整してください。
- 接続したパソコンを使うときは、入力切換で「PC」を選んでください。

お願い！

- 接続前にテレビとパソコンの電源を必ず切ってください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 接続するパソコンの仕様によっては正常に表示できない場合があります。

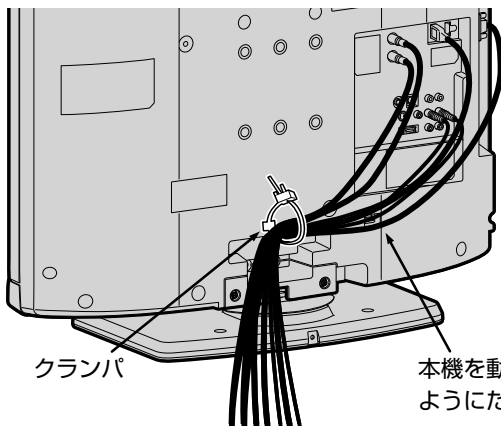
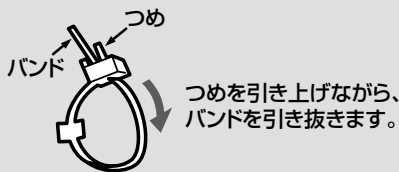
アナログRGB対応信号表

解　像　度	フレーム周波数	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	同期極性	
				H	V
800×600 SVGA	60	37.88	60.32	P	P
1024×768 XGA	60	48.36	60.00	N	N
1280×720 16:9	60	44.772	59.855	N	P
1280×768 15:9	60	47.776	59.870	N	P
1360×768 16:9	60	47.712	60.015	P	P

表の6項目すべてが一致していないと、表示位置が片寄ったり、画面がぼけることがあります。その場合は「PC設定」P.94にて画面が見やすくなるよう調整を行なってください。

他の機器を接続したあとは…

下図のように、ケーブルを後面のクランパで、しっかり固定してください。

電源コードを束ねているクランパをほどいて、接続線と電源コードを束ねてください。

準備 6 LAN端子につなぐ

デジタル放送のデータ放送を行なっている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境（ADSL、CATV、FTTHなど）をお持ちの場合、本機のLAN端子を使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「アクトビラ」を利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。

● ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

● CATV（ケーブルテレビ）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

● FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線業者へお問い合わせください。

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線業者と別途ご契約（有料）をしていただく必要があります。
  くわしくは、プロバイダまたは回線業者にお問い合わせください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、モデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機には電話回線端子を搭載しておりませんので、電話回線のみで通信が行なわれるデータ放送の場合は、対応できません。

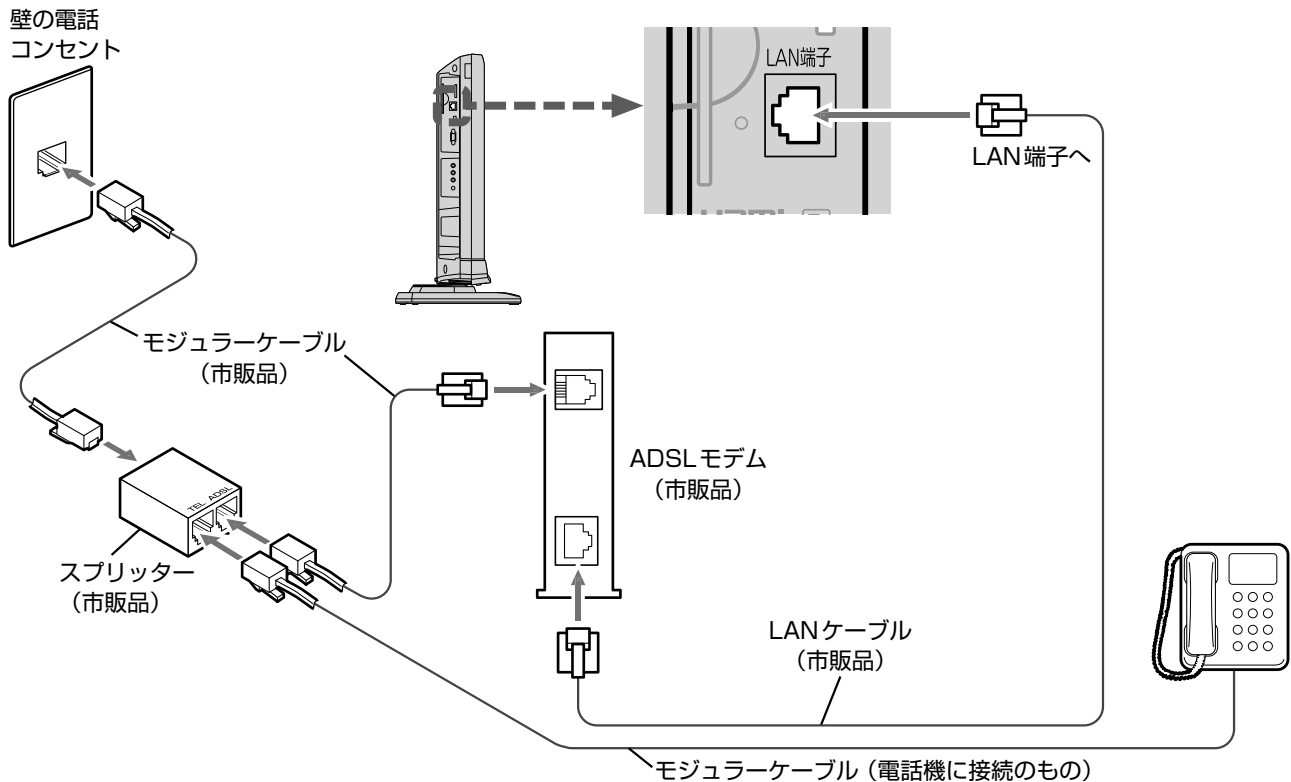
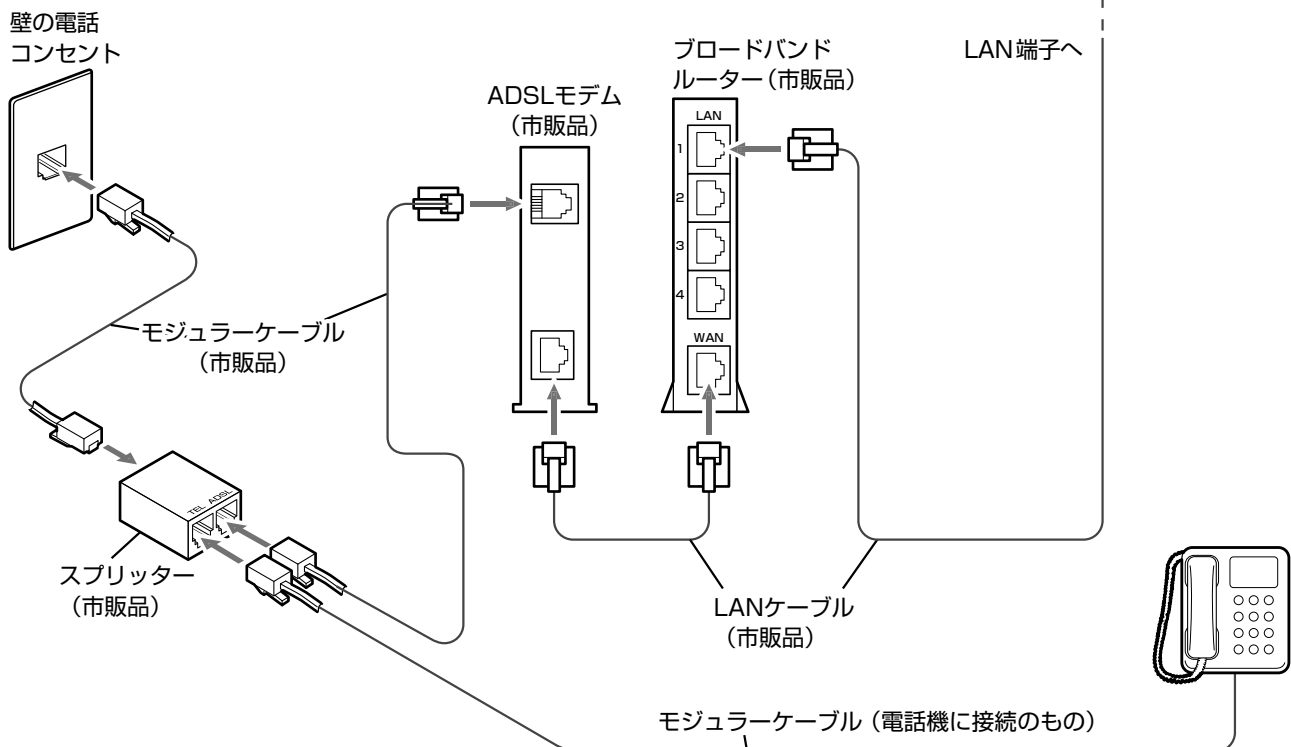
● 本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、次の手順でご確認ください。

1 メニューボタンを押す
2 △▽で「設定」を選び、決定ボタンを押す
3 △▽で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
4 △▽で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
5 表示されたウィンドウ内のMACアドレスを確認する

ADSL回線

接続後は、「通信設定」 P.125～128 を行なってください。

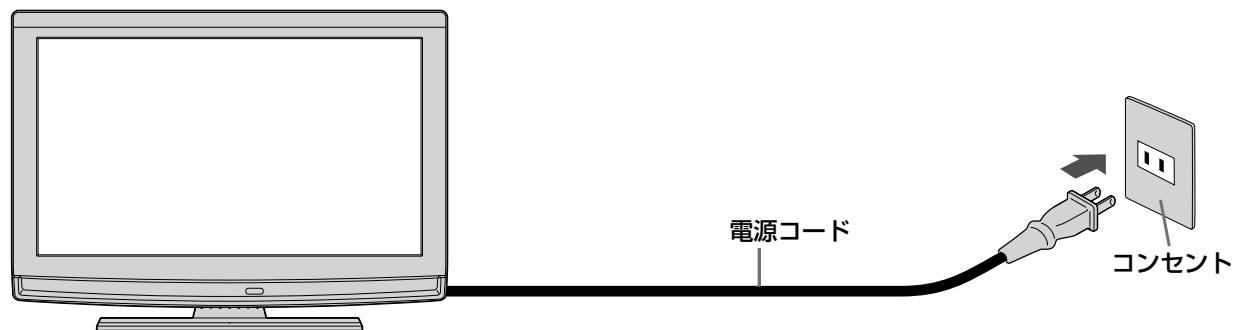
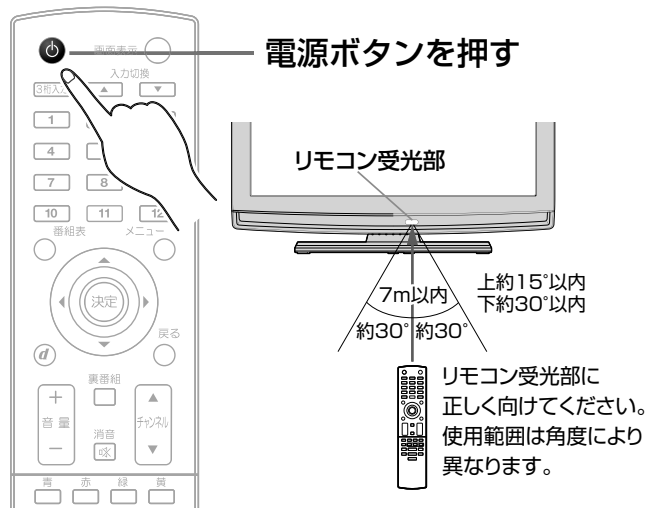
ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がある場合

ADSLモデムにブロードバンドルーター機能がない場合

準備 7 電源を入れる

電源コードをつなぐ

電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに差し込んでください。

リモコンで電源を入れる

お買い上げ後、初めて電源を入れると
下記の画面(かんたん設定)が表示されます。

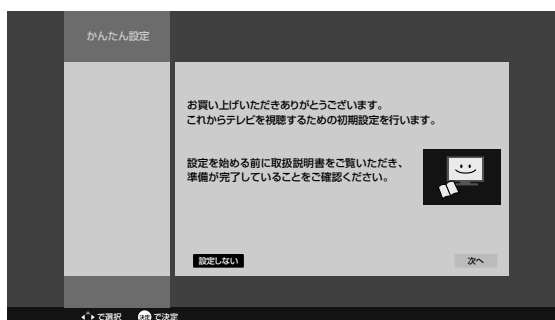
選択されると
(決定キーを押すと)、
暗くなります。

画面表示中に使用できるリモコンのボタンです。

お知らせ

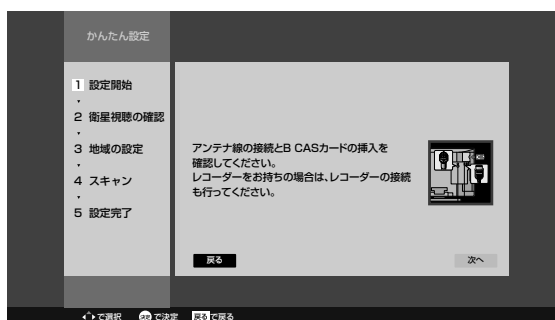
- リモコンの準備のしかたについては P.19 をご覧ください。

準備 8 かんたん設定をする

テレビを見るために必要な設定が簡単にできます。

設定開始

1 画面表示のように、「かんたん準備ガイド」、またはこの説明書の「テレビを見るための準備」をご覧になり準備が完了していることを確認し、決定ボタンを押す

● 「かんたん設定」をしない場合は で「設定しない」を選び、 を押してください。

2 決定ボタンを押して、設定を始める

■ アンテナ線の接続のしかたについては
P.21 ～ 24 をご覧ください。

■ B-CASカードの入れかたについては
P.20 をご覧ください。

お知らせ

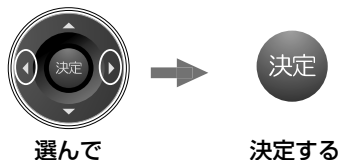
● 「⚠ B-CASカードが挿入されていません」と表示されたときは、このまま電源プラグをコンセントから抜き、B-CASカードを入れてから、もう一度電源プラグを差し直してください。
● デジタル放送を見ない場合は、「次へ」が選ばれている状態で、もう一度決定ボタンを押して手順 3 へ進んでください。

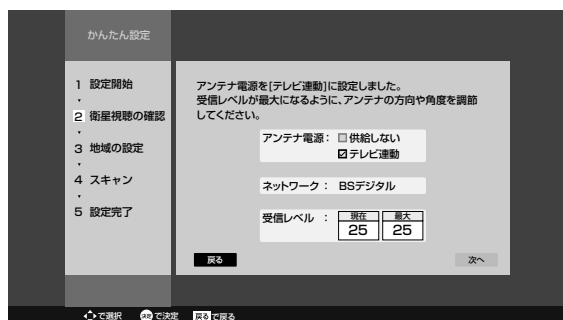
次ページへつづく

かんたん設定をする（つづき）

衛星視聴の確認

3 「視聴する」または「しない」を選ぶ

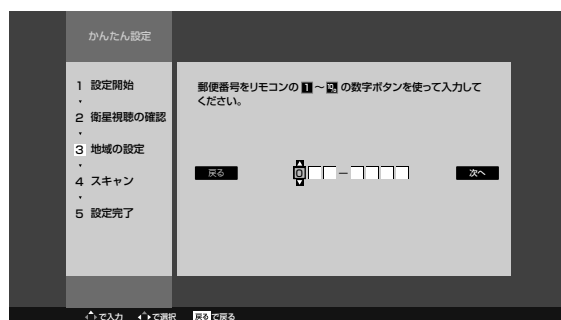
選んで　　決定する

「視聴する」を選んだ場合は、手順 4 へ進みます。
「しない」を選んだ場合は、手順 5 へ進みます。

4 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す

お知らせ

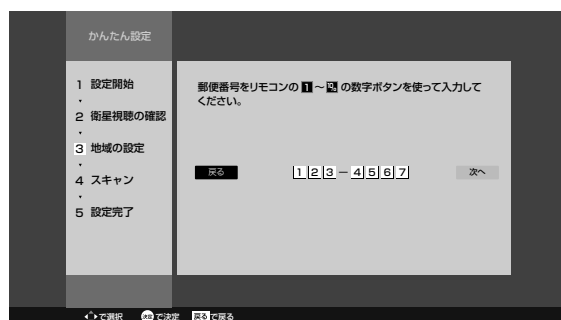
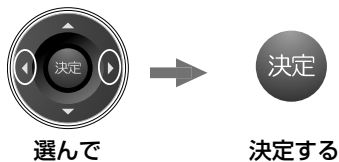
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N（受信信号電力対雑音電力比）の換算値を表します。アンテナ電源の設定については P.122 をご覧ください。

地域の設定

5 7桁の郵便番号を入力する

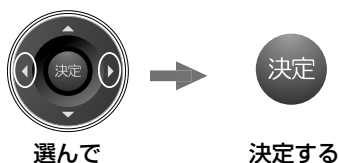
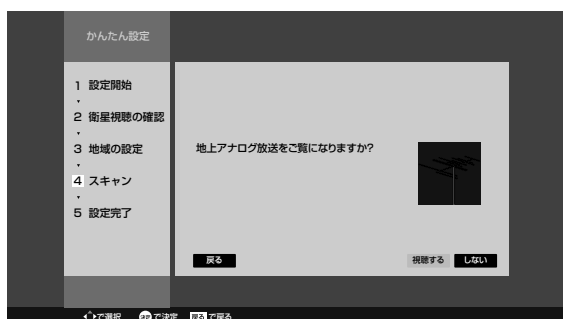
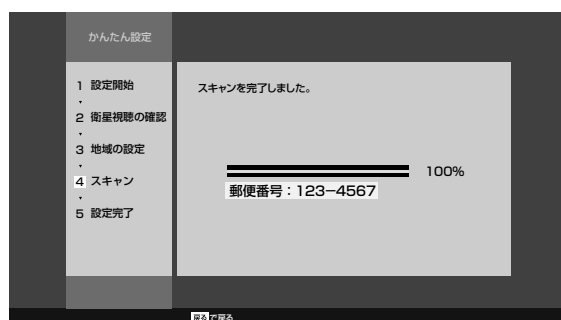
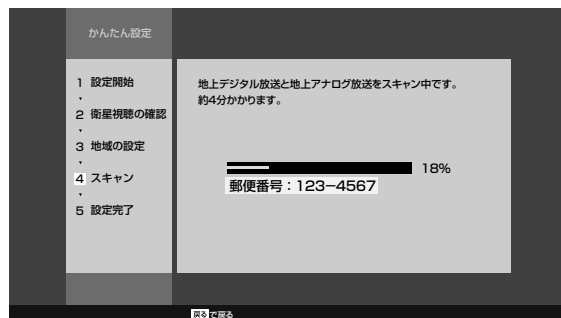
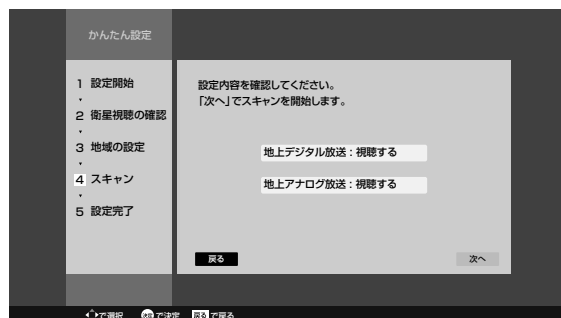
1　2　3
4　5　6
7　8　9
10

- を押すと、次の桁に移動します。
- 間違えたときは　で戻り、入力し直してください。
- でも入力できます。この場合、7桁目を入力したあとで　を押して「次へ」を選んでください。

6 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す

次ページへつづく

スキャン

「視聴する」または「しない」を選ぶ

選んで　　決定する

8 「視聴する」または「しない」を選ぶ

決定

選んで　　決定する

9 「次へ」が選ばれている状態で、決定ボタンを押す

お知らせ

- 「⚠放送が受信できません」などが表示されたときは、P.21～24 をご覧になり、アンテナ接続を確認してください。
- 正しく接続し直したあとは、決定ボタンを押してスキャンし直してください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37 をご覧ください。

次ページへつづく

かんたん設定をする（つづき）

省エネ画質設定

「設定する」を選んで省エネ画質設定に切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

10 「設定する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す

お知らせ

- この手順で省エネ画質設定に切り換えなくても、かんたん設定完了後、「メニュー」→「設定」→「画質設定」→「映像モード切換」および、「明るさセンサー」で切り換えることができます。P.87、91

設定完了

11 「完了」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す

かんたん設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
アナログ を押して地上アナログ放送やケーブルテレビに切り換える P.40 など、これまでご覧になっていた放送に切り換えてください。

テレビの見かたについては

デジタル放送（地上・BS・110度CSデジタル）は P.38 をご覧ください。
地上アナログ放送やケーブルテレビは P.40 をご覧ください。

お好みの番号にお好みの放送を割り当てるには

- 地上アナログ放送やケーブルテレビの場合は P.114「『地上アナログ手動』で設定する」をご覧ください。
- 地上デジタル放送の場合は P.119「リモコンにデジタル放送のチャンネルを追加する」をご覧ください。

地上デジタル放送が映らないとき

地上アナログ放送が受信できていても、地上デジタル放送が同じように受信できるとは限りません。

次の点をご確認ください。

◆ケーブルテレビをご利用の方‥‥ケーブルテレビ会社に受信できるかご確認ください。
◆集合住宅にお住まいの方‥‥‥‥管理組合または、管理会社などに受信できるかご確認ください。

1 お住まいの地域は地上デジタル放送を受信できますか?

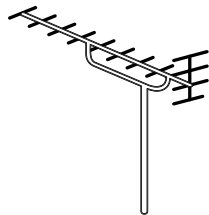
現在受信できない地域もあります。
(2010年2月現在)

お住まいになっている地域の「地デジ」**開局状況**をお確かめください。

●**webで**
社団法人 デジタル放送推進協会[Dpa]
http://www.dpa.or.jp/

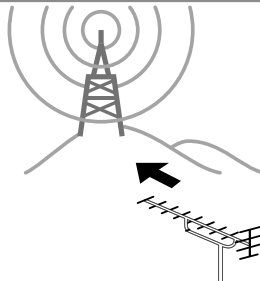
●**お電話で**
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570-07-0101(IP電話:03-4334-1111)
(受付時間　月〜金　9:00〜21:00　　土･日･祝日　9:00〜18:00)

2 地上デジタル放送対応のアンテナを設置していますか?

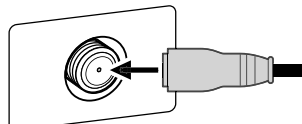
地上デジタル放送対応のUHFアンテナが必要です。

※地上アナログ放送用のVHFアンテナでは受信できません。

●お住まいの地域に合った**放送局に対応した**UHFアンテナが必要な場合があります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

3 アンテナの向きは正しいですか?

アンテナが、地上デジタル放送送信所の方向を向いている必要があります。

●放送局により、地上アナログ放送と**アンテナの向き**や**電波の強さ**が違う場合があります。
その放送局の受信状態が悪くなることもあります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

4 壁のアンテナ端子は同軸プラグ型端子(下図参照)ですか?

壁のアンテナ端子が同軸プラグ端子である方が、地上デジタル放送をよりきれいに受信できます。

●壁の端子への取り付けはもちろん、接続器具(分配器 P.24、分波器 P.23)との接続もしっかり奥まで差し込んでください。

●アンテナから端子までの屋内配線や接続器具の**老朽化**も受信状態を悪くします。
特定の放送局が映らなかったり、受信状態が悪くなることもあります。
※アンテナ設備の点検をしましょう。
専門知識が必要ですので販売店などにご相談ください。

アンテナを接続 P.21〜24 して、かんたん設定 P.33〜36 が終わったら、受信レベルの確認 P.73 をおすすめします。
安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

デジタル放送の受信状態が悪いと、画面にモザイクのようなノイズが出たりまったく映らなかったり、音が途切れたりします。
受信状態があまりよくないと、天候によってもノイズが出たり音が途切れたりすることがあります。

受信状態が良くないときは、販売店や総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センターにご相談ください。

デジタル放送を見る(地上・BS・110度CSデジタル)

1 電源を入れる

● 電源ランプが赤から緑に変わります。
(通電状態のときに使えます。)

2 デジタル放送の種類を選ぶ

● CSは押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
● 視聴しない放送を誤って選ばないように、無効にすることができます。 P.111

3 チャンネルを選ぶ

● チャンネルボタンに設定する放送チャンネルは、「チャンネル設定」→「地上デジタル手動」により変えることができます。 P.119

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

● BS・110度CSデジタル放送のお買い上げ時に設定されているチャンネルについては、P.39 をご覧ください。

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

3桁入力ボタンを押したあと、数字ボタンで3桁入力する

5秒以内に次の番号を押してください。

例:103チャンネルを選ぶとき

「0」を入力するときは 10 を押します。

● 110度CSデジタル放送では、CS1、CS2のどちらからでも選べます。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネル△▽ボタンを押す

視聴しないチャンネルを飛び越し(スキップ)できます。 P.120

● 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。

4 音量を調節する

● 音量は0から最大60まで変化します。
● 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。
● スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
● 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。 P.101

お知らせ

● 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
● 暗証番号を登録して視聴制限を設定している場合 P.104 は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときや、アクトビラを利用するときに、暗証番号入力画面が表示されます。 P.104
● 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。 P.134
● 受信状況(受信レベル)の確認ができます。 P.73

お願い!

● 携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37をご覧ください。

イベントリレーで番組の続きを見るとき

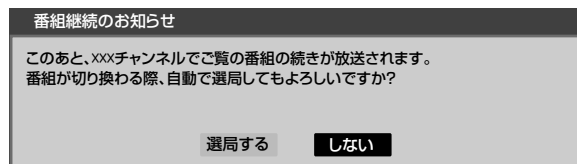
視聴中の番組の放送時間が延長されるときなどは、別のチャンネルで番組の放送が継続されることがあります。
このようなときは、番組終了時刻の約30秒前に「番組継続のお知らせ」画面が表示されます。

「選局する」または「しない」を選ぶ

で選び、決定を押す

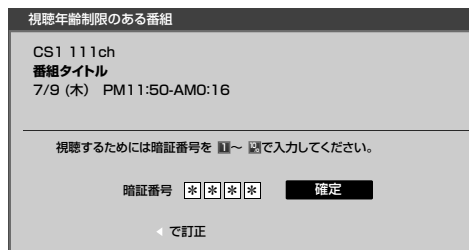
番組継続のお知らせ

このあと、xxxチャンネルでご覧の番組の続きが放送されます。
番組が切り換わる際、自動で選局してもよろしいですか?

選局する　しない

「選局する」	元のチャンネルでの番組終了後、続きの放送をするチャンネルに自動で切り換わります。
「しない」	チャンネルを自動で切り換えません。

視聴制限を一時的に解除するとき

視聴の許可年齢 P.104 で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときや、アクトビラを利用するとき（アクトビラ利用制限 P.105 を設定している場合）は、暗証番号の入力が必要です。

1 〜 10 で4桁の暗証番号を入力する

- 入力した数字は「＊」で表示されます。
- 「0」を入力するときは 10 を押します。
- 間違えたときは を押して、1文字消すことができます。

「確定」が選ばれていることを確認し、

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。

お買い上げ時に設定されているチャンネル（2010年2月現在）

BS	BSデジタル放送	
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK h
4	141	BS日テレ
5	151	BS朝日 1
6	161	BS-TBS
7	171	BSジャパン
8	181	BSフジ・181
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11デジタル
12	222	TwellV（トゥエルビ）

CS	CS1（110度デジタル放送）	
1	001	放送休止中（2010年2月現在）
2	–––	
3	–––	
4	–––	
5	055	ショップチャンネル
6	–––	
7	–––	
8	–––	
9	–––	
10	–––	
11	–––	
12	–––	

CS	CS2（110度デジタル放送）	
1	100	e2プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	–––	
4	300	日テレプラス
5	253	JスポーツPlusH
6	160	C-TBSウエルカム
7	–––	
8	–––	
9	194	インターローカルTV
10	–––	
11	–––	
12	–––	

お問い合わせ先

「WOWOW」カスタマーセンター
TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00〜20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

「スター・チャンネル」総合案内窓口
TEL：0570-013-111
TEL：045-339-0399（PHS、IP電話）
受付時間　10：00〜18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

「スカパー！ e2」カスタマーセンター
TEL：0570-08-1212
TEL：045-276-7777（PHS、IP電話）
受付時間　10：00〜20：00（年中無休）
http://www.e2sptv.jp/

地上アナログ放送やケーブルテレビを見る

1 電源を入れる

● 電源ランプが赤から緑に変わります。
（通電状態のときに使えます。）

2 地上アナログ放送を選ぶ

● 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。P.111

3 チャンネルを選ぶ

● チャンネルボタンに設定する放送チャンネルと画面に表示されるチャンネル番号は、「チャンネル設定」→「地上アナログ手動」により変えることができます。 P.114、115

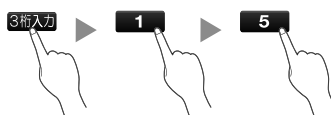
1～12チャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

ボタン13～36のチャンネルを選ぶ

3桁入力ボタンを押したあと、数字ボタンで2桁入力する

5秒以内に次の番号を押してください。

例：ボタン15を選ぶとき

お知らせ

● お好みのボタンにお好みの放送を割り当てることができます。（「チャンネル設定」→「地上アナログ手動」）P.114、115

チャンネルを昇順/降順で選ぶ

チャンネル△▽ボタンを押す

視聴しないチャンネルを飛び越し（スキップ）できます。
P.115

4 音量を調節する

● 音量は0から最大60まで変化します。
● 待機状態のときでも、音量を小さくすることができます。
● スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
● 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。
P.101

お知らせ

● 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。

お願い！

● 携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。
（2010年2月現在、BSラジオ放送は実施されていません。）
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。
またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。 P.30、125

1 デジタル放送を見ているときに
d を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（「青」「赤」「緑」「黄」ボタン）や△▽◁▷ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

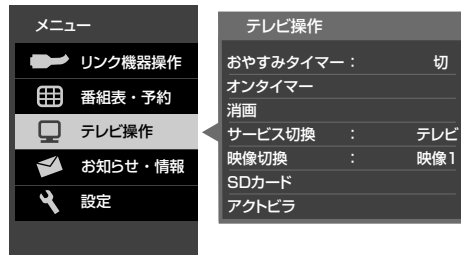
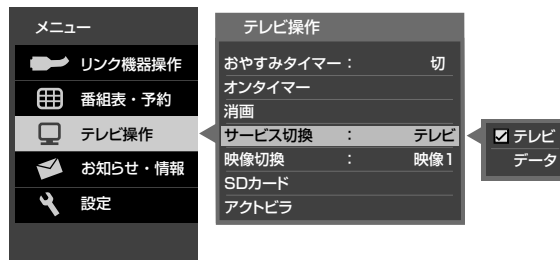
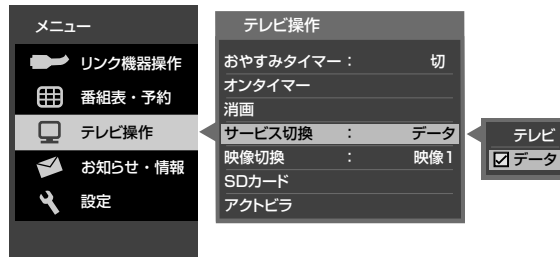
連動データ放送を見ているときに「d」ボタンをもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、番組内容ボタンを押して「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- 電話回線のみで通信が行なわれるデータ放送には、対応していません。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- データ取得中は画面右下に「d」が表示されます。

独立データ放送を見る

1 デジタル放送を見ているときに
メニュー●を押す

2 △▽で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「サービス切換」を選び、決定を押す

4 △▽で「データ」を選び、決定を押す

5 チャンネル△▽を押して、チャンネルを選ぶ

番組表 P.52 から選局したり、3桁のチャンネル番号を入力して選局することもできます。

6 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（「青」「赤」「緑」「黄」ボタン）や△▽◁▷ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

お知らせ

- 独立データ放送に切り換えたあと番組表を表示すると、独立データ放送チャンネルのみの番組表が表示されます。
- データ取得中は画面右下に「d」が表示されます。

他の機器の映像を見る(入力切換)

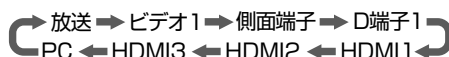
他の機器との接続方法については、P.25～29をご覧ください。

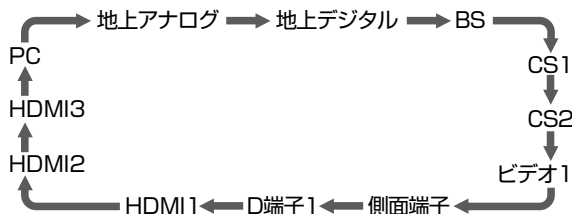
例：D 端子に接続した DVD プレーヤーの映像を見る場合 P.25

1 本機とDVDプレーヤーの電源を入れる

2 リモコンの入力切換▲▼を押して、「D端子1」に切り換える

入力切換▲▼を押すごとに次のように切り換わります。

放送 → ビデオ1 → 側面端子 → D端子1 → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → PC → (放送へ)

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。

- 視聴しない放送波を無効にする(飛ばす)ことができます。P.111

3 DVDの再生をする

お知らせ

- 「入力スキップ設定」P.108によりすべての入力は、スキップする(飛ばす)ことができます。
- お買い上げ時は、ビデオ1からD端子1までは、ケーブルを接続していない入力を自動でスキップします。ケーブルが接続されていない入力を選択できるようにするには、「入力スキップ設定」P.108で「しない」に設定してください。
- HDMI1、HDMI2、HDMI3、PC入力をスキップするには、「入力スキップ設定」P.108で「する」に設定してください。

お願い！

- ビデオやDVDプレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

音声を切り換える

テレビの音声にはモノラル・二重音声（二カ国語）・ステレオ・サラウンドなどがあり、自動的に切り換わります。
二重音声（二カ国語）放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切り換えることができます。

番組を見ているときに

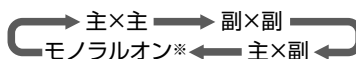
音声切換を押す

押すごとに音声が切り換わります。

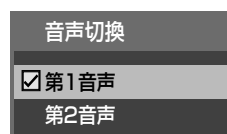
で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

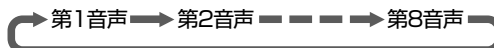
切り換わる音声の種類は、デジタル放送と地上アナログ放送とで異なり、また番組によっても異なります。

地上アナログ放送の場合

音声切換 を押すごとに切り換わります。

※モノラルオン…ステレオ放送で雑音が多い場合は、「モノラルオン」に設定すると聞こえやすくなります。

- 二重音声放送でないときは、主／副音声、副音声は出ません。音声切換ボタンを押すと、画面表示だけが変わります。
- 音声切換の状態は、電源を切ってもチャンネルごとに記憶されています。

デジタル放送の場合

音声切換 を押すごとに音声信号が切り換わります。

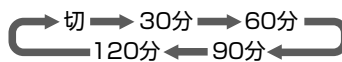
第1音声 → 第2音声 – – – → 第8音声

二重音声放送の場合は、主音声→副音声→主／副音声と切り換わってから、次の音声信号に切り換わります。

お知らせ

- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切換をしてください。
- モノラル放送のときは、音声切換ボタンを押しても音声は変わりません。画面表示だけが変わります。
- ステレオ放送などで「モノラルオン」を選んでいるときは、ステレオ放送・二重音声放送を受信しても、モノラル音声・主音声が出ます。
- 外部入力のときは、音声切換ボタンで音声を切り換えられません。

自動的に電源を切る(おやすみタイマー)

おやすみタイマーを押す

ボタンを離したところの時間が設定されます。
押すごとに次のように切り換わります。

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

表示が消えて、おやすみタイマーがスタートします。

おやすみタイマーを取消したいときは

おやすみタイマー「切」が選択されるまでおやすみタイマーを押す

設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは

おやすみタイマーを１回押す
２回以上押すとおやすみタイマーが設定し直されます。

電源が切れる１分前になると

「おやすみタイマー　１分前」の表示が出ます。

お知らせ

- 「メニュー」→「テレビ操作」→「おやすみタイマー」でも設定することができます。メニューについては、P.60をご覧ください。
- オンタイマーについては、P.68をご覧ください。

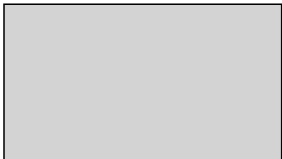
画面表示を表示する

現在見ている番組のチャンネル番号、映像や音声の種類、画面モード、現在時刻などを確認できます。
表示の内容は、地上アナログ放送とデジタル放送とで異なります。

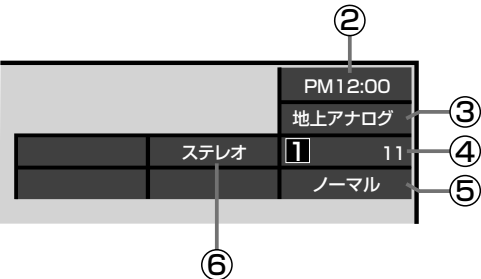
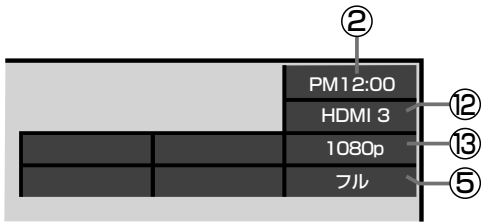
画面表示 ●を押す

押すごとに次のように切り換わります。

画面表示

押すと⬆　⬇押すと

表示なし(通常画面)

● 「通常画面表示」は約8秒で自動的に消えますが、すぐに消したいときは、画面表示 ●を押してください。

画面表示の見かた

デジタル放送の音声表示の種類には、主副、ステレオ、3/1サラウンド、3/2サラウンド、5.1サラウンドがあります。

①現在視聴中の番組の放送時間と番組名
②現在時刻
③放送の種類 P.38
④リモコンのボタン番号とチャンネル番号
⑤画面モード P.48
⑥音声の種類 P.43
⑦未読メールの有無 P.70
⑧オンタイマー設定 P.68
⑨映像の種類
⑩字幕の有無 P.46
⑪臨時放送表示
⑫現在視聴中の外部入力
⑬解像度

字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示／非表示や言語を設定できます。

字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに
字幕を押す

「第１言語」……番組の第１言語の字幕を表示します。
「第２言語」……番組の第２言語の字幕を表示します。
「切」……………字幕や文字スーパーを表示しません。

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。
  - **画面表示 ●を押す**
    字幕表示できる番組では、画面右上に「字幕あり」と表示されます。
  - **番組内容を押す**
    字幕表示できる番組では、番組内容の詳細画面に 字 マークが表示されます。

お知らせ

- 日本語の字幕が、必ずしも第１言語ではありません。番組によって異なります。

裏番組表を見る

デジタル放送で現在放送中の裏番組を確認し、見たい番組を探すことができます。

1 デジタル放送を見ているときに

を押す

2 △▽で番組を選び、決定を押す

選んだ番組に切り換わります。

サービスの種類（テレビ/データ）を切り換えるには、

を押す

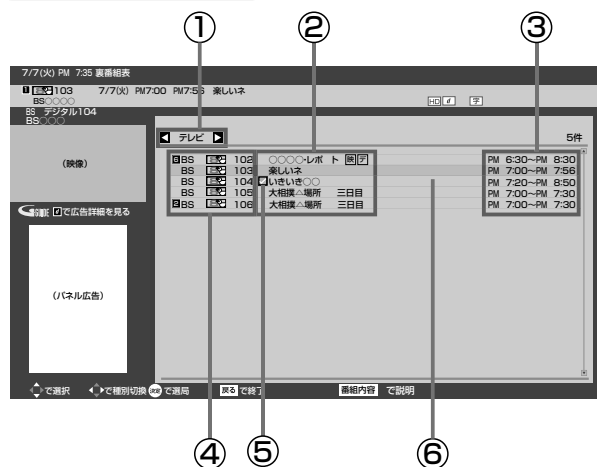
押すごとにサービスが切り換わります。
テレビ ⇔ 独立データ

提供されていないサービスについては表示されません。
サービスについては P.41 をご覧ください。

裏番組の詳しい情報を見るには、

番組内容を押す

裏番組表を消すには、

戻るを押してください。

画面モードを選ぶ

映像に合わせた画面モードを選べます。
選べる画面モードは、見ている番組や放送の種類によって異なります。

画面モードを押す

押すごとに画面モードが切り換わります。

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

切り換わる画面モードの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

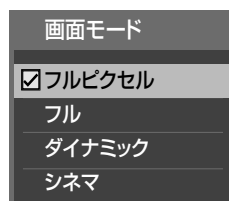
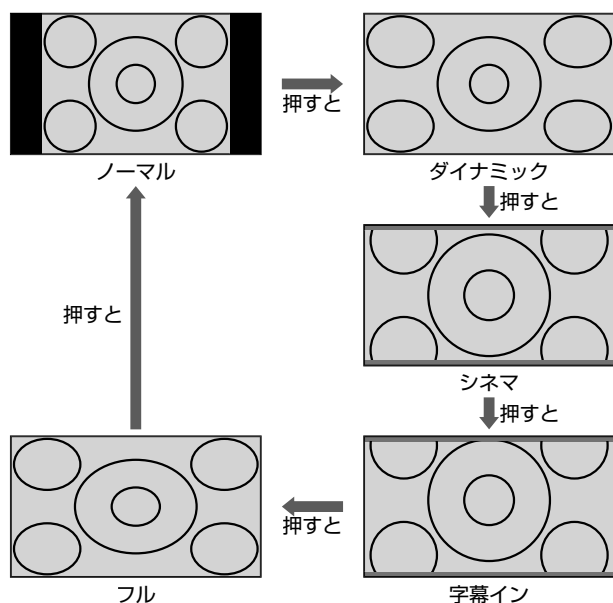
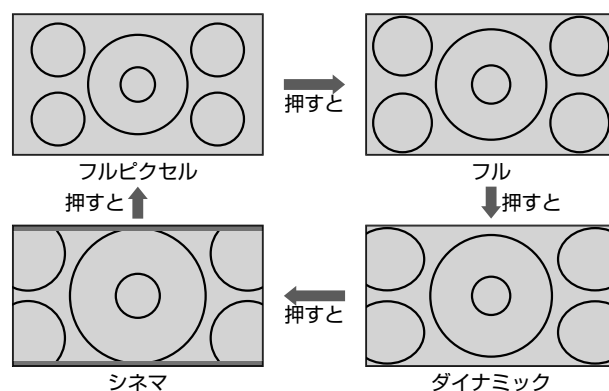
地上アナログ放送の番組、ビデオ、DVDなどの場合

標準映像（480i、480p）

画面モードを押すごとに次のように切り換わります。

各画面モードの特徴は次ページをご覧ください。

ハイビジョン番組、ブルーレイディスクプレーヤーなどの場合

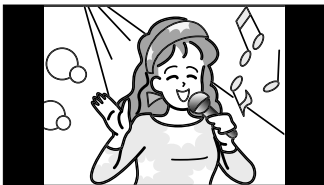
ハイビジョン映像（1080i、1080p）

画面モードを押すごとに次のように切り換わります。

各画面モードの特徴は次ページをご覧ください。

720pのハイビジョン映像の場合

自動的に「フル」になります。他の画面モードは選べません。

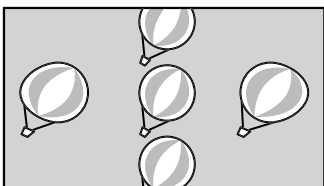
画面モードについて

ノーマル

4:3の画面モードで見る

横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。

ダイナミック

4:3の映像をワイド画面で見る

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。
画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。

- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

シネマ

劇場サイズの映画･ビデオを見る

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。

字幕イン

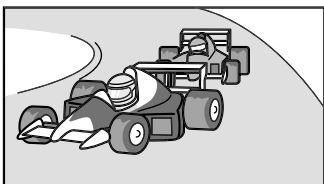
字幕付劇場サイズの映画･ビデオを見る

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

フル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像を見る

画面いっぱいに拡大して見ることができます。

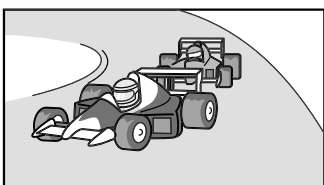
- 地上アナログ放送など4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

フルピクセル

ハイビジョン番組やDVDなどのスクイーズ16:9映像を画素変換せずに見る

画面からはみ出した部分がなく、映像信号を全て画面内に表示します。画素変換を行なわないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。

この画面モードでは「垂直位置調整」P.93の操作はできますが無効です。

お願い!

- 本機は、各種の画面モード切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切換機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

お知らせ

- S2映像入力端子にS1またはS2対応のビデオなどをつないで映像を見るときや、D4映像端子(画面モード制御信号があるとき)につないで映像を見るときは、自動的に次のように切り換わります。
  - 16：9の映像 → 「フル」(画面の横と縦の比が16：9の映像)
  - 劇場モードの映像 → 「シネマ」(S2対応のとき)
- DVDなどの画面モード識別信号(ID-1)により、自動で画面モードを切り換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です｡設定のしかたについては、P.93をご覧ください。S端子やD端子接続時は、はたらきません｡)
- PC入力のとき、720p信号のときは、画面モードを選べません。
- 見ている映像によっては、映像の上下が画面の外にはみ出したり、映像が画面の中央からずれていることがあります。このようなとき、映像を上下に移動させることができます。P.93
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているモードにより画面モードが切り換わることがあります。
- 番組やビデオソフトにより、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。

SDカードの写真を見る

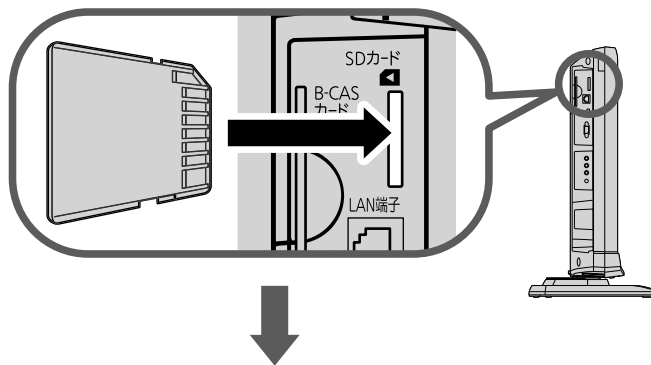
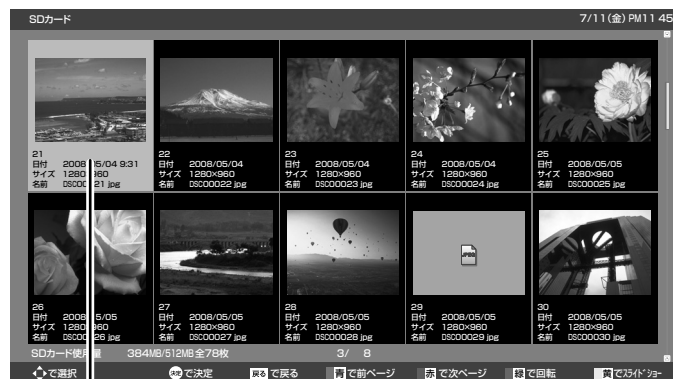
SDカードに保存された写真を表示します。

写真を表示する / 表示を消す

表示する

本機の電源が「入」のときに

SD カードを入れる

挿入口は本体左側面にあります。
本体正面から見て、SDカードの裏面が見えるようにして、金属端子側から挿入します。

SDカード画面の「画像一覧」が表示されます

カーソル：選択された画像は緑に表示されます。

- サムネイルがないデータ、再生できないデータはアイコン表示されます。

写真表示を消す

「画像一覧」を表示中に

● (戻る) を押す

SDカード画面が消えます。

■ SDカードを取り出すときは

挿入中のSDカードを軽く押して、出てきた部分を指でつまんで取り出してください。

お知らせ

- デジタルカメラで撮影された画像データを見ることができます。拡張子が下記のうちいずれかになっている画像データが表示できます。
  “JPG”、“JPEG”、“jpg”、“jpeg”
- 動画や音楽等のデータは再生できません。
- 最大で999枚の画像を表示できます。
- SDカードへのデータの書き込みはできません。
- miniSDカードやmicroSDカードを使用される場合は、市販のSDカード変換アダプターが必要です。
- パソコンで書き込み、編集された画像は見ることができない場合があります。
- 記録状態などによっては、正常に見ることができない場合があります。また、リストに表示されても見ることができないことがあります。
- プログレッシブ形式のJPEGファイル、Motion JPEGには対応していません。
- 画像データのサイズにより表示に時間がかかる場合があります。
- 画像一覧からテレビ放送などの画面に戻り、再び画像一覧を表示したいときは、「メニュー」→「テレビ操作」から「SDカード」を選ぶと再び表示できます。

お願い!

- SDカードの認識読み込み中は、画面上部に「SDカード読み込み中…」と表示されます。読み込み中に本機の電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。カードの破損や本機の故障の原因となります。
- SDカードの画像一覧、全画面表示、スライドショーを表示中は、SDカードを抜かないでください。万一抜いてしまって誤動作となった場合は、電源プラグを差し直してください。

写真を見る

画像一覧の続きを見る

1ページ単位で表示を切り換えることができます。

青 **を押す**：前のページを表示します。

赤 **を押す**：次のページを表示します。

画像を選ぶ

拡大表示や回転させたい画像を選択します。

でカーソルを移動させる

選択された画像は青く表示されます。

拡大する

画像を選んで、決定 を押す

「全画面表示」になります。

「画像一覧」に戻りたいときは

戻る を押す。

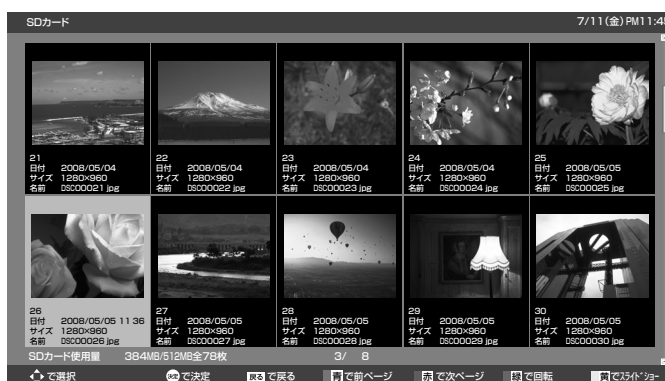
前後の画像に切り換えたいときは

を押す。

回転させたいときは

緑 を押す。

回転させる

画像を選んで、緑 を押す

- 押すごとに90度ずつ回転します。
- 拡大表示した画像を回転させることもできます。

スライドショーで見る

スライドショーを開始する

SDカードに保存された画像を、自動で順に全画面表示していきます。

「画像一覧」を表示中に

黄 **を押す**

カーソルで選択された画像から全画面表示を開始します。

- 表示時間は変更できます。くわしくは「SDカードのスライド時間を変更する」P.109をご覧ください。

一時停止したいときは

青 を押す。
もう一度押すと再開します。

スライドショーを終了する

戻る **を押す**

「画像一覧」に戻ります。
もう一度押すと、SDカード画面を終了します。

番組表を見る

本機は、番組表の表示機能にGガイドを採用しています。なお、当社はGガイドを利用した番組表サービス内容については、関与しておりません。
放送局から送信されるデジタル放送の番組データを、新聞などのテレビ欄のように表示します。
番組表は最大８日分まで表示できます。地上アナログ放送の番組表は表示できません。

お知らせ

番組表を表示中に放送波を切り換えると、切り換わった先の放送波の番組表を見ることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。

番組表を表示する / 消す

表示する

デジタル放送を見ているときに

番組表を押す

見ていた放送（BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送）の番組表が表示されます。

- 番組表を表示中に放送の種類（地上デジタル、BS、CS1、CS2）を切り換えることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。
- テレビ放送とデータ放送の間で番組表を切り換えるときは、「メニュー」→「テレビ操作」→「サービス切換」で放送の種類を変えてから、再び番組表を表示してください。

消す

番組表を押す

番組表が消えます。
- チャンネルを切り換えても番組表が消えます。

番組表の見かた

①番組の情報
カーソルで選んでいる番組の情報です。
②現在の日時
③放送の種類
④日付
⑤テキスト広告
Gガイドのテキスト広告などを表示します。
⑥アイコン P.151
⑦パネル広告
Gガイドのパネル広告を表示します。
⑧時間表示
⑨番組名
⑩カーソル

で番組を選びます。
⑪チャンネル番号
⑫視聴予約した番組 P.78
視聴予約した番組は背景色が変わります。

- 広告枠は消せません。

番組表を使う

表示を切り換える

でカーソルを移動させる

ボタンを長く押し続けると、高速でスクロールすることができます。番組欄の表示はいったん消えますが、ボタンを離すと再び表示されます。

表示されているボタンを使うと、対応した操作が行なえます。

カーソル（緑色の番組欄）
上下左右に移動させることで、番組表の表示を切り換えます。（スクロール）

他の日の番組表を見る

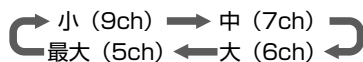
青（前日）または赤（翌日）を押す

たとえば、３日先の番組表を見たいときは、赤を３回押します。

番組表の文字の大きさを変える／表示する番組数を変える

緑を押す

押すごとに次のように切り換わります。

小（9ch）→ 中（7ch）→ 大（6ch）→ 最大（5ch）→ 小（9ch）

お知らせ

- 「メニュー」→「番組表・予約」→「番組表」でも呼び出せます。メニューについては、P.60 をご覧ください。
- 本機は、待機状態（電源ランプが「赤」）で、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。（その際「カチッ」という音がすることがあります。）電源を切るときは、電源プラグを抜かないで、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。
- 地上デジタル放送の番組表について
  地上デジタル放送では、放送局ごとにその放送局の番組情報のみを送信します。受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選局してしばらくお待ちください。P.55
  BS・110度CSデジタル放送では、どの放送局を選局しても全ての放送局の番組情報を受信することができます。
- 受信状態がよくないときは、番組データを受信できないことがあります。受信状態は、「メニュー」→「お知らせ・情報」→「アンテナ受信レベル」で確認できます。P.73

番組の詳しい情（番組内容）を見る

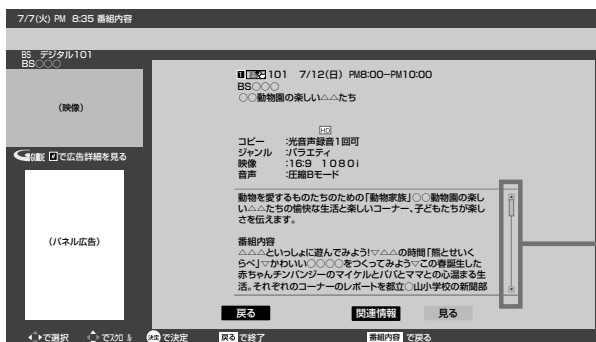
デジタル放送を視聴中、番組表 P.52、裏番組表 P.47、番組検索結果画面 P.62 を表示中に、選んでいる番組の詳しい情報を確認することができます。

番組内容を表示する / 消す

表示する

デジタル放送を見ているときに

を押す

番組内容画面が表示されます。

スクロールバーが表示されているときに を押すと、番組内容の続きが表示されます。

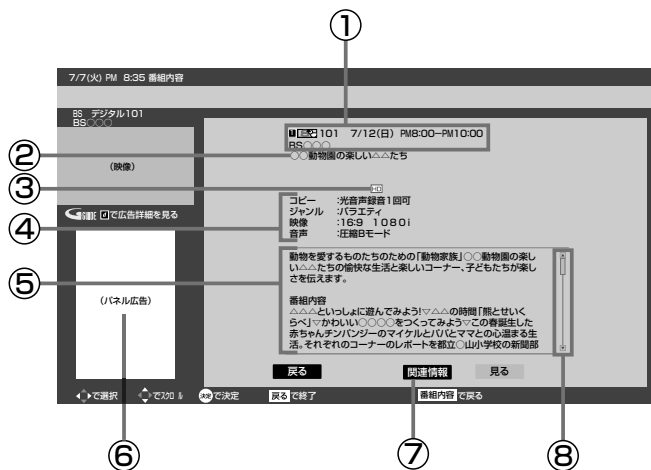
■ 視聴中の番組をもう一度見るには、

で「見る」を選び、を押す

消す

戻る
● または 番組内容 を押す

「番組内容」画面が消えます。

番組内容画面の見かた

●広告枠は消せません。

①チャンネル番号
放送日
開始・終了時刻
放送局名

②番組名

③アイコン P.151

④番組情報

⑤番組内容

⑥パネル広告
Gガイドのパネル広告を表示します。

⑦関連情報

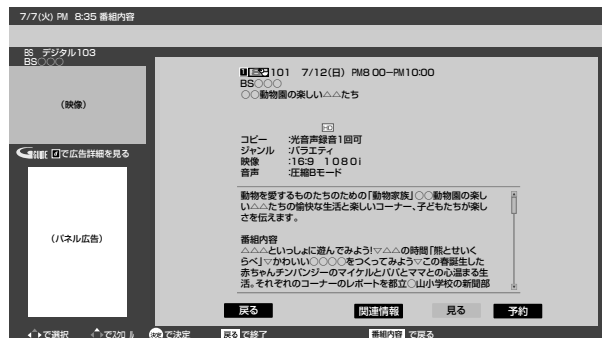
で選び、決定を押すと関連項目より番組検索ができます。

⑧スクロールバー
番組内容に続きがあるときに表示されます。

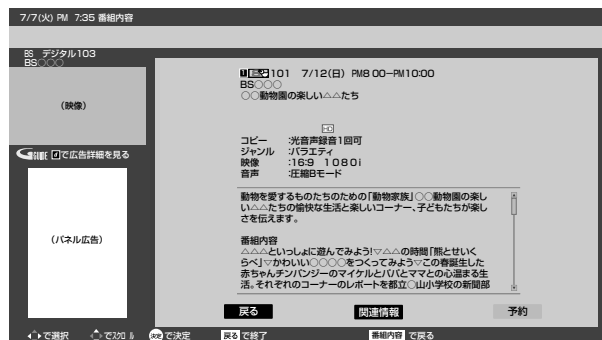
番組表や番組検索から表示したとき

今すぐ見る

現在放送中の番組を選択したとき、

で「見る」を選び、決定を押す

予約する

これから放送される番組を選択したときは、視聴予約ができます。

で「予約」を選び、決定を押す

これ以降、画面の表示にしたがい予約に必要な操作を行なってください。P.78 手順3

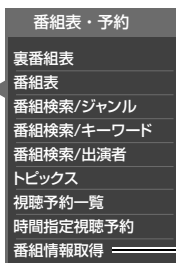
番組表 / 番組検索に戻る

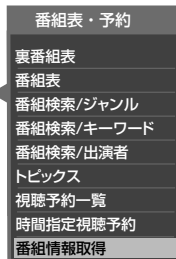
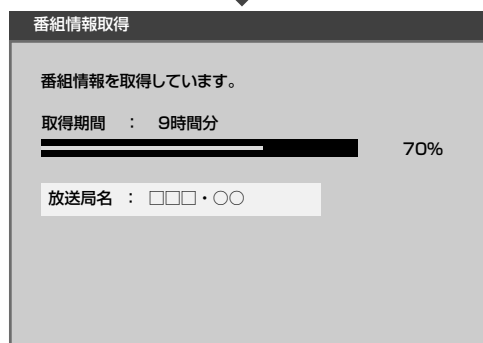
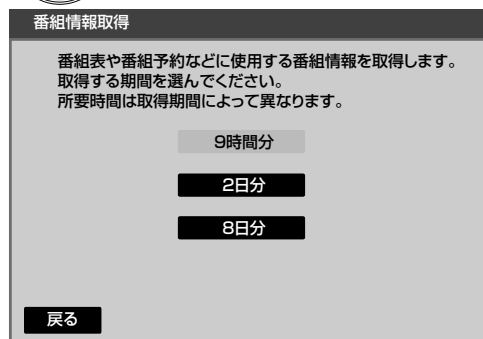
戻るまたは番組内容を押す

地上デジタル放送の番組情報を取得する

地上デジタル放送の番組情報は、視聴中の放送局の情報しか取得できません。
次の設定を行なうと、他の放送局の番組情報を取得できます。

1 メニューを押す

2 で「番組表・予約」を選び、決定を押す

「番組情報取得」は、地上デジタル放送を視聴中のときのみ表示されます。

3 で「番組情報取得」を選び、決定を押す

4 で取得期間を選び、決定を押す

- 番組情報の取得には数分かかります。
- 取得中に戻るを押すと、番組情報の取得を中止できます。
- 取得が完了すると「番組情報の取得が完了しました。」と表示されます。
- 番組情報の取得にかかる時間は、情報量、受信状態により長くかかることがあります。
- 放送局ロゴなど一定期間ごとにしか送られていない情報は、この操作を行なうタイミングにより取得できない場合があります。

アクトビ(acTVila)を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機は「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」のコンテンツをお楽しみいただけます。
「アクトビラ」の利用には料金はかかりません(一部有料のサービスもあります)。ただし、回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金は別途必要です。

お知らせ

- 「アクトビラ」のサービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 「アクトビラ」の最新情報は、アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/ をご覧ください。(2010年2月現在)
- 「アクトビラ」の利用条件については、アクトビラ公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

「アクトビラ」に関するお問い合わせは

アクトビラ・カスタマーセンター
TEL 0570-091-017 (IP 電話の場合:03-3513-6740)
受付時間 10:00 ~ 19:00 (年末年始を除く)
メールアドレス info@desk.actvila.jp

「アクトビラ」の最新情報は

アクトビラ公式情報サイト http://actvila.jp/
(2010 年2月現在)

「アクトビラ」を利用するために必要な接続と設定

本機で「アクトビラ」を利用するためには、ブロードバンド環境(ADSL、CATV、FTTHなど)が必要です。

P.30、31 で本機をネットワークと接続したあと、P.125~128 で通信設定を行なってください。

- 「アクトビラ ビデオ・フル」を利用する場合は、光ファイバー(FTTH)のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。

「アクトビラ」専用画面を表示する

1 放送視聴中に

を押す

- 「アクトビラ」 のホーム画面 (アクトビラマークのあるアクトビラサービスの入口となる画面) が表示されます。
- 初めて利用されるときや、長期間アクトビラを利用しなかったときは、「アクトビラ」の案内画面が表示されます。画面の指示に従ってお使いください。(送信される情報には、本機に設定されている郵便番号や本機固有の識別 ID が含まれます。)

2 で見たい項目を選び、を押す

- この操作を繰り返して、見たい情報のホームページを表示させます

■「アクトビラ」のホーム画面に戻るときは
もう一度、アクトビラを押す

「アクトビラ」を終了するとき

3 チャンネル△▽、3桁入力、入力切換▲▼のいずれかのボタンを押す

4 で「はい」を選び、決定を押す

アナログ、地デジ、BS、CSのいずれかを押すと
手順 4 の画面を出さずに「アクトビラ」を終了します。

お知らせ

- 「アクトビラ」では、テレビ向けのコンテンツを見ることができます。パソコン用のホームページなど、「アクトビラ」用に作られていないホームページには接続できません。
- アクトビラ利用中に文字入力が必要となった場合は、P.58 の手順をご覧ください。

「アクトビラ」の閲覧制限について

本機には、「アクトビラ」を利用するときにお子さまなどに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「アクトビラ」を利用になるご家庭では、「アクトビラ」を利用する際に、暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。(設定のしかたは、P.104~106 をご覧ください。)

ツールバー(便利機能)を表示して操作するとき

「アクトビラ ベーシック」を利用中、または「アクトビラ ビデオ」を視聴中は、ツールバーを表示させて便利な操作ができます。

1 「アクトビラ ベーシック」または「アクトビラ ビデオ」を視聴中に
青を押す

画面下に「ツールバー」が表示されます。

2 で項目を選び、決定を押す

項目	機能
進む	1つ先のページへ移動する。
戻る	1つ前のページへ移動する。
中止	ページの読み込みを中止する。 (ページの読み込み中のみ表示されます。)
再読み込み	表示中のページを再度読み込む。 (ページの読み込み中は表示されません。)
ホーム	ホーム画面に戻る。
お気に入り	気に入ったページを「お気に入り一覧」に登録したり、一覧から呼び出したりする。
表示履歴	表示履歴の一覧を表示する。
ポインター	画面に表示されるポインター( )を移動して項目を選ぶ操作を入/切する。
検索	ページ内検索を行なう。
メニュー	表示する文字の大きさや各種設定を行なう。

3 操作が終わったら、青を押す

「ツールバー」が消えます。

操作パネルを表示して操作するとき

「アクトビラ ビデオ・フル」の動画コンテンツを視聴中は、操作パネルを表示させて、一時停止や前スキップ/次スキップなどの操作ができます。
早送り/早戻し、前スキップ/次スキップの操作は、動画コンテンツによって対応していない場合があります。

1 「アクトビラ ビデオ・フル」の動画コンテンツを視聴中に
操作パネルを押す

画面左下に「操作パネル」が表示されます。

操作パネルが表示されている間、決定ボタンと色ボタンはパネルに表示された機能が割り当てられます。

2 決定、青、緑、黄で操作する

本機のリモコンボタン	操作パネル表示中に割り当てられる機能	本機のリモコンボタン	操作パネル表示中に割り当てられる機能
▲	再生	青	一時停止
▼	停止	赤	ー
▶	早送り	緑	戻し方向へスキップ
◀	早戻し	黄	送り方向へスキップ
メニュー	本機のメニュー画面を表示	戻る	操作パネル終了

3 操作が終わったら、戻るを押す

「操作パネル」が消えます。
- 操作せずに一定時間がたつと自動的に消えます。

■「アクトビラ ビデオ・フル」の動画コンテンツを視聴中に画面表示を押すと

視聴中のコンテンツの題名、長さと経過時間、全チャプター数と現在チャプターが確認できます。

お知らせ

全般
- 視聴予約の開始時刻になると、「アクトビラ」は終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方法・契約内容によっては、「アクトビラ」を利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、「アクトビラ」のサービスを表示できない場合があります。
- 「アクトビラ」を利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行なってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合は、「ネット情報初期化」または「全情報の初期化」を行ない、本機に記録されたアクトビラ履歴情報を消去してください。 P.132、133

接続
- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は映像が乱れる/途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。
- 無線LANで「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」をご利用の場合は、設置環境や設定内容により、映像が途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。LANケーブルでの接続をおすすめします。

文字入力のしかた

「アクトビラ」を利用中は、文字入力が必要になることがあります。
本機では、画面にキーボードを表示させて、リモコンのボタンを使って入力します。

基本的な使いかた

1 検索文字入力欄など、文字の入力ができるところを選び、決定を押す

「キーボード画面」が表示されます。

2 △▽◁▷でカーソル(黄色い部分)を移動し、キーボード画面のボタンエリアに表示される文字の中から入力したい文字を選び、決定を押す

文字を入力していくごとに、キーボード画面の候補エリアに変換する候補の文字列が表示されます。

3 変換したい文字列が候補エリア内にあるときは、

△を何度か押してカーソルを候補エリアに移動し、変換したい文字列を△▽◁▷で選び、決定を押す

確定された文字列に続けて入力されそうな文字を予測した文字列が候補エリアに表示されます。

4 続けて入力したい文字列が候補エリア内にあるときは、

△▽◁▷でその文字列を選び、決定を押す

続けて入力したい文字列が候補エリア内にないときは、

▽を何度か押してカーソルをボタンエリアに移動させ、手順6の操作を行なう

5 入力したい文字をすべて確定したら、△▽◁▷でボタンエリア内の「完了」を選び、決定を押す

元の画面に戻ります。

■ **文字入力を途中でやめて元の画面に戻るときは**

△▽◁▷でボタンエリア内の「中止」を選び、決定を押す

または、カーソルが候補エリアかボタンエリアにあるときに戻る●を押す

お知らせ

- ボタンエリアに表示されない文字は入力できません。
- 変換できる漢字は、漢字コードJIS第1水準、第2水準に含まれる漢字のみです。
- データ放送では、日本語変換は使用できません。

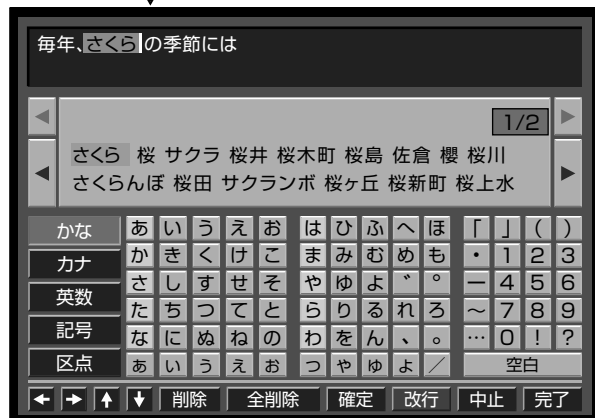
文字の削除

最後に入力した文字を消す場合

戻る を押す
または、△▽◁▷でボタンエリア内の
「削除」を選び、決定を押す

入力エリアの文字列の途中の文字を消す場合

▽でカーソルを入力エリアに移動し、
◁▷でキャレット（文字と文字の間の白い縦線）を消したい文字の右横に移動させ、
戻る を押す
または、▽でボタンエリア内の「削除」を
選び、決定を押す

キャレット

入力した文字をすべて消す場合

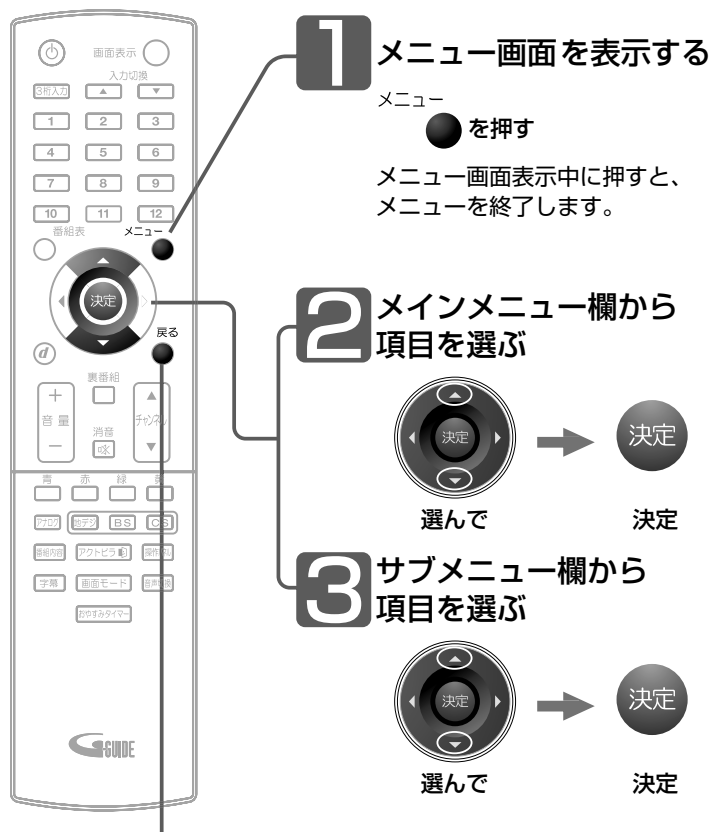
△▽◁▷でボタンエリア内の「全削除」を
選び、決定を押す

かな以外の文字の入力

△▽◁▷で入力したい文字の種類を
ボタンエリア内の左端の文字種類ボタンから
選び、決定を押す
ボタンエリアが選ばれた文字種類ボタンに応じて切り換わります。

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すだけで、いろいろな機能を呼び出せます。

基本的な使いかた

メニュー画面

メインメニュー欄

※「リンク機器操作」は、HDMI CEC対応機器とHDMI接続して P.26 、メニューの「リンク制御」 P.107 を「入」に設定しているときに選べます。

サブメニュー欄

メインメニュー欄で選んでいる項目の細かい設定項目を一覧で表示します。

ガイド欄

この画面で使うリモコンのボタンや解説文などを表示します。

各項目で操作できる内容

リンク機器操作

HDMI CEC対応機器を、本機のリモコンで主な操作ができます。

項目	ページ
操作パネル	P.85
機能一覧	P.74
録画リスト	P.84
サブメニュー	P.74
ディスク切換	P.74
今すぐ録画	P.76
録画停止	P.76
レコーダー電源オフ	P.75

番組表・予約

デジタル放送の番組表などの表示や、見たい番組の検索予約などができます。

項目	ページ
裏番組表	P.47
番組表	P.52
番組検索／ジャンル	P.62
番組検索／キーワード	P.62
番組検索／出演者	P.62
トピックス	P.64
視聴予約一覧	P.82
時間指定視聴予約	P.80
番組情報取得	P.55

テレビ操作

視聴中に操作できる便利な機能です。

項目	ページ
おやすみタイマー	P.44
オンタイマー	P.68
消画	P.66
サービス切換	P.41
映像切換	P.65
SDカード	P.50
アクトビラ	P.56

お知らせ・情報

機器内部や放送局からのお知らせメールやB-CASカード、アンテナ受信レベルなどの情報を表示します。

項目	ページ
メール(内部)	P.70
メール(放送)	P.70
ボード(CS)	P.71
B-CASカード情報	P.72
アンテナ受信レベル	P.73

設定

下記項目を詳細に設定することができます。

項目	ページ
画質設定	P.86
画面設定	P.92
音声設定	P.96
機能設定	P.102
初期設定	P.110
設定初期化	P.132
チャンネル再設定	P.67

見たい番組を探（番組検索／ジャンル・キーワード・出演者）

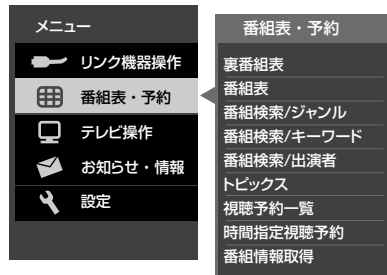
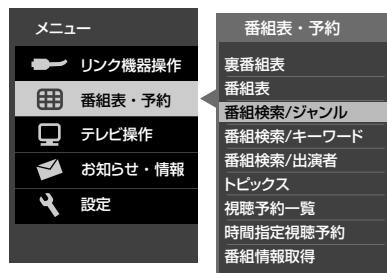
番組表のデータを検索して、お好みの番組を探すことができます。
地上デジタル、BS、CS1、CS2にわたり検索します。放送の種類を絞りこむこともできます。P.63

例：ジャンル別に探す

1 を押す

2 △▽で「番組表・予約」を選び、
決定を押す

3 △▽で「番組検索／ジャンル」を選び、
決定を押す

4 △▽で画面左の大ジャンルを選ぶ

次ページへつづく

お願い！

「番組検索／キーワード」、「番組検索／出演者」を初めてお使いになるときは、あらかじめ「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「Gガイド設定」P.129でお住まいの地域を設定してください。電源が「切」の間に検索に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

お知らせ

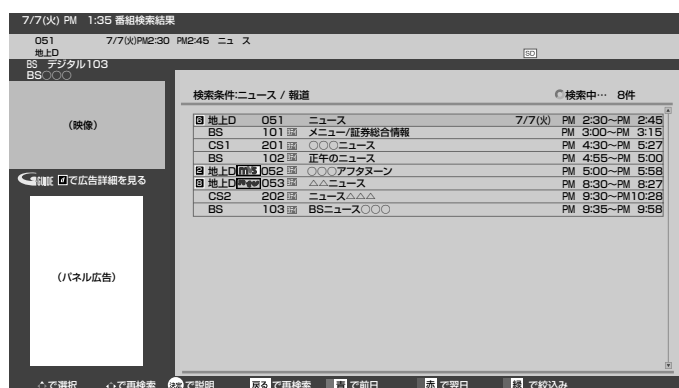
番組検索後の画面から、視聴予約ができます。
くわしくは P.78 をご覧ください。

さらに絞り込む場合

ジャンルを絞り込む必要がない場合は、手順6に進んでください。

5 ▷でカーソルを画面右に移動し、△▽で小ジャンルを選ぶ

6 決定を押す

検索結果一覧が表示されます。

放送波別でさらに絞り込んで検索したいときは

緑を押す

7 △▽で番組を選び、決定を押す

その番組の「番組内容」が表示されます。 P.54

条件を変えて、もう一度検索するときは

◁ または 戻る を押す

トピックスを見る

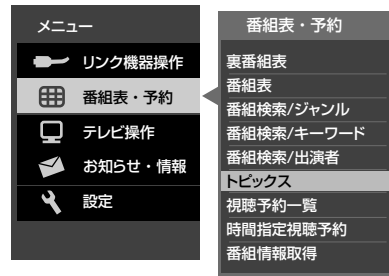
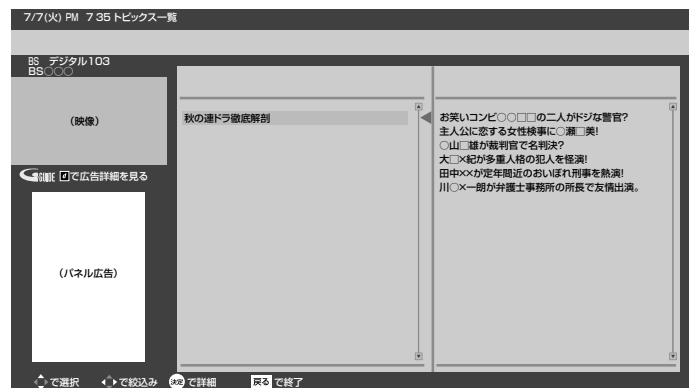
Gガイドから提供される様々な情報を見ることができます。

お願い!

「トピックス」を初めてお使いになるときは、あらかじめ「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「Gガイド設定」P.129でお住まいの地域を設定してください。
電源が「切」の間にトピックスの表示に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

1 メニュー●を押す

2 △▽で「番組表・予約」を選び、決定を押す

3 △▽で「トピックス」を選び、決定を押す

4 △▽で画面左の大ジャンルを選び、▷を押す

5 △▽で画面右の小ジャンルを選ぶ

7 決定を押す

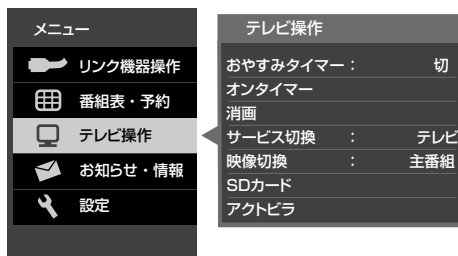
番組の詳しい情報が表示されます。

チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)

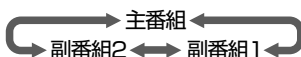
ひとつの番組で複数の映像を放送している番組（マルチビュー放送）を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

1 デジタル放送を見ているときに

を押す

2 △▽で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「映像切換」を選び、決定を押す

4 △▽で映像の種類を選び、決定を押す

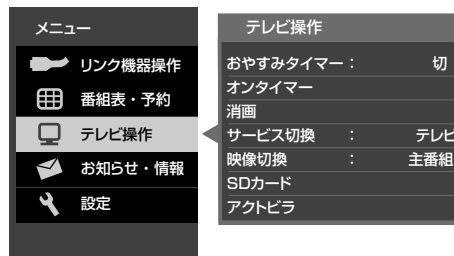
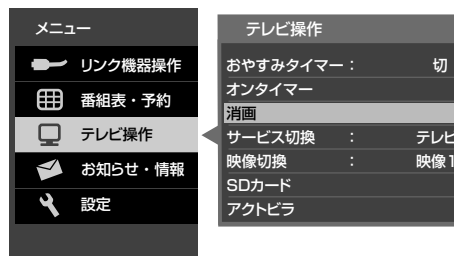
切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。
たとえば、主番組と副番組１、副番組２が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。

お知らせ

- **マルチビュー放送とは**
  ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大３つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

画面だけを消（消画）

何かをしながらテレビを見るときなど、音声を聞ければいいというときは、消画にすると電力の節約にもなります。

1 を押す

2 △▽で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「消画」を選び、決定を押す

画面だけが消えます。

画面を戻したいときは

電源以外の、何かボタンを押す。
電源以外のボタンを押すと、消画が解除されますが、押したボタンの動作はしません。

お知らせ

消画中に予約が開始されると、消画が解除されます。

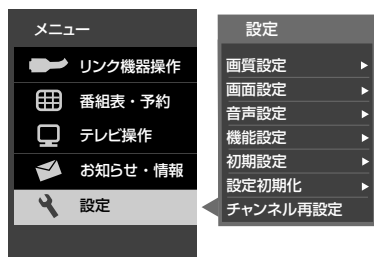
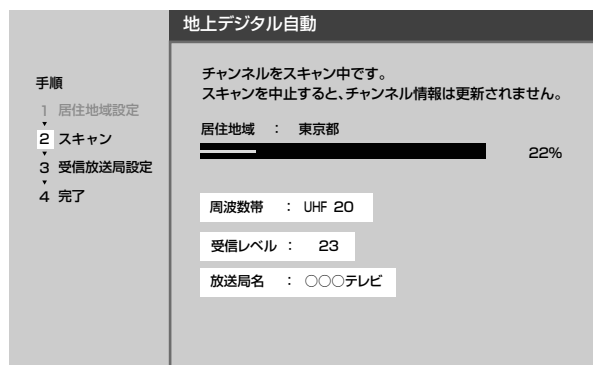
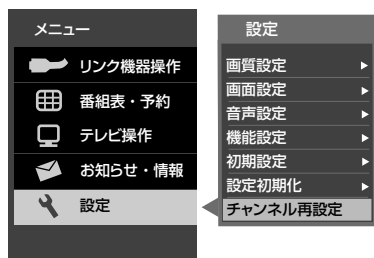
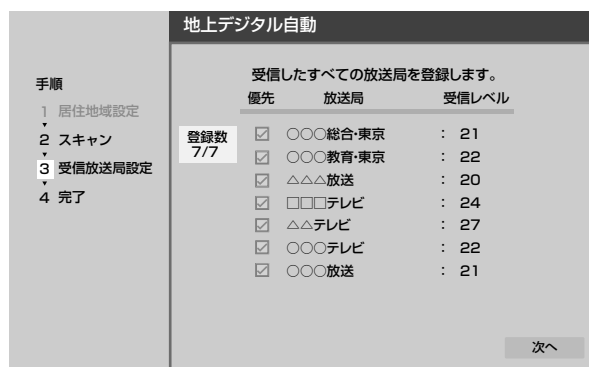
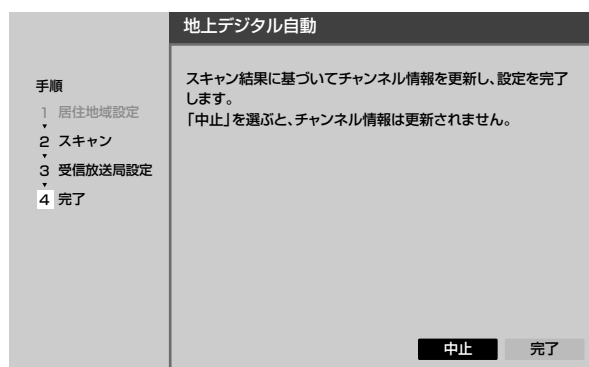
地上デジタル放送のチャンネルの追加や変更をする

居住地設定や隣接地域設定で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、メール(内部)でお知らせします。この場合、以下の手順でチャンネル再設定を行なってください。

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37をご覧ください。

準備 地デジを押して、地上デジタル放送を選ぶ

1 メニューを押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「チャンネル再設定」を選び、決定を押す

4 登録内容を確認して、決定を押す

5 「完了」が選ばれていることを確認し、決定を押す

● スキャンの結果を反映させない場合は、◁▷で「中止」を選び、決定を押してください。

6 メニューを押す

オンタイマーで自動的に電源を入れる

自動的に本機の電源を入れることができます。
また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

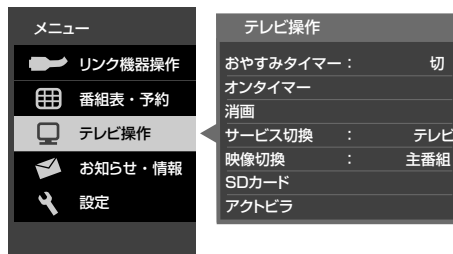
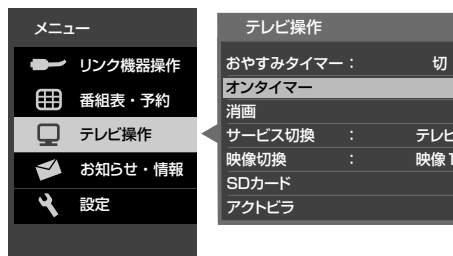
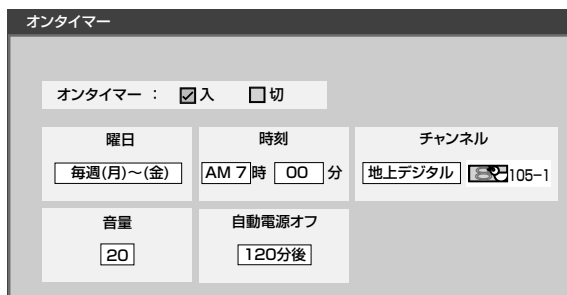
1

を押す

2 △▽で「テレビ操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 ◁▷で「入」を選び、決定を押す

- オンタイマーを使う曜日、時刻、チャンネル、音量など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順5へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順10へ進みます。
- オンタイマーを使わない場合は、◁▷で「切」を選び、決定を押したあと、手順10へ進みます。
- 「オンタイマー 切」では手順5〜9の内容を変更することができません。

お知らせ

- **オンタイマーを利用するためには、デジタル放送の受信が必要です。**
  時刻情報をデジタル放送から取得しますので、アナログ放送のみの受信ではオンタイマーを利用することはできません。
- オンタイマーを設定後は、電源プラグを抜かないでください。電源を切るときはリモコンまたは本体左側面の電源ボタンを押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順9で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。

次ページへつづく

5 オンタイマーを使う曜日を選ぶ

① 「曜日」が選ばれている状態で、決定を押す

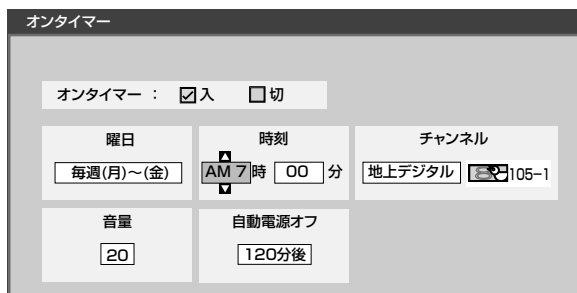
② △▽でオンタイマーを使う曜日を選び、決定を押す

● お買い上げ時は「毎日」が選ばれています。

6 電源「入」にする時刻を選ぶ

① ▷でカーソルを「時刻」へ動かし、決定を押す

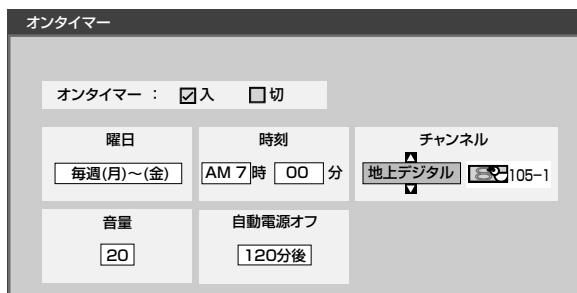
② △▽▷で時刻を選び、決定を押す

● お買い上げ時は「AM7時00分」が選ばれています。

7 放送波とチャンネルを選ぶ

① ▷でカーソルを「チャンネル」へ動かし、決定を押す

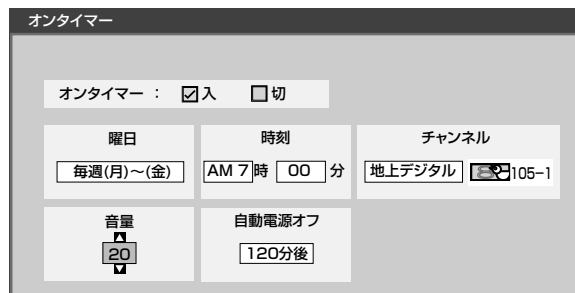
② △▽で放送波を選び、▷を押す

● 放送波無効設定されている放送波は選べません。

③ △▽でチャンネルを選び、決定を押す

8 音量を選ぶ

① ▷でカーソルを「音量」へ動かし、決定を押す

② △▽で音量を選び、決定を押す

● お買い上げ時は、オンタイマー画面を表示したときの音量が選ばれています。

9 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でおやすみタイマー P.44 が設定された状態になります。電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

① ▷でカーソルを「自動電源オフ」へ動かし、決定を押す

② △▽で自動で電源「切」にするまでの時間を選び、決定を押す

● お買い上げ時は「30分後」が選ばれています。

● 「自動電源オフ」にしたくない場合は、オンタイマーで電源「入」になったあと、おやすみタイマーを解除してください。

〈おやすみタイマー解除のしかた〉

① おやすみタイマーを押す

② おやすみタイマーを繰り返し押して「切」を選ぶ

または、△▽で「切」を選び、決定を押す

10 戻る を押す

お知らせ

● 予約と重複したときは、予約が優先されます。予約されたチャンネルが選局されます。

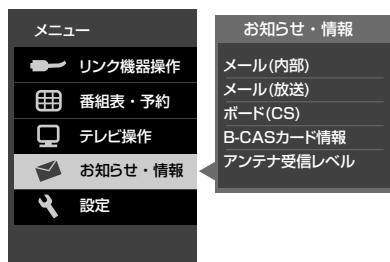
テレビを使いこなす

オンタイマーで自動的に電源を入れる

メール（内部/放送）を読む

メール（内部）は、ダウンロードや開局など本機からお知らせするメッセージです。
メール（放送）は、デジタル放送の放送局から送られてくる、番組などの情報です。
本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「✉ お知らせあり」が表示された場合は、まだ読んでいない（未読）メールがありますので、以下の手順でメールの内容を確認してください。

1 メニュー●を押す

2 △▽で「お知らせ・情報」を選び、決定を押す

3 △▽で「メール（内部）」または「メール（放送）」を選び、決定を押す

4 △▽で読みたいメールを選び、決定を押す

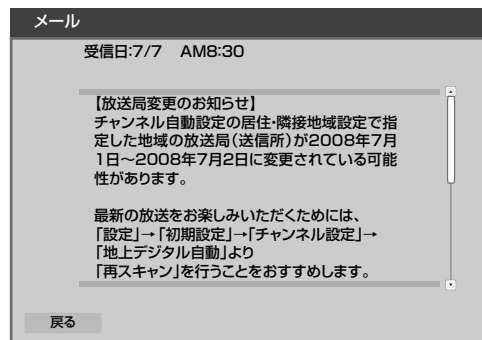
既読メールか未読メールかは、メール画面のアイコンで確認できます。

 未読メール

 既読メール

■ メール画面の続きがあるときは

△▽でスクロールする

5 内容を確認する

■ メール本文の続きがあるときは

△▽でスクロールする

■ 他のメールを読みたいときは

戻る●を押す

6 読み終わったら、メニュー●を押す

お知らせ

- メール（内部）は
  - 10通まで表示できます。
  - 10通以上のメールが蓄積すると、まず古い既読メールが削除されます。既読メールがないときは、古い未読メールから削除されます。
  - 内部メールは、予約が失敗したときなどに送られてくる重要な情報です。内部メールの内容は、必ずご確認ください。
- メール（放送）は
  - 31通まで表示できます。
  - 31通以上のメールが蓄積すると、まず古い既読メールが削除されます。既読メールがないときは、古い未読メールから削除されます。

お知らせ

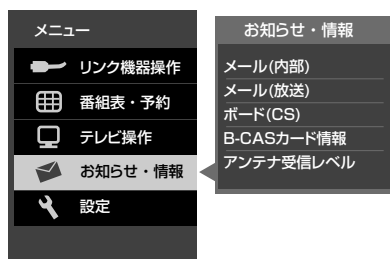
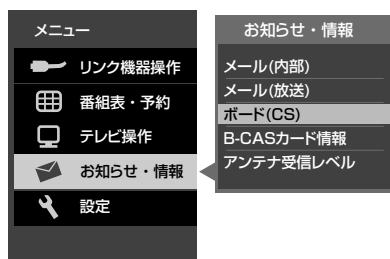
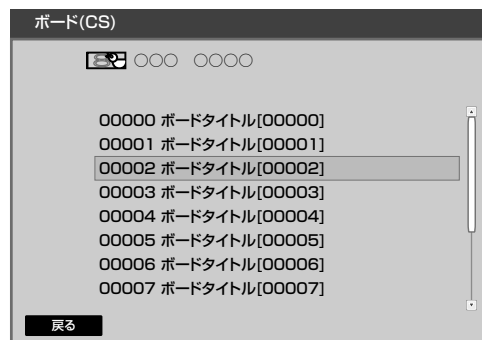
- メール（放送）には、チャンネル再設定が必要となる内容のものもあります。チャンネル再設定についてはP.116をご覧ください。

放送局からのお知らせ（ボード）を読む

ボードとは、110度CSデジタル放送を受信している場合のみ送られてくるメッセージです。
以下の手順でボードの内容を確認してください。

1 CSを押して110度CSデジタル放送を選んだ状態でメニューを押す

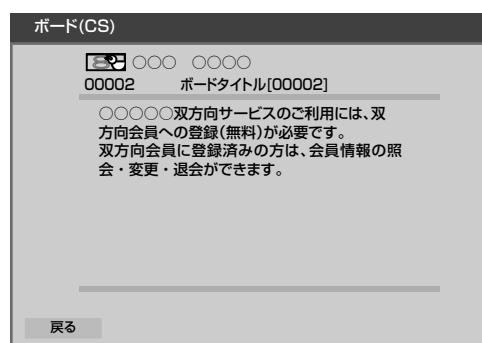
2 △▽で「お知らせ・情報」を選び、決定を押す

3 △▽で「ボード(CS)」を選び、決定を押す

4 △▽で読みたいボードを選び、決定を押す

■ ボード画面の続きがあるときは

△▽でスクロールする

お知らせ

- ボードは最大50個まで表示できます。

5 内容を確認する

■ ボード本文の続きがあるときは

△▽でスクロールする

■ 他のボードを読みたいときは

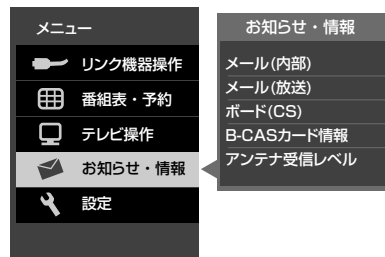
戻るを押す

6 読み終わったら、メニューを押す

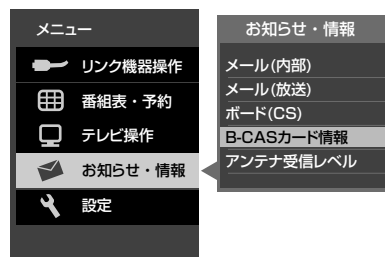
B-CASカード情報を確認する

B-CASカードのカード識別、カードID、グループIDを確認できます。

1 メニュー●を押す

2 △▽で「お知らせ・情報」を選び、

決定を押す

3 △▽で「B-CASカード情報」を選び、

決定を押す

4 情報を確認する

5 確認したら、メニュー●を押す

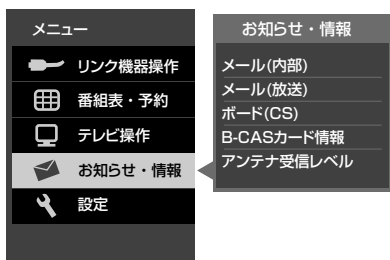
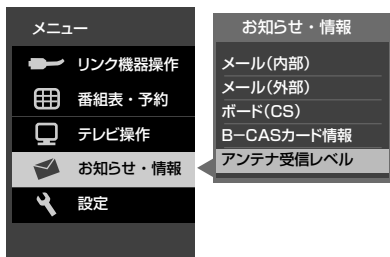
デジタル放送の受信状況を確認する(アンテナ受信レベル)

映らないチャンネルがあるとき、デジタル放送視聴中に画質が低下したときや画面がモザイク状になるとき、番組情報が取れないときなどは、受信状況を確認することができます。
受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。

お知らせ

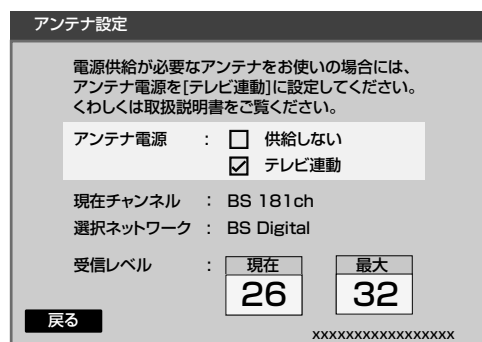
- 受信レベルで表示される数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きくはずれることがあります。地上デジタル放送の受信可能地域については、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター P.134 へお問合わせください。

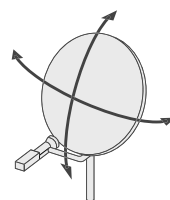
1 メニュー ● を押す

2 △▽で「お知らせ・情報」を選び、決定 を押す

3 △▽で「アンテナ受信レベル」を選び、決定 を押す

4 受信レベルを確認する

地上デジタル放送の場合

安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

BS･110度CSデジタル放送の場合

最大
受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。受信レベルが26以上になると、表示が緑色に変わります。これを目安にしてアンテナの方向を決めます。
最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

現在
この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。

お知らせ

- アンテナ電源については P.122 をご覧ください。

5 メニュー ● を押す

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」P.37 をご覧ください。

お知らせ

- 受信レベルが低い状態でご覧になっている場合、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)により受信状態が悪化し、映像がモザイク状に乱れたり映らなくなることがあります。

HDMI CEC対応機器を操作する

本機のHDMI CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI CECに対応している必要があります。
HDMI CEC対応のブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作(再生など)ができます。くわしくは、HDMI CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。(仕様は予告なく変更することがあります。)

■ 本機でHDMI CEC機能を使うには、次の設定になっていることが必要です。

本　機…「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。
くわしくはP.107をご覧ください。

接続機器…接続機器側もリンク使用可能な設定にします。くわしくはHDMI CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 次のような場合は、「リンク機器操作」のサブメニューは選べません。
  - 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」が「切」に設定されているときP.107
  - 接続したHDMI機器が、HDMI CECに対応していないとき
- HDMI CEC対応機器を接続した場合、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI CEC対応機器の操作に使える本機のリモコンボタンとはたらきは、下表のようになります。

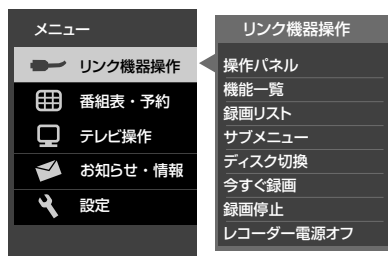
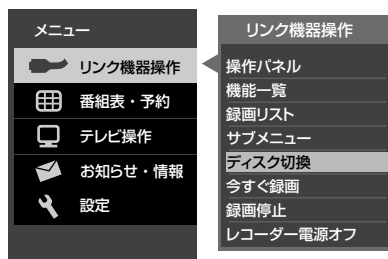
本機のリモコンボタン	操作パネル表示中	操作パネル非表示中
△	再生	上
▽	停止	下
▷	早送り	右
◁	早戻し	左
戻る ●	操作パネル終了	戻る
決定	ー	決定
青	一時停止	青
赤	録画停止	赤
緑	戻し方向へスキップ	緑
黄	送り方向へスキップ	黄

お願い!

HDMI CEC機能を中止するために「リンク制御」P.107を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

HDMI CEC対応機器の操作のしかた

1 メニュー ●を押す

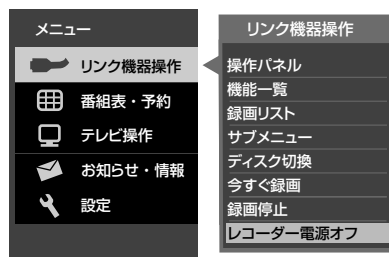
2 △▽で「リンク機器操作」を選び、決定を押す

3 △▽で操作したい項目を選び、決定を押す

操作パネル	操作パネルを表示して、本機のリモコンで接続機器の再生などをします。P.85
機能一覧	接続機器の設定などを行なう画面が表示されます。
録画リスト	レコーダーの「録画リスト画面」を表示します。P.84
サブメニュー	接続機器のサブメニューが表示されます。※対応機器は各メーカーにより異なります。
ディスク切換	接続機器が複数の記録媒体を持つ場合、再生や録画をする媒体を切り換えます。
今すぐ録画	視聴中のデジタル放送を今すぐ録画開始します。P.76
録画停止	今すぐ録画を停止します。P.76
レコーダー電源オフ	本機のリモコンで接続機器の電源を切ります。P.75

本機のリモコンで操作する

例：HDMIで接続したHDMI CEC対応レコーダーの電源を切る

1 メニュー●を押す

2 △▽で「リンク機器操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「レコーダ電源オフ」を選び、決定を押す

HDMI CEC対応レコーダーの電源が「切」になります。

お知らせ

- 次のような場合は、「リンク機器操作」のサブメニューは選べません。
  - 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」が「切」に設定されているとき P.107
  - 接続したHDMI機器が、HDMI CECに対応していないとき
- HDMI CEC対応機器を接続した場合、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI CEC対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

デジタル放送を今すぐ録画で録る

今すぐ録画とは、HDMI CEC機能を使って、テレビから簡単にデジタル放送の録画を開始できる機能です。
視聴中のデジタル放送を今すぐ録画したいときに便利です。
（本機に接続したHDMI CEC対応レコーダーに録画する機能です。本機のみでは録画できません。）

HDMI CEC対応のレコーダーで録る

レコーダーがデジタルチューナー内蔵の場合、レコーダー側のデジタルチューナーを使って簡単にデジタル放送を録画することができます。

1 メニュー●を押す

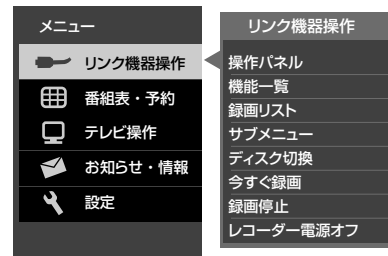
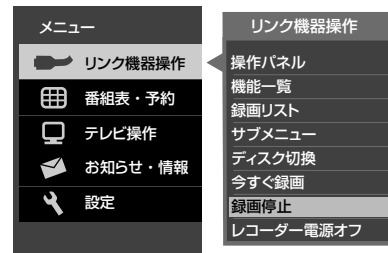
2 △▽で「リンク機器操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「今すぐ録画」を選び、決定を押す

画面に「デジタル放送の録画が開始されました」の表示が出て、録画を開始します。
レコーダーが電源「切」の状態でも自動で電源が「入」になり録画が始まります。

録画を停止したいときは

1 メニュー●を押す

2 △▽で「リンク機器操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「録画停止」を選び、決定を押す

録画を停止します。

- 「操作パネル」を表示させて、停止させることもできます。くわしくは P.85 をご覧ください。

お知らせ

- 本機のHDMI CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI CECに対応している必要があります。くわしくは、HDMI CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。仕様は予告なく変更することがあります。
- デジタル放送をご覧になるときは、「今すぐ録画」機能をいつでも、すぐにご利用いただけるように、HDMI CEC対応レコーダーの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「テレビ電源入連動」と「テレビ電源切連動」を「入」にしておくと便利です。 P.107
- 本機のチューナーでデジタル放送を見ているときは、視聴中のデジタル放送の番組データをレコーダーに送り、レコーダーでチャンネルを切り換えて録画します。
- レコーダー側のチューナー（HDMI1 ～HDMI3）でデジタル放送を見ているときは、レコーダーが選局している番組をそのまま録画します。レコーダーの録画ボタンを押した場合と同じ動作となります。
- 録画モード（画質）は、レコーダー側で設定されているモードになります。くわしくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI CEC対応機器を接続した場合、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部（今すぐ録画など）ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI CEC機能を使用するときは接続機器側もリンク使用可能な設定にします。設定方法は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。
- 契約が必要なチャンネルの番組を今すぐ録画するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードが入っていることを確認してください。

視聴予約について

本機では、デジタル放送の視聴予約ができます。

番組開始時刻の数十秒前になると、自動で予約したチャンネルに切り換えます。
見逃したくない番組があるときに設定しておくと便利です。
予約設定後、電源プラグを抜いていると、視聴予約は実行されません。
本機の電源が「切」(待機状態)でも、自動で本機の電源が「入」になり、画面に「このまま視聴するときは、電源以外のボタンを押してください」と表示されます。この間に何も操作がないと、15分後に自動で本機の電源が切れます。
何か操作をして15分以上視聴を続けると、予約番組終了後も本機の電源は切れません。
続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

重複した予約の優先順位について

放送時間が重なったり連続しているときは

先に始まる番組が優先されます。
また、予約は重複していなくても、前の番組が延長され、それに対応する設定 P.130 の場合で、結果的に予約が重なってしまった場合も同じです。

開始時刻が同じときは

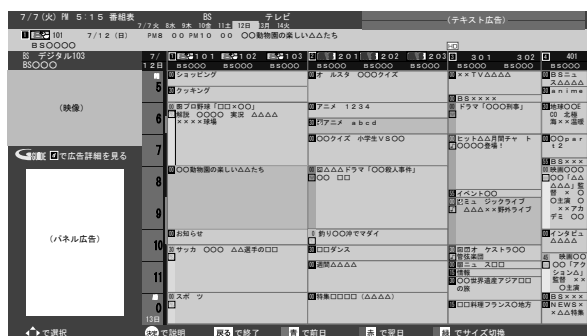
次の優先順位で予約されます。

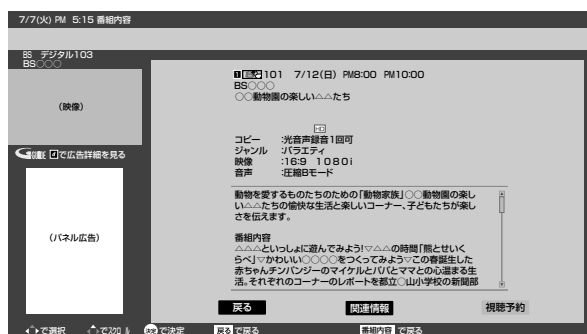
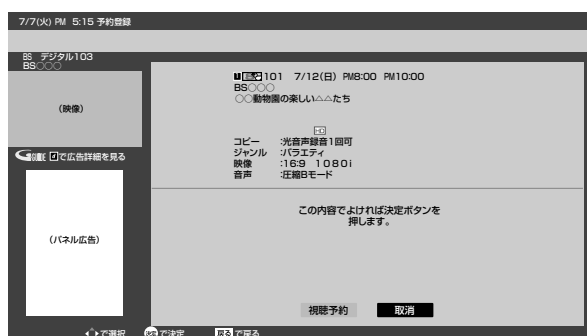
- 番組指定予約が時間指定視聴予約より優先されます。
- 指定日予約、毎週予約、毎日予約の順で優先されます。
- CS1、CS2、BS、地上デジタルの順で優先されます。
- CS1、CS2、BSデジタル放送の場合は、3桁番号の小さい方が優先されます。
- 地上デジタル放送の場合は、「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネルスキップ」 P.120 において上に表示されるチャンネルが優先されます。

番組表や番組検索から視聴予約する

番組表や番組検索から番組を選んで、視聴予約ができます。
視聴予約の繰り返し予約(毎日や毎週の予約)は、時間指定視聴予約 P.80 で行ないます。

準 備 番組表 P.52 または
番組検索(検索後)画面 P.62 を
表示する

1 △▽◁▷で視聴予約したい番組を選んで、決定を押す

その番組の「番組内容画面」が表示されます。

2 「視聴予約」が選ばれている状態で、決定を押す

3 ◁▷で「視聴予約」を選び、決定を押す

すでに始まっている番組を視聴予約した場合は、
その番組に切り換わります。

予約した時刻になると

開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。リモコンで電源を「切」(待機状態)にしていても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

- 続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

お願い!

- 予約が時間的に重なっていると、正しく番組を視聴できません。P.77
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで、「視聴予約一覧」画面を見て確認してください。P.82

次ページへつづく

お知らせ

- 1週間先までの番組を選んで、最大15件まで(時間指定視聴予約 P.80 を含む)予約できます。

4 下の画面が表示されたら、決定を押す

予約登録を完了し、番組表または番組検索の画面に戻ります。

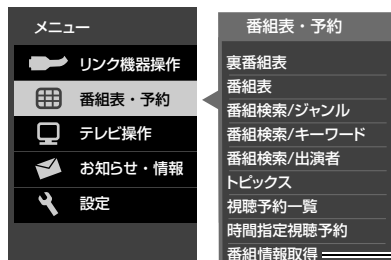
5 戻る を押す

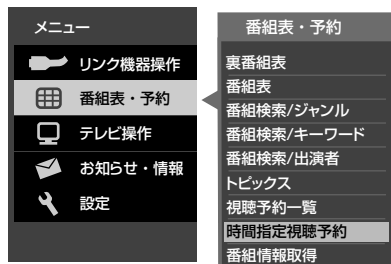
時間を指定して視聴予約する(時間指定視聴予約)

時間とチャンネルを指定して、デジタル放送の番組を視聴予約ができます。

準備 予約するデジタル放送の種類を選ぶ P.38

1 メニュー ●を押す

2 △▽で「番組表・予約」を選び、を押す

「番組情報取得」は、地上デジタル放送を視聴中のときのみ表示されます。

3 △▽で「時間指定視聴予約」を選び、決定を押す

4 △▽でチャンネルを選び、決定を押す

5 △▽で予約日を選ぶ

次ページへつづく

予約した時刻になると

開始時刻の約45秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。リモコンで電源を「切」(待機状態)にしていても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約15分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

お知らせ

- 続きの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

お願い！

- 予約が時間的に重なったり連続していると、正しく番組を視聴できません。P.77
- 「予約が重複または連続しています」と表示された場合は、予約したあとで、「視聴予約一覧」画面を見て確認してください。P.82

お知らせ

- 時間指定視聴予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
- 31日先までの番組を選んで、最大15件まで(番組表や番組検索からの予約 P.78 を含む)予約できます。
- 予約日を選び、▽を繰り返し押すと曜日指定が表示されるので、毎週同じ時間・同じチャンネルの番組を定期的に視聴するような予約もできます。

6 ▷でカーソルを動かし、△▽で「開始時刻」と「終了時刻」を選ぶ

7 ▷でカーソルを「予約種別」へ動かし、「視聴予約」を選び、決定を押す

8 下の画面が表示されたら、決定を押す

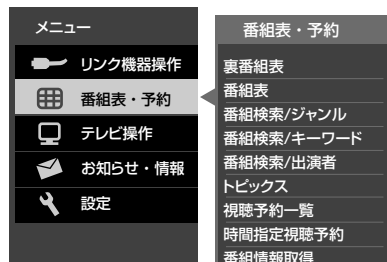
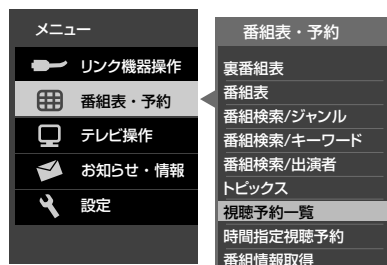
予約登録を完了し、手順4の画面に戻ります。

9 戻るを押す

視聴予約を確認する／取り消す

視聴予約の登録内容は、視聴予約一覧画面で確認できます。
予約が重複したり連続しているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり削除したりできます。

1 メニュー ●を押す

2 △▽で「番組表・予約」を選び、決定を押す

3 △▽で「視聴予約一覧」を選び、決定を押す

4 △▽で予約状況を確認する

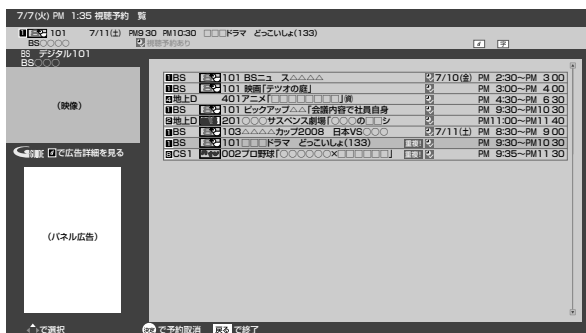
お知らせ

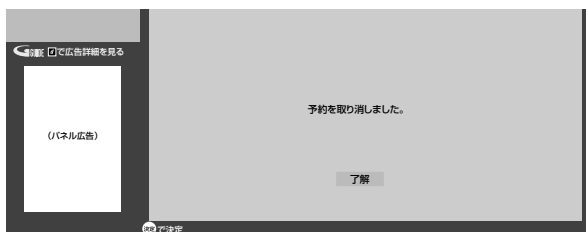
- 表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく視聴できません。 P.77
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く（約1分）終了し、正しく視聴できません。

次ページへつづく

重複している視聴予約を取り消す場合

確認だけして通常画面に戻る場合は、手順5～7は必要ありません。手順8に進んでください。

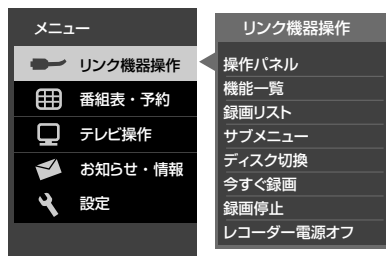
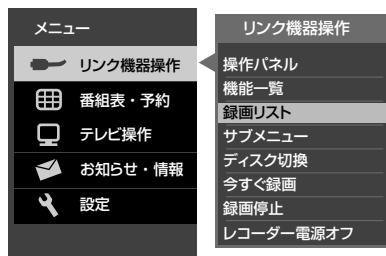
5 △▽で取り消す番組を選び、決定を押す

6 ◁▷で「はい」を選び、決定を押す

7 決定を押す

8 戻るを押す

HDMI CEC対応機器の録画リストを表示する

HDMI CEC対応機器の録画リストを、本機のリモコンで表示することができます。

1 メニュー ●を押す

2 △▽で「リンク機器操作」を選び、決定を押す

3 △▽で「録画リスト」を選び、決定を押す

● **例：**HDMI CEC対応機器側の録画リスト画面

4 △▽、決定で操作する

■ 確認だけして通常画面に戻る場合は

戻る ●を押す

お知らせ

- 本機のリモコンで「録画リスト画面」を表示するときは、必ず「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。P.107
- 本機のリモコンで「録画リスト画面」を表示するときは、接続機器側もリンク使用可能な設定にします。
- くわしくはHDMI CEC対応製品の取扱説明書をご覧ください。

お願い

- HDMI CEC機能を中止するために「リンク制御」P.107を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

操作パネルでHDMI CEC対応機器を操作する

有効なHDMI機器を接続すると、本機のリモコンで再生などの操作ができます。

例：HDMI で接続した HDMI CEC 対応機器の再生を行なう

1 入力切換 ▲ ▼を押して、接続しているHDMI（1 ～3）に切り換えます。

2 を押す

画面左下に「操作パネル」が表示されます。

● HDMI CEC対応機器が電源「切」の状態でも、「操作パネル」を表示させると数秒後に自動的に電源「入」になります。

● 操作パネル

操作パネルが表示されている間、決定ボタンと色ボタンはパネルに表示された機能が割り当てられます。

3 △を押す

再生が始まります。

本機のリモコンボタン	操作パネル表示中に割り当てられる機能	本機のリモコンボタン	操作パネル表示中に割り当てられる機能
△	再生	青	一時停止
▽	停止	赤	録画停止
▷	早送り	緑	戻し方向へスキップ
◁	早戻し	黄	送り方向へスキップ
メニュー	本機のメニュー画面を表示	戻る	操作パネル終了

4 操作が終わったら、戻るを押す

「操作パネル」が消えます。

お知らせ

● 「操作パネル」を使用するときは、必ず「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「リンク設定」で「リンク制御」を「入」に設定しておいてください。 P.107
● 「操作パネル」は、「メニュー」→「リンク機器操作」→「操作パネル」でも表示させることができます。メニューについては、P.60をご覧ください。
● 「操作パネル」は、操作せずに約30秒経つと自動的に消えます。
● HDMI機器で選択されているディスク（HDDやDVDなど）が再生されます。
● 「操作パネル」を選んでも「操作パネル」が表示されない場合があります。
例：メニュー表示中 P.60、他
● HDMI CEC対応機器を接続した場合、「操作パネル」が表示され、接続機器側の操作の一部ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
● 「操作パネル」を使用するときは、接続機器側もリンク使用可能な設定にします。
● 「操作パネル」を表示していないときでも△▽◁▷ボタン、決定ボタン、戻るボタンでHDMI CEC対応機器のメニューや録画リストなどの操作ができます。
● くわしくはHDMI CEC対応製品の取扱説明書をご覧ください。

お願い

● HDMI CEC機能を中止するために「リンク制御」P.107を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

画質設定をする

画質の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「画質設定」画面の表示のしかた

1 メニュー ●を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「画質設定」を選び、決定を押す

「画質設定」画面について

映像モード切換 P.87
映像に合った画質設定を、5つのモードの中から選ぶことができます。

バックライト P.88
バックライトの明るさを調整します。

コントラスト P.88
映像コントラストを調整します。

黒レベル P.88
黒レベルを調整します。

色の濃さ P.88
色の濃さを調整します。

色あい P.88
色あいを調整します。

色温度 P.88
白の青み赤みを切り換えます。

シャープネス P.88
シャープネスを調整します。

詳細調整 P.89
画質設定をさらに細かく調整できます。

画質設定の初期化 P.90
現在選ばれている映像モードの画質設定をお買い上げ時の状態に戻します。

明るさセンサー P.91
お部屋の明るさに応じて、バックライトの明るさを自動で調整します。

映像モードの種類

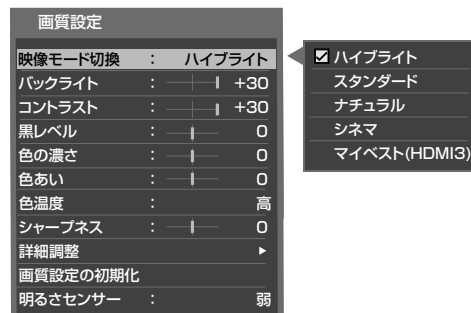
- **ハイブライト**
  色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
  標準的な画面です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
  より自然で、落ちついた色合い、画質に補正された画質になります。
- **シネマ**
  お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適した画質です。
- **マイベスト**
  各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに、お好みに合わせて細かい調整ができます。P.88、89
- **PCデータ**
  通常のPC画面を見るモニターモードです。
- **PC映像HD**
  PCでHDV（1280×720以上）相当の動画（配信ビットレート5Mbps相当以上）を全画面で見る場合に最適なモードです。テレビ映像並みのくっきり鮮やかな画質でご覧いただけます。
- **PC映像SD**
  PCでSD（768×480）相当の動画（配信ビットレート1Mbps相当）を全画面で見る場合に最適なモードです。
- **PC映像LD**
  PCで320×240サイズなどSDよりさらに粗い画像（500Kbpsなど）を全画面で見る場合に最適なモードです。

映像モードを切り換える

５つの映像モードから選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。
P.88、89

1 「画質設定」画面を表示する P.86

2 △▽で「映像モード切換」を選び、決定を押す

例:地上デジタル放送選局時

3 △▽で設定を選び、決定を押す

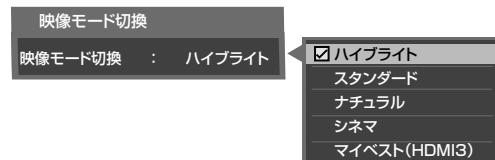
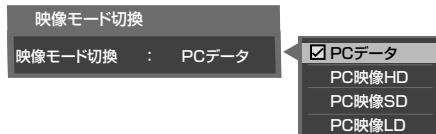
PC入力以外のとき

映像モード切換		
映像モード切換	:	ハイブライト

☑ハイブライト
スタンダード
ナチュラル
シネマ
マイベスト(HDMI3)

PC入力のとき

映像モード切換		
映像モード切換	:	PCデータ

☑PCデータ
PC映像HD
PC映像SD
PC映像LD

4 メニュー●を押す

お知らせ

- 映像モードは、各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに選ぶことができます。

お知らせ

- PC入力のときは、シャープネスの調整はできません。
- 「明るさセンサー」P.91が「切」以外のとき、バックライトの調整はできません。

画質調整をする

映像モードP.87は、それぞれお好みの画質に調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.86

2 △▽で調整項目を選び、決定を押す

3 バックライト、コントラスト、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネスの場合

◁▷で調整し、決定を押す

色温度、明るさセンサーの場合

△▽で設定を選び、決定を押す

4 メニュー●を押す

より美しい映像で見るために

- **お部屋の明るさに応じて**
  「バックライト」または「明るさセンサー」で画面の明るさを調整してください。
- **テレビに近づいて見るときは**
  「バックライト」や「明るさセンサー」で画面をやや暗めに、「シャープネス」で少しやわらかめに調整してください。
- **暗い映画などで、黒がつぶれぎみのときは**
  「黒レベル」で黒つぶれが少なくなるように調整してください。
- **ノイズの多いビデオなどを再生するときは**
  「色の濃さ」で色を淡く調整してください。

さらに細かく画質調整をする（詳細調整）

「詳細調整」では、さらに細かく画質を調整することができます。

1 「画質設定」画面を表示する P.86

2 △▽で「詳細調整」を選び、決定を押す

3 △▽で調整項目を選び、決定を押す

お知らせ

- PC入力のときは調整できません。
- 「詳細調整」は画質の変化が大きいため、一度に複数項目の変更をせず、1項目変更するごとに通常の「画質調整」P.88を変更して確認しながら設定していくと、比較的早くお好みの最良画質にすることができます。
  「詳細調整」項目を変更した場合は、通常の「画質調整」の変更で、更に画質が向上する場合があります。

4 △▽で設定を選び、決定を押す

5 メニューを押す

詳細調整の調整項目

項目	設定	説明
ガンマ補正	ガンマ特性を入力信号に合わせて調整し、コントラスト感のある画質に仕上げます。	
	☑強	暗部のコントラスト感が強調されます。
	中	標準の設定状態です。
	弱	明部のコントラスト感が強調されます。
	切	
色補正	自然に見えるように色あいを補正します。	
	☑モード1	モード2よりも自然さと落ちつきを重視した設定です。
	モード2	原色を鮮やかに補正します。自然の風景などを見る場合におすすめします。
	切	
コントラスト補正	強 / ☑中 / 弱 / 切	画面全体が暗い映像において、コントラスト感を改善して、鮮明な映像にします。
映像輪郭補正	強 / 中 / ☑弱 / 切	急峻で切れ味のよい輪郭にします。

項目	設定	説明
色にじみ補正	強 / 中 / ☑弱 / 切	色境界部分の色にじみを改善します。
MPEG NR	入 / ☑切	デジタル放送のブロック状のノイズを軽減します。
ブロックノイズNR	強 / 中 / ☑弱 / 切	デジタル映像のブロックノイズを少なくします。HDMI 1080p入力のときは、操作はできますが無効です。
3次元NR	強 / 中 / ☑弱 / 切	細微なノイズを減らします。HDMI 1080p入力のときは、操作はできますが無効です。
デジタルシネマ	☑自動 / 切	「自動」で、映画番組や映画ソフトであることを自動的に検出し、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。

画質設定を初期化する

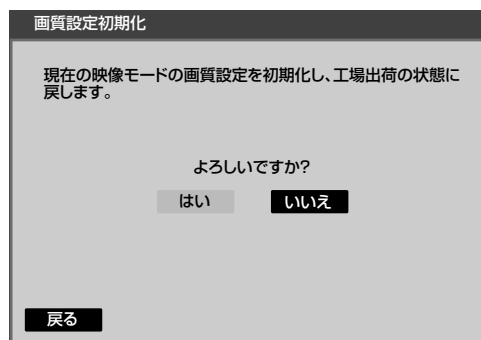
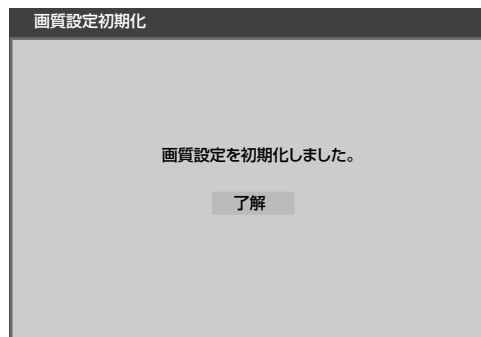
選んでいる映像モードの画質調整 P.88 と詳細調整 P.89 に関する内容をお買い上げ時の状態に戻します。
映像モードごとに初期化できます。

1 「画質設定」画面を表示する P.86

2 △▽で「画質設定の初期化」を選び、決定を押す

画質設定

映像モード切換	：	ハイブライト
バックライト	：	+30
コントラスト	：	+30
黒レベル	：	0
色の濃さ	：	0
色あい	：	0
色温度	：	高
シャープネス	：	0
詳細調整		▸
画質設定の初期化		
明るさセンサー	：	弱

3 ◁▷で「はい」を選び、決定を押す

4 下の画面が表示されたら、決定を押す

5 メニューを押す

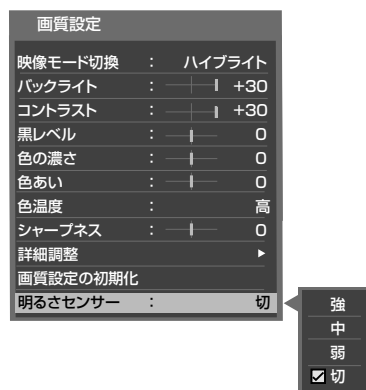
お知らせ

「メニュー」→「設定」→「設定初期化」→「画質設定初期化」でも同様に初期化できます。 P.132

自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)

本体前面の明るさセンサーがお部屋の明るさを感知して、お部屋が暗いとき画面がまぶしくないように、自動で画面の明るさをおさえます。消費電力も節約します。

1 「画質設定」画面を表示する P.86

2 △▽で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

「強」「中」「弱」…本機までの距離でお選びください。近いときは「強」がおすすめです。「強」では画面の明るさを強くおさえるので、画面を暗く感じることがあります。

「切」……………明るさセンサーは、はたらきません。画面の明るさは通常のままです。

4 メニューを押す

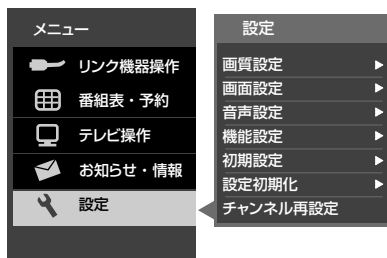
お知らせ

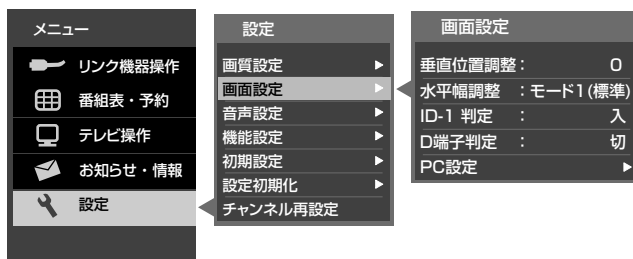
- 「明るさセンサー」が「切」以外のとき、バックライトの調整 P.88 はできません。

画面設定をする

画面の調整と、画面モードに関する設定ができます。

「画面設定」画面の表示のしかた

1 メニュー●を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「画面設定」を選び、決定を押す

「画面設定」画面について

垂直位置調整 P.93
映像を上下に移動させてお好みの位置にして見ることができます。

水平幅調整 P.93
画面モードが「ノーマル」または「ダイナミック」で、画面の左右が切れたり黒い帯が出たりするときに設定を変えてください。

ID-1 判定 P.93
画面モード情報（ID-1）があるビデオなどの画面モードを自動で切り換えます。

D端子判定 P.93
D端子入力の画面モードを自動で切り換えます。

PC設定 P.94
PCの画面を調整します。

画面の調整や画面モードの設定をする

1 「画面設定」画面を表示する P.92

2 △▽で設定項目を選び、決定を押す

PC入力では、「PC設定」以外の項目は選べません。

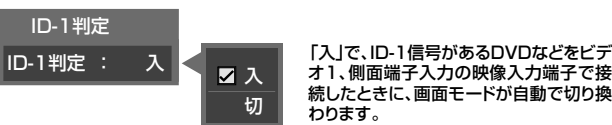
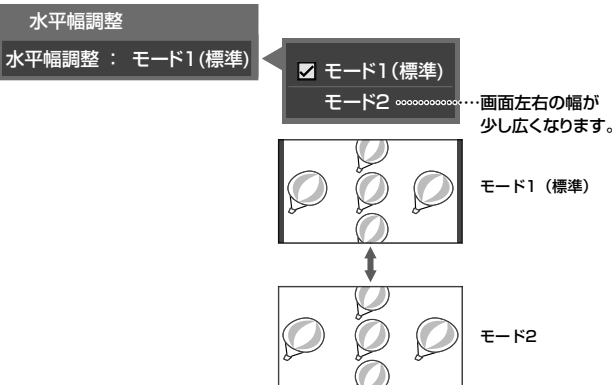
3

垂直位置調整の場合

◁▷で調整し、決定を押す

水平幅調整、ID-1判定、D端子判定の場合

△▽で設定を選び、決定を押す

4 メニュー を押す

お知らせ

- 「垂直位置調整」は、画面モードごとに調整することができます。ただし、1080i、1080pのフルピクセル時は、操作はできますが無効です。
- 画面モードについてはP.48、49をご覧ください。
- 「水平幅調整」は、480i、480pのノーマル、ダイナミック時にのみ有効です。
- 「ID-1判定」は、D端子接続の映像では、はたらきません。
- 次のようなときは、「ID-1判定」を「切」に設定してください。
  - DVDやデジタル放送を録画したビデオテープで正常に動作しないとき
  - ビデオの一時停止や早送り、巻戻しをするときに、画面モードが変化するのが気になるとき

お知らせ

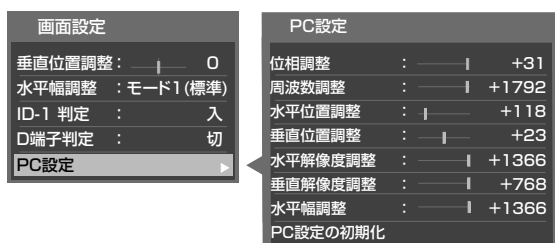
- パソコンを接続していない等、PC入力に信号がないときは、「PC設定」に入れません。
- ◁▷の長押しで調整を行なう場合、画面に変更が反影されるのは◁▷を離したときです。

パソコンの画面を調整する

パソコンを接続したときに画面を表示してみて、画面の位置・大きさが適切でなかったり、文字のニジミがある場合は以下の手順で調整することができます。
調整は映像モードで「PCデータ」を選んでから行なってください。P.87

1 「画面設定」画面を表示する P.92

2 △▽で「PC設定」を選び、決定を押す

PC設定
位相調整 : +31
周波数調整 : +1792
水平位置調整 : +118
垂直位置調整 : +23
水平解像度調整 : +1366
垂直解像度調整 : +768
水平幅調整 : +1366
PC設定の初期化

「PC設定」は、PC入力以外では選べません。

3 △▽で調整項目を選び、決定を押す

4 ◁▷で調整し、決定を押す

5 メニューを押す

画面の調整手順例

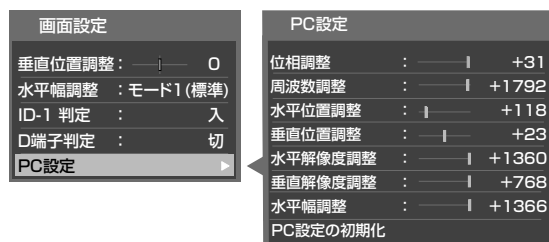
1. **「水平解像度調整」、「垂直解像度調整」をパソコンの解像度（「画面のプロパティ」などをご覧ください）に合わせる**
   表示が乱れる場合は、手順 4 で「周波数調整」の値を大きくしてください。
2. **「水平幅調整」を1366（液晶パネル水平方向の解像度）に調整する**
3. **「垂直位置調整」で映像の上端が画面上端になるように調整する**
4. **文字表示などが、映像全体でくっきりと見えるように「周波数調整」と「位相調整」をする**
   表示が乱れる場合は、「周波数調整」の値を大きくしてください。
5. **映像の左（または右）端が画面左（または右）端になるように「水平位置調整」をする**
6. **映像が画面水平方向いっぱいに表示されるように手順 4、5 を繰り返す**

PC設定を初期化する

PC設定 P.94 の内容をお買い上げ時の状態に戻します。

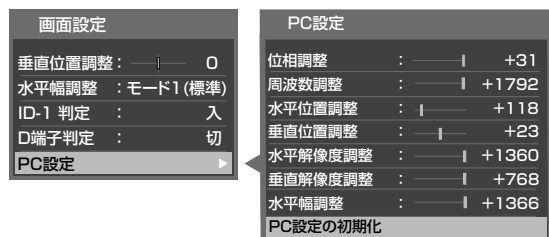
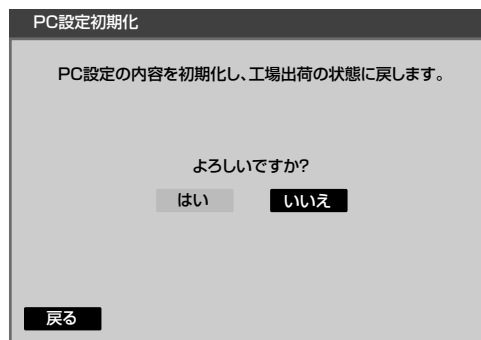
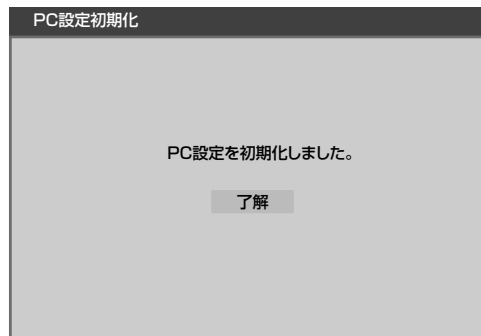
1 「画面設定」画面を表示する P.92

2 △▽で「PC設定」を選び、決定 を押す

PC設定
位相調整 : +31
周波数調整 : +1792
水平位置調整 : +118
垂直位置調整 : +23
水平解像度調整 : +1360
垂直解像度調整 : +768
水平幅調整 : +1366
PC設定の初期化

「PC設定」は、PC入力以外では選べません。

3 △▽で「PC設定の初期化」を選び、

決定 を押す

PC設定
位相調整 : +31
周波数調整 : +1792
水平位置調整 : +118
垂直位置調整 : +23
水平解像度調整 : +1360
垂直解像度調整 : +768
水平幅調整 : +1366
PC設定の初期化

4 ◁▷で「はい」を選び、決定 を押す

5 下の画面が表示されたら、決定 を押す

6 メニュー を押す

お知らせ

「メニュー」→「設定」→「設定初期化」→「PC設定初期化」でも同様に初期化できます。 P.132

音声設定をする

音声の設定をお好みにしたいときに調整できます。

「音声設定」画面の表示のしかた

1 を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「音声設定」を選び、決定を押す

「音声設定」画面について

音声モード切換 P.97
映像に合った音質設定を、3つのモードの中から選ぶことができます。

高音 P.98
スピーカーの高音を調整します。

低音 P.98
スピーカーの低音を調整します。

左右バランス P.98
スピーカーの左右バランスを調整します。

ヘッドホン設定 P.99
ヘッドホンの音質を調整します。

音質設定の初期化 P.100
現在選ばれている音声モードの音質設定をお買い上げ時の状態に戻します。

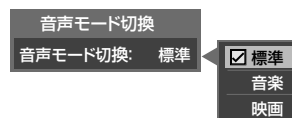
ぴったり音量 P.101
番組内容やシーン、入力内容で異なる音量を、自動で補正します。

音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を３つのモードの中から選ぶことができます。それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。調整方法については、次ページの「音質調整をする」をご覧ください。

1 「音声設定」画面を表示する P.96

2 △▽で「音声モード切換」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

4 メニューを押す

音声モードの種類

- **標準**
  標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **音楽**
  低音、高音を強調した設定になっています。
  音楽番組や音楽ソフトを聞くときにおすすめします。
- **映画**
  聞きとりやすい音質になっています。
  映画番組や映画ソフトを長時間見るときにおすすめします。

お知らせ

音声モードは、各入力（放送の種類やビデオ入力など）ごとに選ぶことができます。

音質調整をする

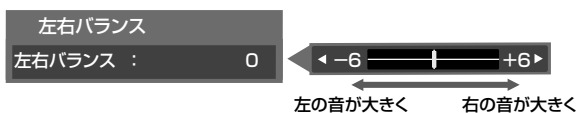
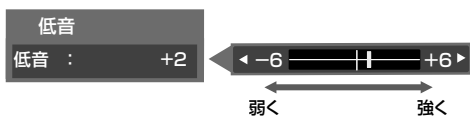
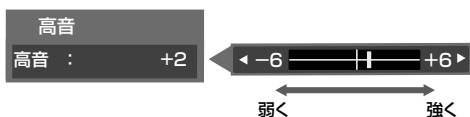
音声モードは、それぞれお好みの音質に調整することができます。

1 「音声設定」画面を表示する P.96

2 △▽で調整項目を選び、決定を押す

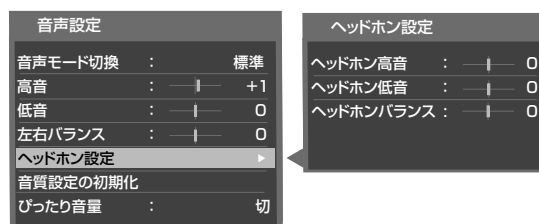
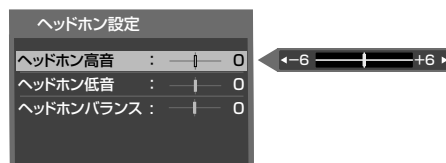
3 例：高音、低音、左右バランスの場合

◁▷で調整し、決定を押す

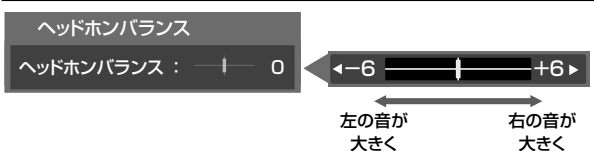
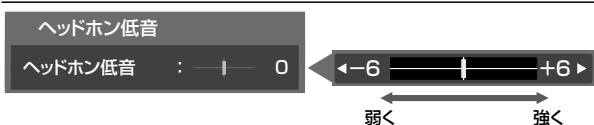
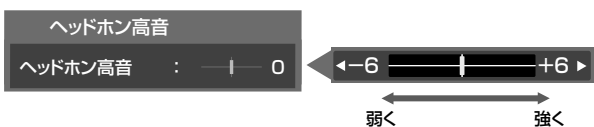
4 メニュー●を押す

ヘッドホンの音質調整をする(ヘッドホン設定)

ヘッドホンから出力される音声の高音、低音、バランスを調整できます。

1 「音声設定」画面を表示する

2 △▽で「ヘッドホン設定」を選び、決定を押す

3 △▽で調整項目を選び、決定を押す

4 ◁▷で調整し、決定を押す

5 メニュー●を押す

ヘッドホン設定の調整項目

音声設定をする（つづき）

音質設定を初期化する

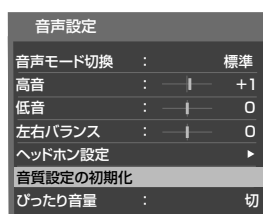
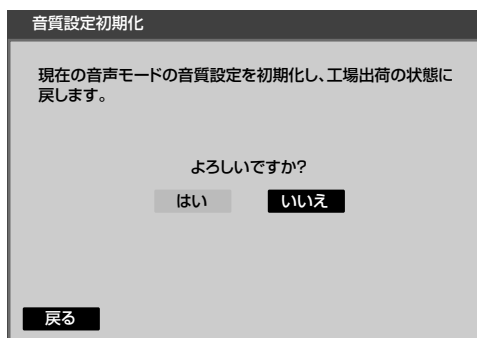
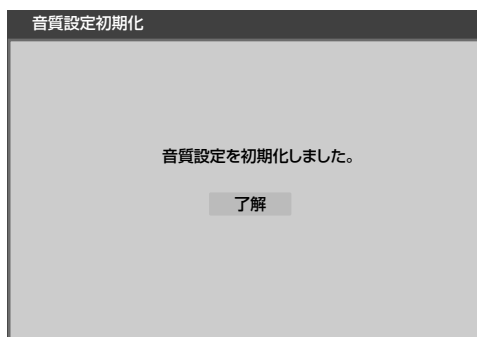
選んでいる音声モードの音質調整 P.98 に関する内容をお買い上げ時の状態に戻します。
音声モードごとに初期化できます。
ヘッドホン挿入時は、ヘッドホン設定 P.99 が初期化されます。

1 「音声設定」画面を表示する P.96

2 △▽で「音質設定の初期化」を選び、決定を押す

3 ◁▷で「はい」を選び、決定を押す

4 下の画面が表示されたら、決定を押す

5 メニュー●を押す

お知らせ

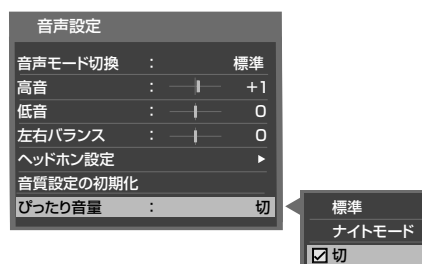
「メニュー」→「設定」→「設定初期化」→「音質設定初期化」でも同様に初期化できます。P.132

ぴったり音量にする

CMになったとき、番組が変わったとき、入力を切り換えたとき、映画のシーンが変わったときなど、音量が大きく変わるようなシーンにおいて、音量の変化を自動的に調節します。

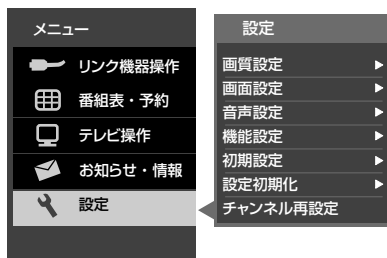
1 「音声設定」画面を表示する P.96

2 △▽で「ぴったり音量」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

「標準」…………… 通常の使用において、聞き取りやすく自然な効果です。
「ナイトモード」… 補正効果が強くなります。夜間など音量を絞っているとき向きです。
「切」……………… ぴったり音量がオフになります。

4 メニューを押す

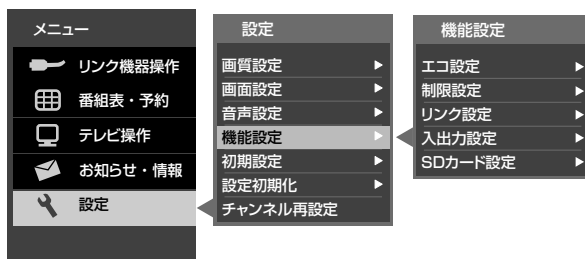
- 静かなシーンが続くときなど、音量を大きくする効果が強くはたらくので雑音が聞こえることがあります。
- ダイナミックレンジが重要な音楽の視聴では、音量補正効果によりダイナミックレンジを圧縮するため迫力感が弱くなります。
- 「ナイトモード」設定で、外部入力で音楽DVDなど録音レベルの大きなコンテンツを再生する場合、音量補正効果により、音が小さく感じることがあります。

機能設定をする

いろいろな機能を使うための設定をします。

「機能設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「機能設定」を選び、決定を押す

「機能設定」画面について

エコ設定 P.103
いろいろな節約の設定ができます。

制限設定 P.104
視聴許可年齢とアクトビラ、本体ボタン、HDMI CECの制限を設定します。

リンク設定 P.107
HDMI CECに関する設定をします。

入出力設定 P.108
光音声出力の音声形式の設定、光音声入力を使う映像入力の切り換え、外部入力のスキップ設定をします。

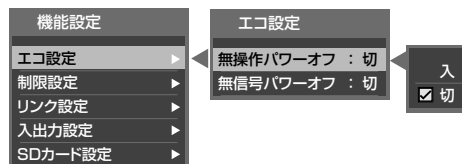
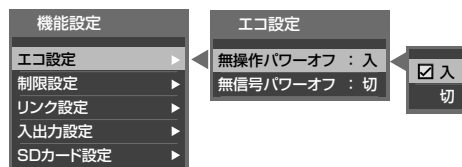
SDカード設定 P.109
SDカードの画像をスライドショーで見るときの表示時間を設定します。

エコ設定をする

省エネに関する設定ができます。

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「エコ設定」を選び、決定を押す

3 △▽で項目を選び、決定を押す

4 △▽で「入」を選び、決定を押す

5 メニュー●を押す

エコ設定の項目

項目	設定	説明
無操作パワーオフ	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約3時間テレビを操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
無信号パワーオフ	入 / ☑切	「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約10分経つと、自動的に電源が切れます。

お知らせ

無操作パワーオフ「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無操作パワーオフ　1分前」と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください。

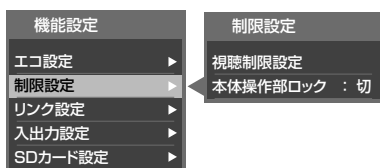
無信号パワーオフ「入」では、

- 電源が切れる1分前から「無信号パワーオフ　1分前」と表示されます。
- 接続しているビデオがブルーバックのときは、はたらきません。

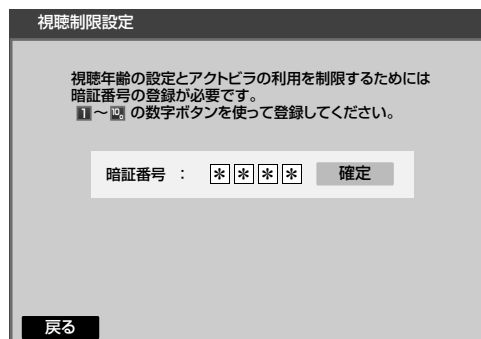
暗証番号を登録して視聴制限を設定する

一定の年齢以上でないと見ることができない番組に対して、暗証番号を登録し、視聴を制限することができます。
また、「アクトビラ」を利用するときに暗証番号を入力するように設定することもできます。
暗証番号は、「視聴の許可年齢」と「アクトビラ利用制限」で共通の番号になります。

初めて視聴制限を設定するとき（暗証番号が未設定のとき）

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「制限設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

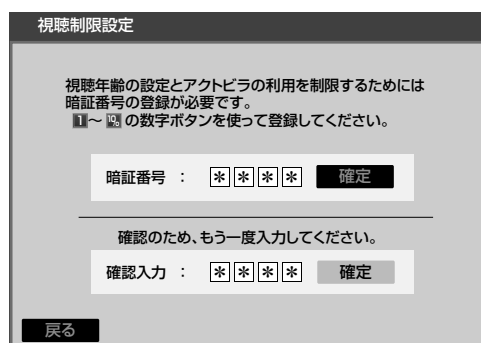
4 1〜10で４桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■ 「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

◁を押して、１文字消すことができます

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

■ ２回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

「入力した番号と異なります。再度入力してください。」と表示されます。

画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

視聴の許可年齢を設定するとき

6 「視聴の許可年齢」が選ばれている状態で、決定を押す

次ページへつづく

7 △▽で設定を選び、決定を押す

「4才以上」
～「19才以上」…4才から19才まで1才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合、例えば「15才以上」に設定すると、番組の視聴年齢制限が「18才以上」のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。
「制限なし」……番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。

アクトビラ利用制限を設定するとき

8 ▽で「アクトビラ利用制限」を選ぶ

9

「する」…………「アクトビラ」を利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。
「しない」………「アクトビラ」を利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。

10 設定が終わったら、メニューを押す

お知らせ

視聴制限を解除するための暗証番号を設定すると、視聴の許可年齢を超える番組を視聴するときや、「アクトビラ」を利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。万一、暗証番号を忘れた場合には、「全情報の初期化」P.133後に、再設定していただく必要があります。ただし、「全情報の初期化」をすると全ての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

視聴制限の設定を変更するとき（暗証番号が設定済みのとき）

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「制限設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

4 1～10で4桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■「0」を入力するときは

10を押す

■間違えたときは

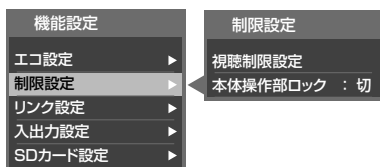
◁を押して、1文字消すことができます

5 左欄の手順 6～9を行なって設定を変更する

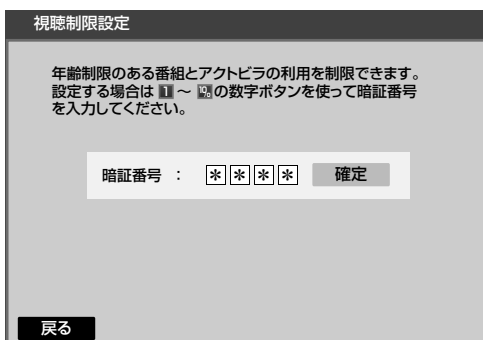
6 変更が終わったら、メニューを押す

機能設定をする（つづき）

暗証番号を変更するとき

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「制限設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「視聴制限設定」を選び、決定を押す

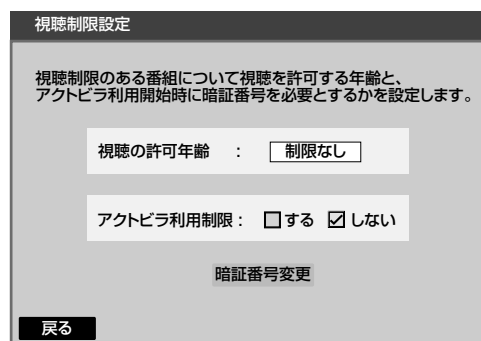
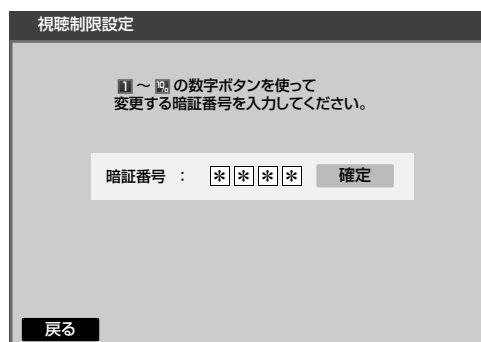
4 1～10で４桁の暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

◁を押して、１文字消すことができます

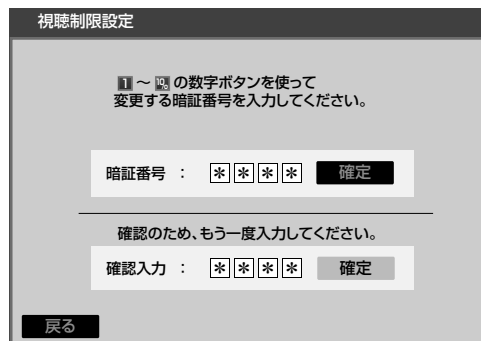
5 ▽で「暗証番号変更」を選び、決定を押す

6 1～10で４桁の新しい暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

入力した数字は「＊」で表示されます。

■「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

◁を押して、１文字消すことができます

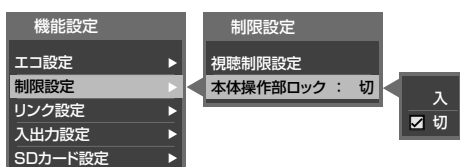
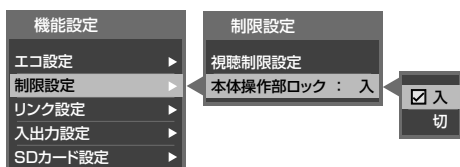
7 もう一度、同じ暗証番号を入力し、「確定」が選ばれたら、決定を押す

8 メニュー●を押す

本体のボタンを無効にする(本体操作部ロック)

本体側面のボタン操作を無効にし、小さなお子様のいたずらを防ぎます。

1 「機能設定」画面を表示する P.102

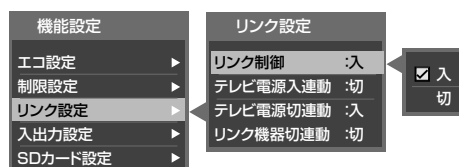
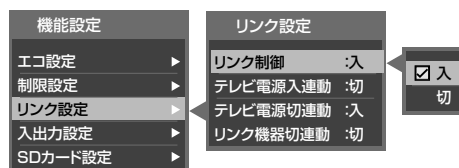
2 △▽で「制限設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「本体操作部ロック」を選び、決定を押す

4 △▽で「入」を選び、決定を押す

5 メニュー●を押す

HDMI CECの設定をする

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「リンク設定」を選び、決定を押す

3 △▽で設定項目を選び、決定を押す

4 △▽で設定を選び、決定を押す

5 メニュー●を押す

6 本機の電源を入れ直す

お知らせ

本機のHDMI CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI CECに対応している必要があります。機器により仕様が異なることがあります。くわしくはHDMI CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お願い!

HDMI CEC機能を中止するために「リンク制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

リンク設定の項目

項目	設定	説明
リンク制御	☑ 入 / 切	HDMI CEC対応機器を接続したときは「入」を選んでください。
テレビ電源入連動	☑ 入 / 切	「入」で、テレビの電源をオンすると、HDMI CEC対応のレコーダーの電源も連動してオンします。
テレビ電源切連動	☑ 入 / 切	「入」で、テレビの電源をオフすると、HDMI CEC対応機器の電源も連動してオフします。
リンク機器切連動	☑ 入 / 切	「入」で、HDMI CEC対応機器の電源をオフすると、テレビの電源も連動してオフします。

光音声出力設定をする

本機のデジタル音声出力（光）端子と、AACまたはPCM対応の光音声入力対応のオーディオ機器を接続して、デジタル放送のデジタル音声を楽しむ場合 P.28 は、機器との接続後に以下の設定が必要です。

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「入出力設定」を選び、

を押す

3 △▽で「光音声出力設定」を選び、

4 △▽で設定を選び、決定を押す

「PCM」……… 音声AACに対応していないオーディオ機器を接続の場合に設定します。

「AAC」 ……… 音声AACに対応しているオーディオ機器を接続の場合に設定します。

5

お知らせ

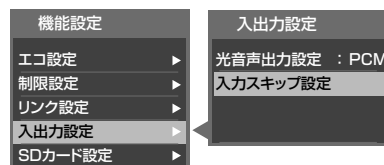
- AACとは、Advanced Audio Coding の略称で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5ch＋低域強調チャンネル（ウーハー）のサラウンド音声や多言語放送を行なうこともできます。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でアナログBSの音声やCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- HDMI CECに対応していない外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

外部入力のスキップ設定をする

HDMI入力やPC入力に外部機器を接続していない場合は、以下の手順でスキップ「する」に設定してください。入力切換操作のときにスキップ（飛び越し）します。

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「入出力設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

4 △▽でスキップしたい入力を選んでから、◁▷で「する」を選び、決定を押す

◁▷を押すごとに次のように切り換わります。

ビデオ1、側面端子、D端子1のとき
　オート ⟷ しない

HDMI1/2/3、PCのとき
　する ⟷ しない

お知らせ

ビデオ入力やD端子入力の場合、「オート」に設定しておくと、外部機器を接続していない入力だけを飛び越します。

5

を押す

SDカードのスライド時間を変更する

スライドショーで１枚の画像が表示され、次の画像に切り換わるまでの時間を変更できます。
時間は５秒、１０秒、１５秒、３０秒、６０秒から選べます。

1 「機能設定」画面を表示する P.102

2 △▽で「SDカード設定」を選び、決定を２回押す

3 △▽でご希望の時間を選び、決定を押す

4 メニュー●を押す

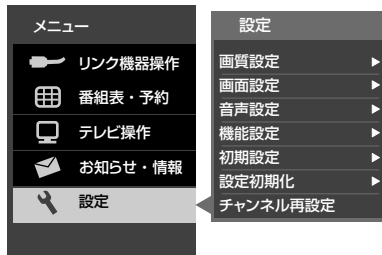
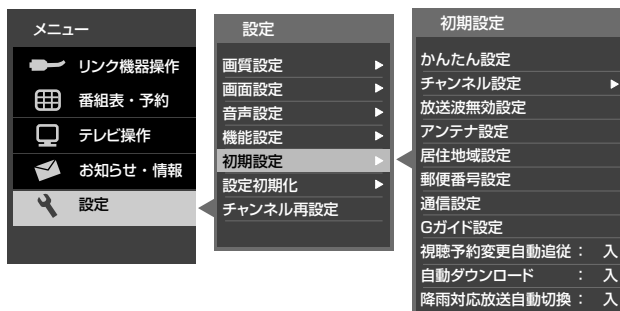
お知らせ

- 画像データのサイズにより、画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

初期設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

「初期設定」画面の表示のしかた

1 メニュー を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「初期設定」を選び、決定を押す

「初期設定」画面について

かんたん設定 P.111
テレビを見るために必要な設定が簡単にできます。

チャンネル設定 P.112
テレビを見るためのチャンネル設定をします。

放送波無効設定 P.111
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルごとに視聴するかどうかを設定します。

アンテナ設定 P.121
地上デジタル放送用アンテナとBS・110度CSデジタル放送用アンテナの受信レベルの確認や、BS・110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナ電源を設定します。

居住地域設定 P.124
お住まいの地域を設定します。

郵便番号設定 P.124
お住まいの地域の郵便番号を設定します。

通信設定 P.125
データ放送の双方向通信やアクトビラなどを、ブロードバンド回線経由で利用するのに必要な設定をします。

Gガイド設定 P.129
番組検索やトピックスを表示するために、お住まいの地域の設定と受信テストをします。

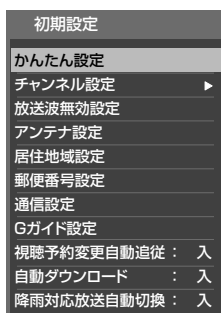
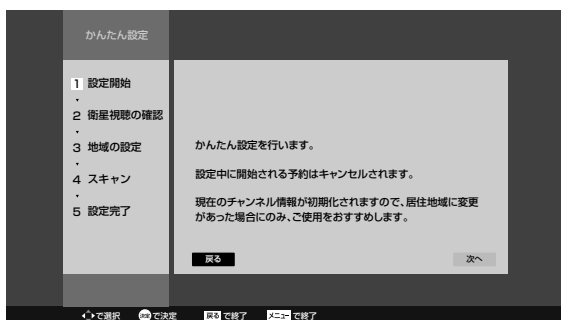
視聴予約変更自動追従 P.130
予約した番組の放送時間が変更されたときに、予約の時間を修正するか、取り消すかを設定します。

自動ダウンロード P.131
電源スタンバイ中（電源ランプが赤色点灯中）に、機能アップや機能改善のためにソフトウェアを自動で書き換えるかどうかを設定します。

降雨対応放送自動切換 P.130
BS・110度CSデジタル放送受信時、雨などで受信状態が悪いときに降雨対応放送に切り換えるかどうかを設定します。

かんたん設定で再設定する

1 「初期設定」画面を表示する P.110

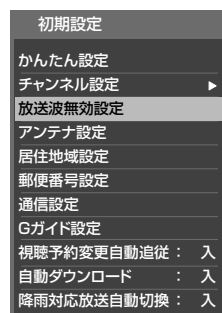
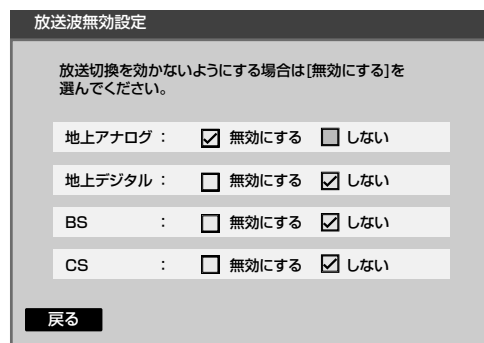
2 △▽で「かんたん設定」を選び、決定を押す

3 「次へ」が選ばれている状態で、決定を押す

4 34～36ページの設定を行なう

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」 P.37 をご覧ください。

放送波無効設定をする

特定の放送波を無効にすることができます。
「無効にする」に設定された放送波の放送切換ボタンは、効かなくなります。

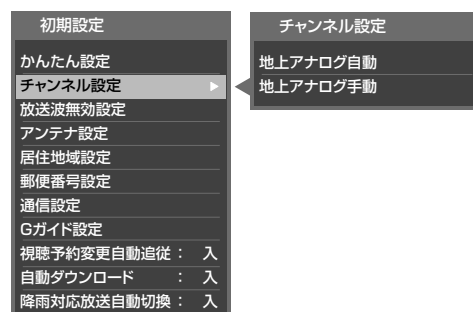
1 「初期設定」画面を表示する P.110

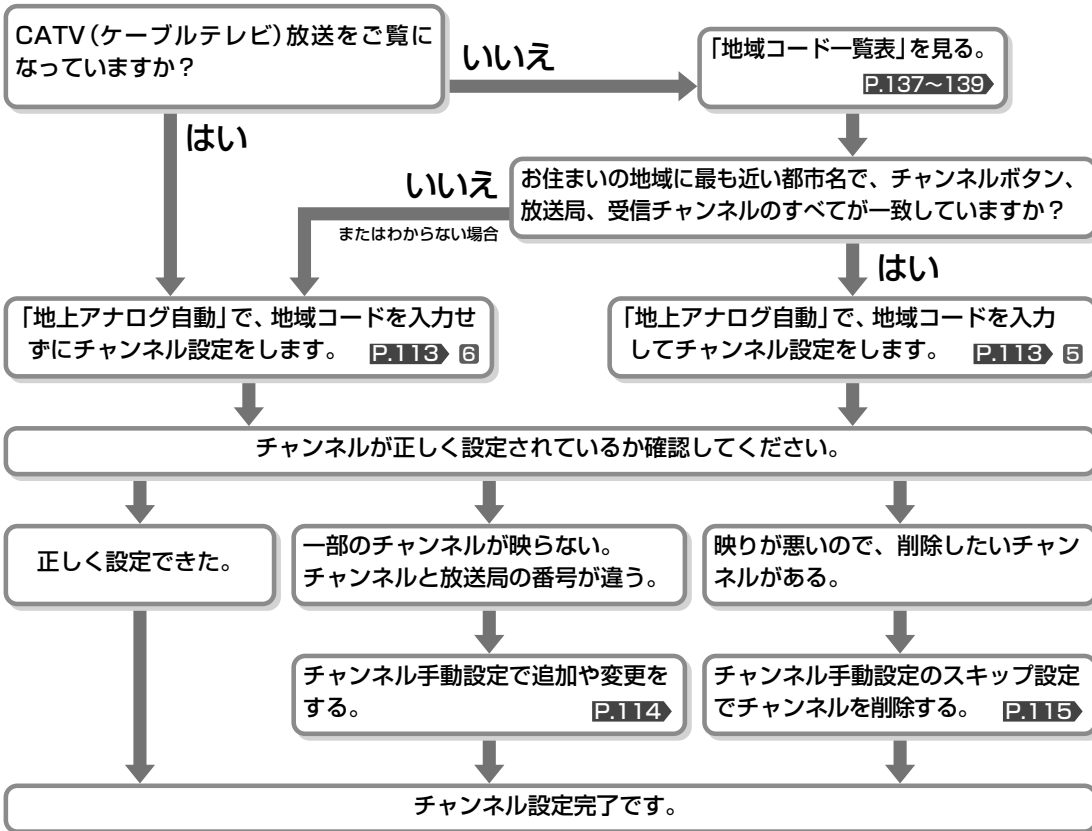
2 △▽で「放送波無効設定」を選び、決定を押す

3 △▽で無効にしたい放送波を選んでから、◁▷で「無効にする」を選び、決定を押す

4 メニュー を押す

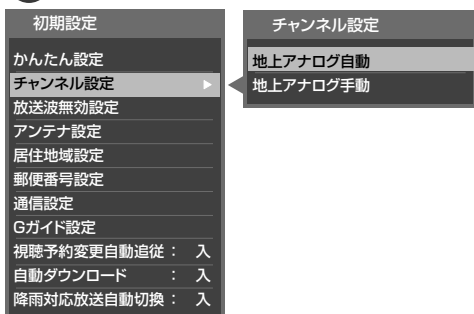
地上アナログ放送のチャンネル設定をする

VHF/UHF放送やCATV放送を見るにはチャンネル設定が必要です。お買い上げ時の「かんたん設定」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。チャンネルは、36個まで設定することができます。

「地上アナログ自動」で設定する

1 アナログを押して地上アナログ放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

次ページへつづく

3 △▽で「地上アナログ自動」を選び、決定を押す

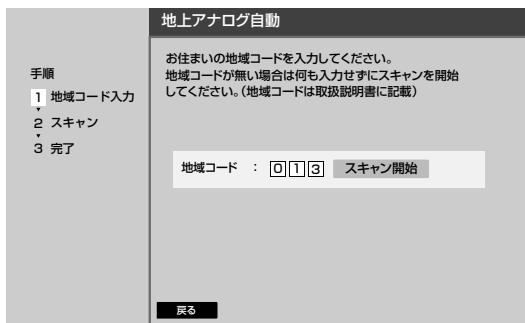
チャンネル設定
地上アナログ自動
地上アナログ手動

4 「地域コード一覧表」P.137～139を見る

お住まいの地域に最も近い都市名で、チャンネルボタン、放送局、受信チャンネルのすべてが一致しているかどうかを確認してください。

手順4で、すべてが一致している場合

一致しなかった場合、CATVで受信している場合、わからない場合は手順5は行なわず、手順6へ進んでください。

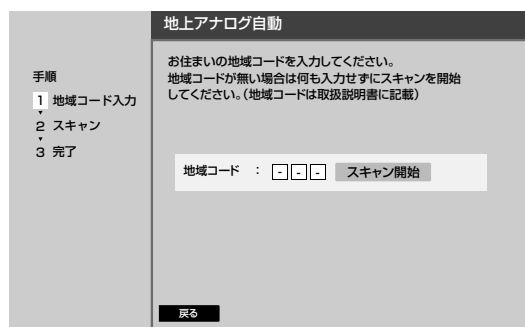
5 チャンネルボタン1～10で「地域コード」を入力して、決定を押す

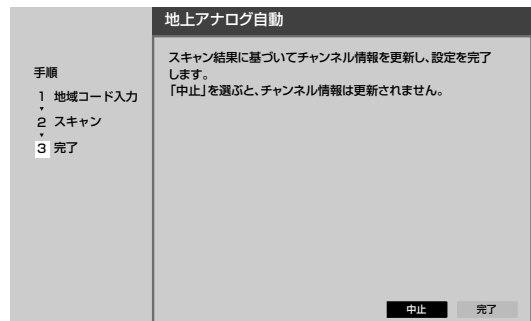
たとえば東京(013)の場合、10 1 3と押します。
間違えたときは、◁で戻って入力し直してください。

- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

手順4で、一致しなかった場合

その他に、CATVで受信している場合、わからない場合は手順6を行なってください。手順5を行なった場合、手順6は必要ありません。

6 「地域コード」を入力せずに(「－－－」のままで)、決定を2回押す

入力してしまったときは、◁でカーソルを1ケタ目に戻してから11を押すと、「－－－」になります。

- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

7 自動設定が終わって下の画面が表示されたら、決定を押す

8 チャンネルボタン1～12やチャンネル△▽を押してみて、正しく設定されたかどうかを確認する

正しく設定できなかった場合

- 受信できないチャンネルがある場合
- 画面表示をリモコンのチャンネルボタンに合わせたいとき
- 映りが悪いので受信したくないチャンネルがある場合

➡「地上アナログ手動」で変更してください。P.114

お知らせ

- スキャン中はざらざらした画面(ノイズ)になることがあります。設定が終わるまで、しばらくお待ちください。

地域コードを入力して「地上アナログ自動」で設定すると、

- リモコンのチャンネルボタン1～12に地域コード一覧表に従って自動的に設定されます。

地域コードを入力せずに(地域コード「－－－」で)「地上アナログ自動」で設定すると、

- リモコンのチャンネルボタン1～12のうちVHF放送のないボタンにUHF放送などが自動的に設定されます。
- チャンネルボタン1または2に放送のないチャンネルが設定されます。この放送のないチャンネルは、AV出力端子のない機器(ゲーム機など)を接続して見るときに使用します。(CATV放送が視聴できる地域では、このようにならないことがあります。)
- 受信できる放送チャンネルが多い場合、チャンネルボタン12まで順に自動設定されたあと、ひきつづき13～36に自動設定が行なわれます。

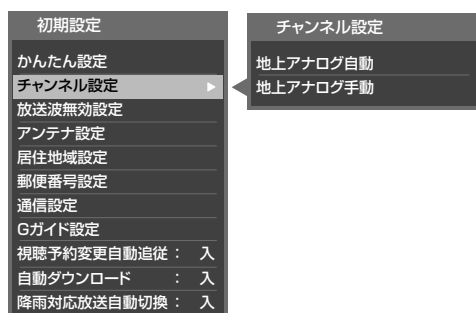
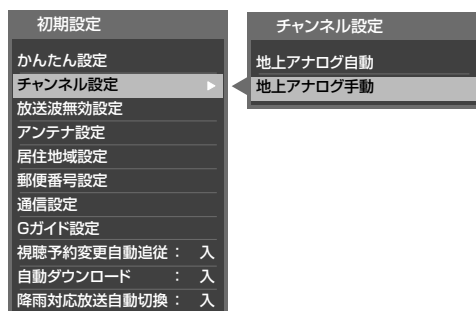
「地上アナログ自動」設定の終了後、

- 設定したチャンネルは、1～12またはチャンネル△▽(順・逆)で選局できます。
- お好みのチャンネルボタンに設定し直したいときや、画面表示をリモコンのチャンネルボタンに合わせたいときは、「地上アナログ手動」で変更してください。P.114

「地上アナログ手動」で設定する

地上アナログ放送のチャンネルの追加や変更などができます。

1 アナログを押して地上アナログ放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「地上アナログ手動」を選び、決定を押す

チャンネルの追加や変更をしたいとき

例：リモコンのチャンネルボタンを押したときに、UHF放送の32チャンネルが映るようにする

4 △▽で「ボタン2」を選ぶ

- CATV放送のチャンネル設定をするときや、表示されているボタンに空き番号がないときは、▽を押すとスクロールします。チャンネルは36個まで設定できます。

5 ▷で「選局」を選んでから、△▽で「32」を選ぶ

- 「表示」の番号もいっしょに切り換わります。

次ページへつづく

画面表示をリモコンのチャンネルボタンと合わせたいとき

手順5で表示させた番号と同じでよい場合は、手順6は行ないません。

6 ▷で「表示」を選んでから、△▽で「2」を選ぶ

放送局、中継局の送信周波数がずれているとき 周波数をずらして見やすくするとき

通常は手順7は行ないません。色が消えたり、しま模様が出ていたり映像が不安定なときは、見やすくなる場合があります。

7 ▷で「微調整」を選んでから、△▽で見やすい画面になるように調整する

放送のないチャンネルを飛び越し(スキップ)するとき

「スキップ」を「する」に設定したチャンネルは、チャンネル△▽で選局するときに飛び越します。
ボタン13～36は、お買い上げ時にスキップされています。

例:チャンネルボタン10をスキップする

8 ◁▷で「ボタン」を選んでから、△▽で「10」を選ぶ

9 ▷で「スキップ」を選んでから、△▽で「する」を選ぶ

10 メニュー●を押す

初期設定をする（つづき）

地上デジタル放送のチャンネル設定をする

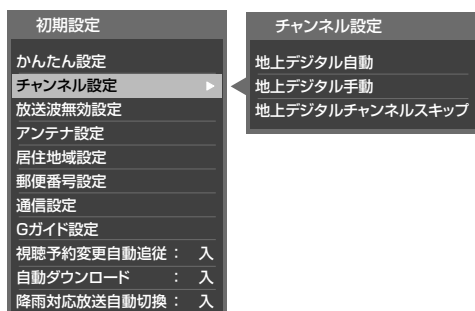
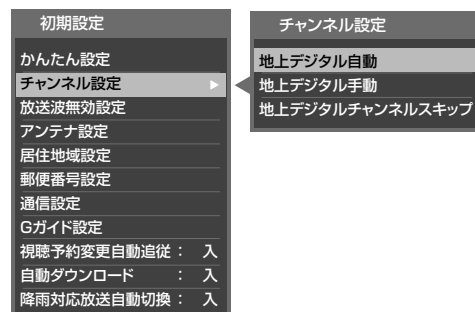
転居された場合や、お住まいの地域で放送局の開局・変更があった場合には、チャンネル設定が必要です。
地上デジタル放送を見るための、お住まいの地域の情報を取得します。
転居された場合は、「初期スキャン」を行なってください。
居住地域設定や隣接地域設定で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、メールでお知らせします。この場合、「再スキャン」を行なってください。

お知らせ

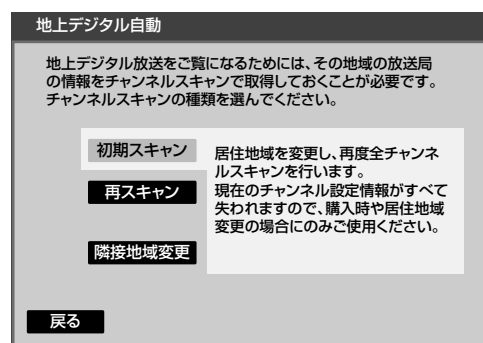
- 「再スキャン」は、「メニュー」→「設定」→「チャンネル再設定」でも行なえます。 P.67

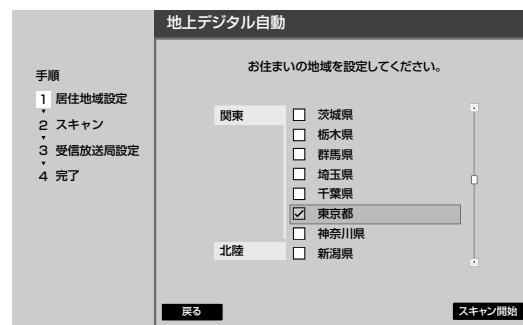
転居したときや、お住まいの地域で放送局の開局・変更があったとき

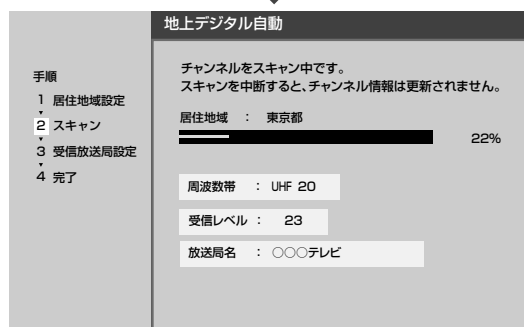
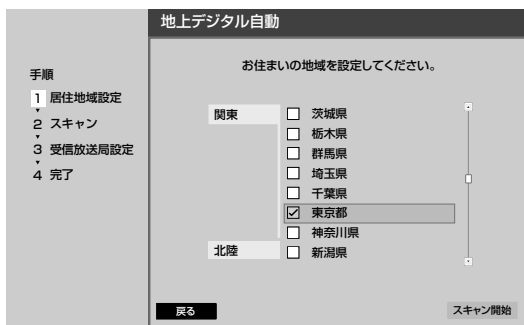
1 地デジを押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「地上デジタル自動」を選び、決定を押す

転居したとき

放送局の開局・変更があったときは、手順4～6は必要ありません。手順7に進んでください。

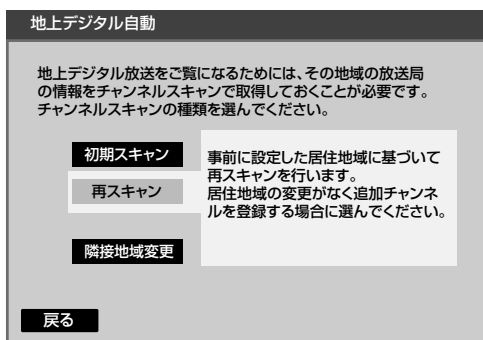
4 △▽で「初期スキャン」を選び、決定を押す

「全情報の初期化」 P.133 をしたあとには、「居住地域を設定し、全チャンネルスキャンを行います」と表示されます。

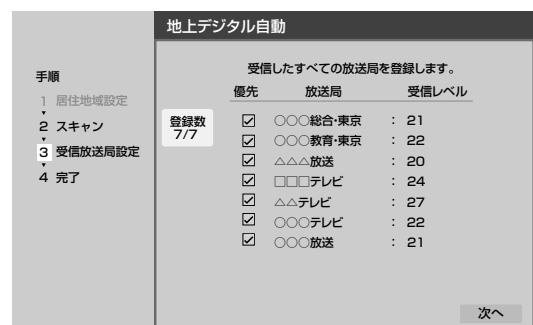
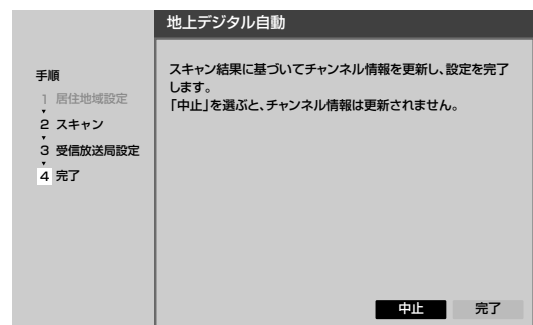
5 △▽でお住まいの地域を選び、決定を押す

次ページへつづく

6 ▷で「スキャン開始」を選び、決定を押す

- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

放送局の開局・変更があったとき

手順4～6を行なった場合、手順7は必要ありません。

7 △▽で「再スキャン」を選び、決定を押す

- スキャン中に戻るを押すと、設定を中断できます。

8 受信した放送局を確認し、決定を押す

9 「完了」が選ばれていることを確認し、決定を押す

- 決定を押すと、手順3の画面に戻ります。

10 メニューを押す

お知らせ

受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、
- アンテナが正しく接続されていない
- お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない
- 受信レベルが小さい

の可能性があります。
アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の開始時期をご確認ください。 P.134

地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らないとき」 P.37 をご覧ください。

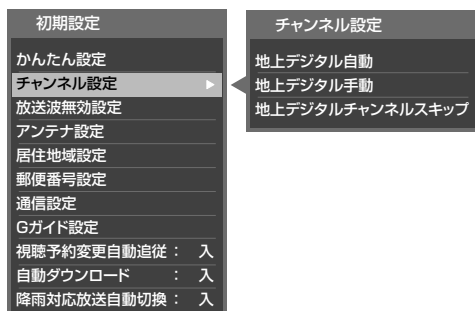
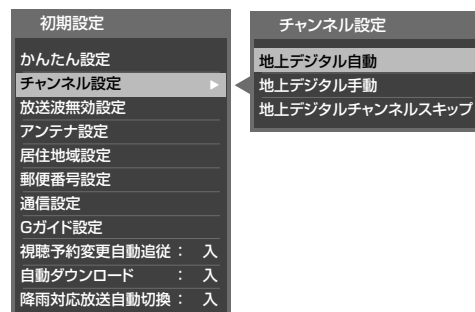
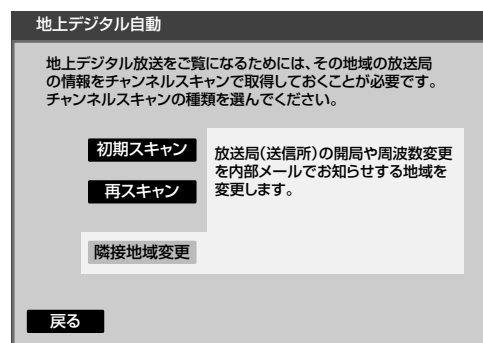
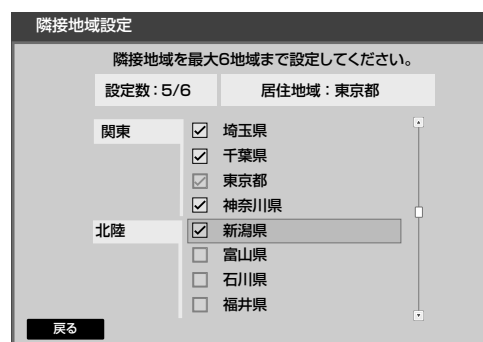
隣接地域を変更したいとき

隣接地域に指定すると、開局・変更情報がメールで受け取れるようになります。
隣接地域は、「かんたん設定」や「初期スキャン」で居住地域を設定したときに自動的に選ばれますが、お住まいの地域に合わせ変更することもできます。

1 地デジを押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「地上デジタル自動」を選び、決定を押す

4 △▽で「隣接地域変更」を選び、決定を押す

5 △▽で隣接地域を選んでから、決定を押して、☑をつける

設定できる地域は、最大６地域までです。

設定されている地域を削除したいときは

△▽で削除したい地域を選んでから、決定を押して、☑をはずす

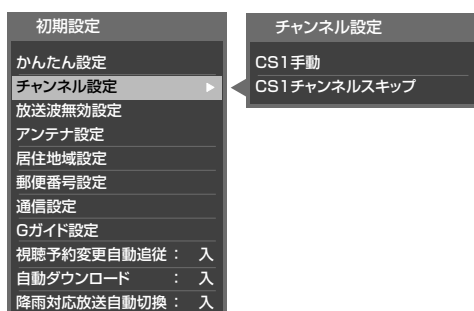
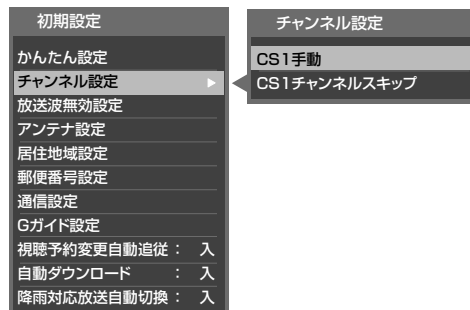
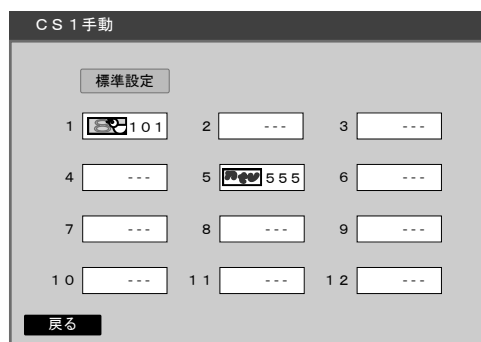
6 メニュー●を押す

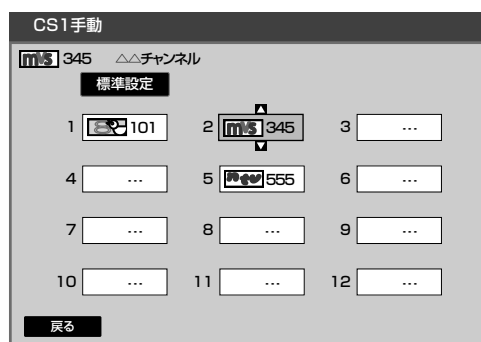
リモコンにデジタル放送のチャンネルを追加する

リモコンの 1 ～ 12 ボタンにチャンネルが設定されていないボタンがあるとき、チャンネルを追加することができます。
また、設定されているチャンネルを、お好みで別のチャンネルに変更できます。

例：110度CSデジタル放送のチャンネルを追加するとき

1 CSを押してCS1またはCS2を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「CS1手動（またはCS2手動）」を選び、決定を押す

4 △▽◁▷で設定したいリモコン番号を選び、決定を押す

- 「---」のボタンが、チャンネルが設定されていないボタンです。
- △▽◁▷で「標準設定」を選んで決定を押すと、本機が自動で設定する状態に戻ります。

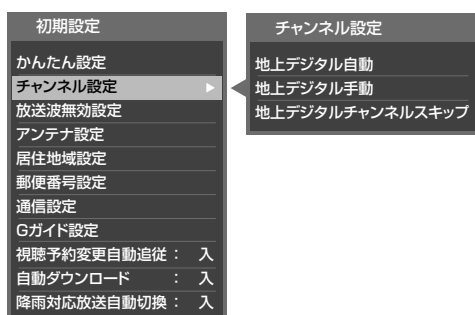
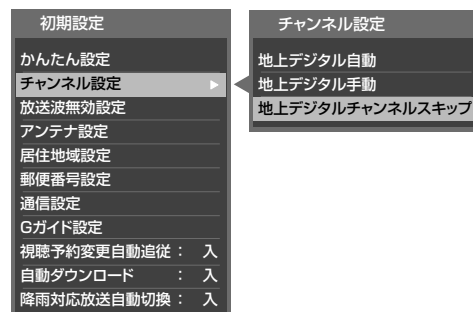
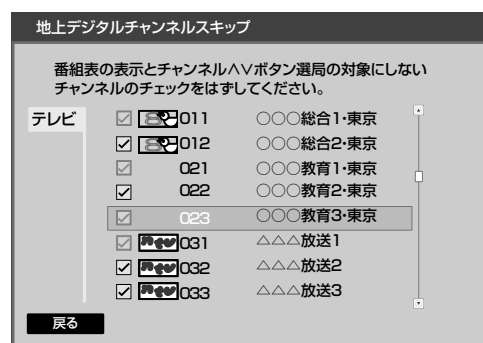
5 △▽で追加したいチャンネルを選び、決定を押す

6 設定が終わったら、メニューを押す

チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する

デジタル放送の視聴しないチャンネルや同じ内容のチャンネルをチャンネル△▽ボタンで選局するときに飛び越し（スキップ）したり、番組表から削除できます。

例：地上デジタル放送のチャンネルをスキップするとき

1 地デジを押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「地上デジタルチャンネルスキップ」を選び、決定を押す

4 △▽でスキップしたいチャンネルを選んでから、決定を押して☑をはずす

- チャンネルをスキップすると、☑が□に変わります。
- ☑がついていないチャンネルは、チャンネル△▽ボタンで選局するときにスキップされ、番組表から削除されます。
- 1～12に設定されているチャンネルはスキップできません。
- ☑がグレーのチャンネルは、1～12ボタンにも設定されているチャンネルです。
- ☑が黄色のチャンネルは、1～12ボタンには設定されていないチャンネルです。

5 メニュー●を押す

お知らせ

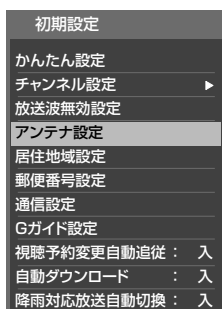
- 同じチャンネルでは、チャンネル△▽ボタンのスキップ設定と番組表の表示設定を異なる設定にはできません。
- 放送局によっては、時間帯ごとに複数（2～3程度）のチャンネルで同一の内容を放送したり、それぞれのチャンネルで別の内容を放送する場合があります。スキップ設定する場合は、番組表などで放送内容を確認してから行なってください。
- 複数チャンネルで同一の内容を放送している場合は、自動的にスキップされます。

アンテナ設定をする

デジタル放送用のアンテナを最初に設置するときや転居したときなどは、受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。また、BS・110度CSアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定が必要です。

地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき

1 地デジを押して地上デジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

3 受信レベルを確認する

4 メニューを押す

お知らせ

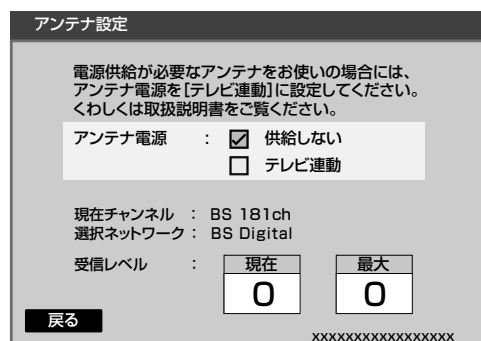
- 受信レベルで表示される数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きくはずれることがあります。地上デジタル放送の受信可能地域については、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター P.134 へお問合わせください。

BS・110度CSアンテナを接続したとき

1 BSを押してBSデジタル放送を選んでから、「初期設定」画面を表示する P.110

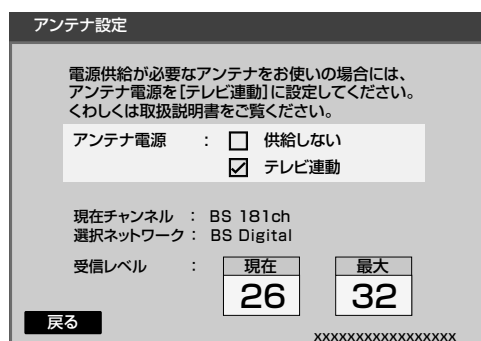
2 △▽で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

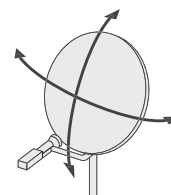
BS・110度CSアンテナの接続先によって、アンテナ電源の設定を選びます。

3 △または▽で設定を選び、決定を押す

供給しない
他の機器からBS・110度CSアンテナへの電源供給をしている場合や、マンションなどで共同受信している場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給しません。

テレビ連動
BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機の電源と連動して本機から供給します。
BS・110度CSデジタル放送をレコーダーで録画される場合は、「テレビ連動」にしないでください。本機が電源「切」のとき録画ができなくなります。

受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めます。

4 受信レベルを確認する

最大
受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。受信レベルが26以上になると、表示が緑色に変わります。これを目安にしてアンテナの方向を決めます。
最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

現在
この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。

5 メニュー を押す

お知らせ

- アンテナ電源の設定を「テレビ連動」にした場合でも、電源スタンバイ中(電源ランプが赤色に点灯中)は、本機からアンテナ電源を供給しません。内部処理のためアンテナ電源が維持されることがありますが一時的なものです。
- 受信レベルは天候などの影響を受け、上下することがあります。
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。
- アンテナ線の心線と編組線およびそれらにつながる部分が接触すると、アンテナ電源を「テレビ連動」に設定しても自動的に「供給しない」に切り換わり、アンテナ電源を「テレビ連動」に設定できなくなります。
  電源プラグを抜いて、アンテナ線を確認してください。P.148 「BS・110度CSデジタル放送が映らない」
  一旦電源プラグを抜くと、アンテナ電源の設定を行なうことができます。

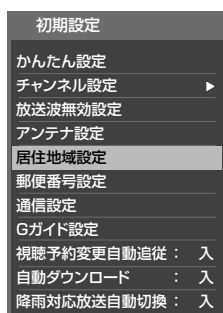
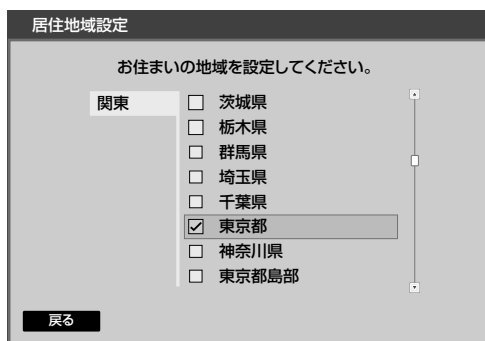
初期設定をする（つづき）

居住地域と郵便番号を設定する

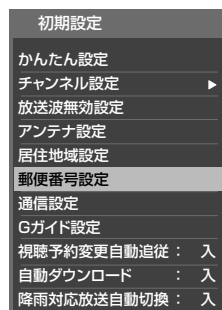
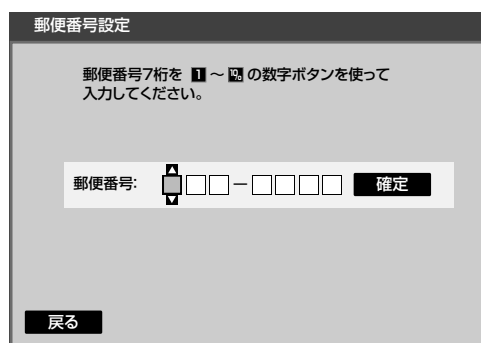
デジタル放送の文字スーパーやデータ放送による臨時放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。お住まいの地域の情報を受信するために、居住地域と郵便番号を設定してください。
郵便番号は、お買い上げ時の「かんたん設定」で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。

1 「初期設定」画面を表示する P.110

居住地域設定

2 △▽で「居住地域設定」を選び、決定を押す

3 △▽でお住まいの地域を選び、決定を押す

4 戻る●を押す

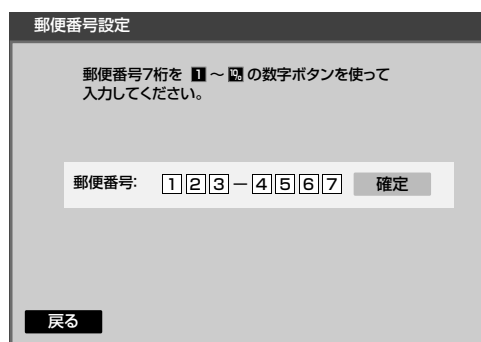
郵便番号設定

5 △▽で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

6 1～10でお住まいの地域の郵便番号を入力する

■「0」を入力するときは

10を押す

■ 間違えたときは

◁で戻って、入力し直してください

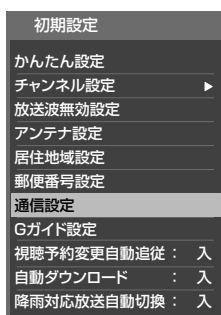
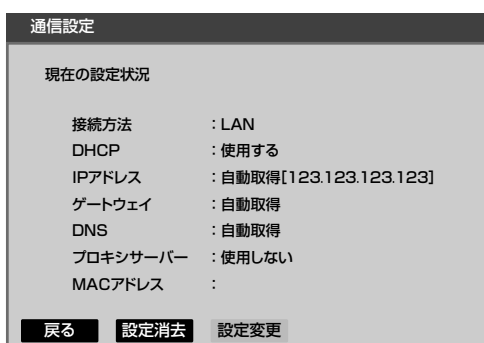
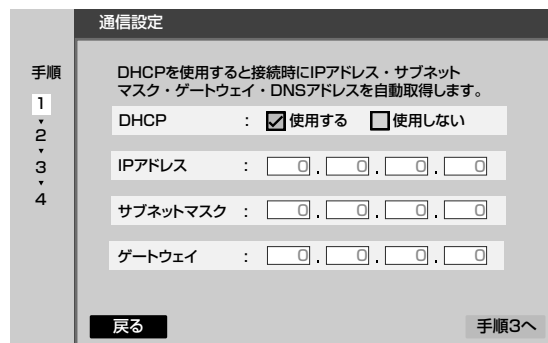
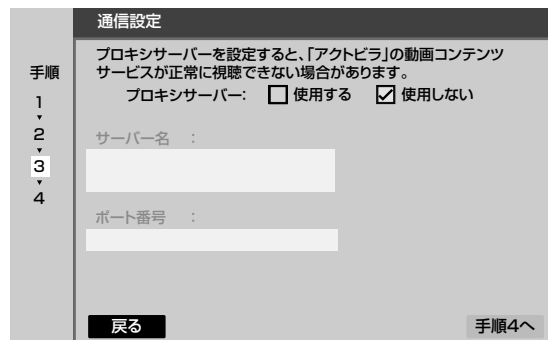
7 「確定」が選ばれていることを確認し、決定を押す

8 設定が終わったら、メニュー●を押す

LAN端子を使用するときの設定(通信設定)

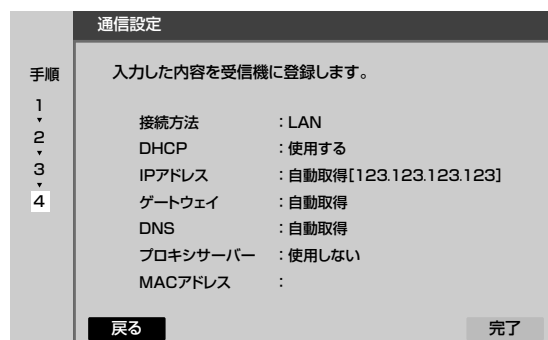
データ放送の双方向通信や「アクトビラ」などを、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。
プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

1 「初期設定」画面を表示する P.110

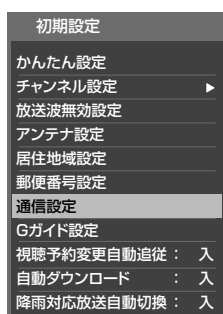
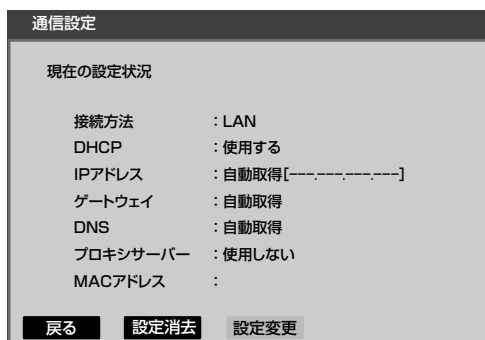
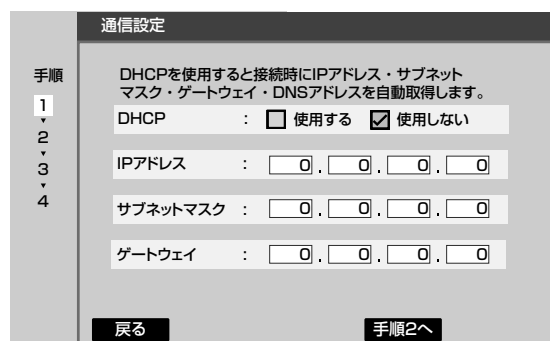
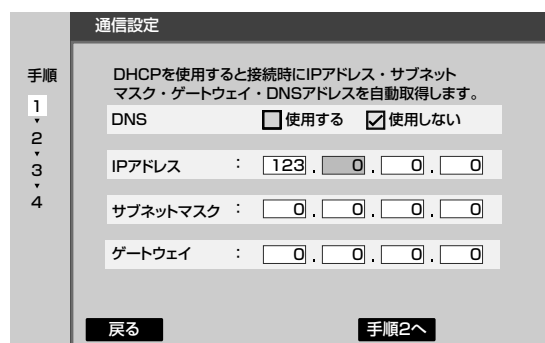
2 △▽で「通信設定」を選び、決定を押す

3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定を押す

4 「使用する」にチェックマークがあることを確認して、▽で「手順3へ」を選び、決定を押す

5 ▽で「手順4へ」を選び、決定を押す

お知らせ

- プロバイダーよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.128をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「アクトビラ」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダーに確認してください。

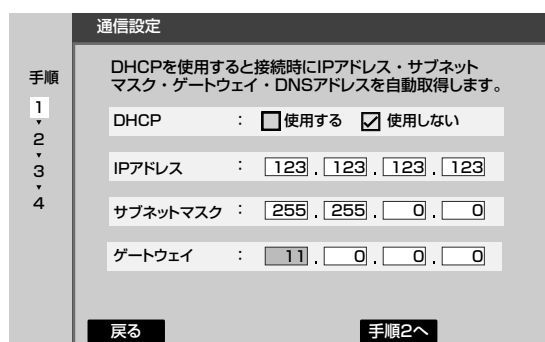
6 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す

7 メニュー●を押す

必要な情報を手動で入力する場合

1 「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「通信設定」を選び、決定を押す

3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定を押す

4 ▷で「使用しない」を選び、決定を押す

5 ▽で「IPアドレス」を選び、1～10の数字ボタンで入力する

間違えたときは

◁で戻って、入力し直してください

6 同様に「サブネットマスク」と「ゲートウェイ」にも、必要に応じて入力する

次ページへつづく

7 ▽で「手順2へ」を選び、決定を押す

8 DNS設定が必要な場合、◁で「使用する」を選び、決定を押す

通信設定

手順 1 2 3 4

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : 使用する 使用しない

DNSアドレス プライマリ : 0 . 0 . 0 . 0

DNSアドレス セカンダリ : 0 . 0 . 0 . 0

戻る　手順3へ

9 ▽で「DNSアドレス」を選び、1～10の数字ボタンで入力する

通信設定

手順 1 2 3 4

プロバイダより指定されている場合は設定してください。

DNS : 使用する 使用しない

DNSアドレス プライマリ : 123 . 0 . 0 . 0

DNSアドレス セカンダリ : 0 . 0 . 0 . 0

戻る　手順3へ

間違えたときは

◁で戻って、入力し直してください

10 ▽で「手順3へ」を選び、決定を押す

11 ▽で「手順4へ」を選び、決定を押す

お知らせ

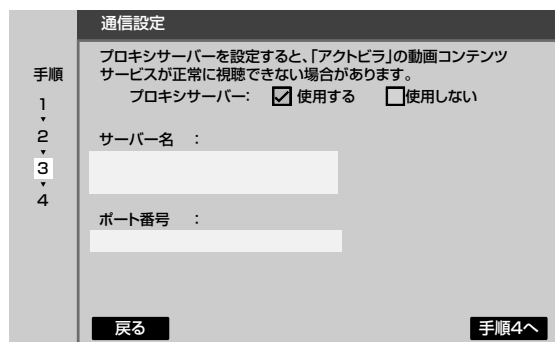
- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.128をご覧ください。
- プロキシサーバーを設定すると、「アクトビラ」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダーに確認してください。

12 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す

13 メニュー●を押す

初期設定をする（つづき）

プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

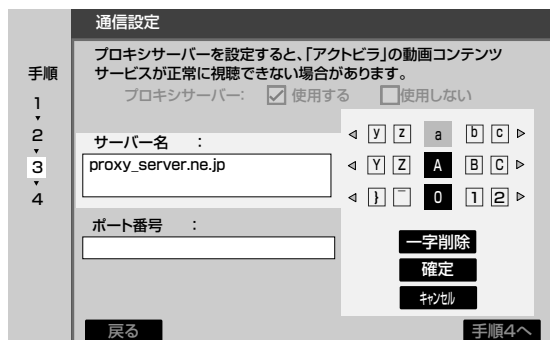
1 125ページ手順5、または127ページ手順11のとき、◁で「使用する」を選び、決定を押す

2 「サーバー名」を入力する

① ▽で「サーバー名」を選び、決定を押す

② △▽で「ローマ字（小文字）」「ローマ字（大文字）」「数字／記号」を選ぶ

③ ◁▷で文字（数字）を選び、決定を押す

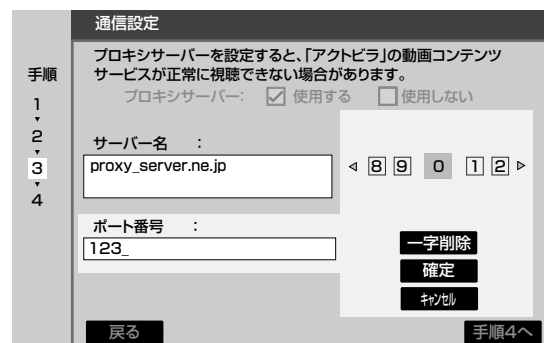
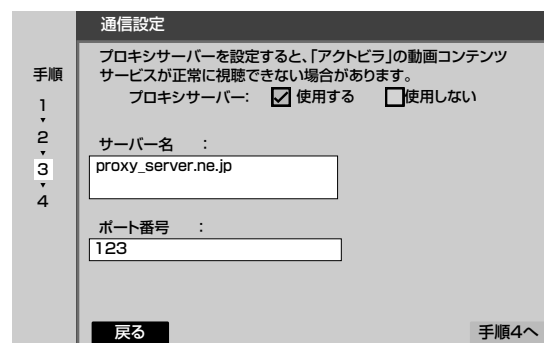
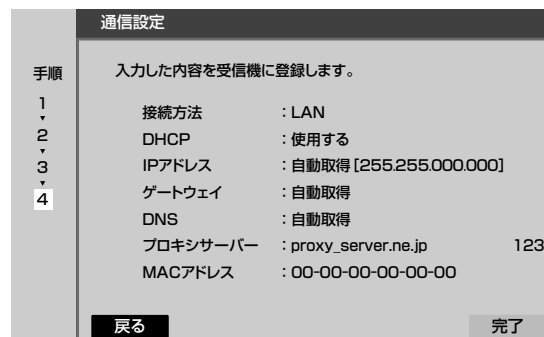
- ②〜③を繰り返して入力します。
- 数字は 1 〜 10 の数字ボタンでも入力できます。
- 間違えたときは△▽◁▷で「一字削除」または「キャンセル」を選び決定を押して、入力し直してください。

④ ▽で「確定」を選び、決定を押す

3 「ポート番号」を入力する

① ▽で「ポート番号」を選び、決定を押す

② ◁▷で数字を選び、決定を押す

- 1 〜 10 の数字ボタンでも入力できます。
- 間違えたときは△▽◁▷で「キャンセル」を選び決定を押して、入力し直してください。

③ ▽で「確定」を選び、決定を押す

4 ▽で「手順４へ」を選び、決定を押す

5 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す

6 メニュー●を押す

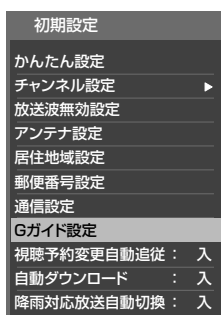
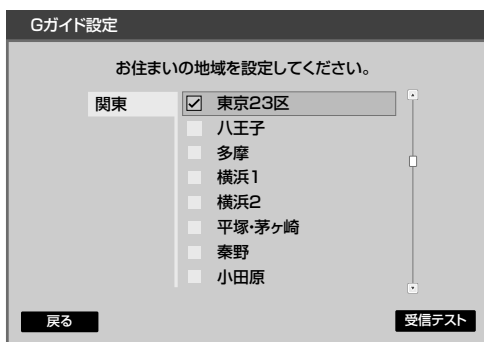
お知らせ

プロキシサーバーを設定すると、「アクトビラ」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダーに確認してください。

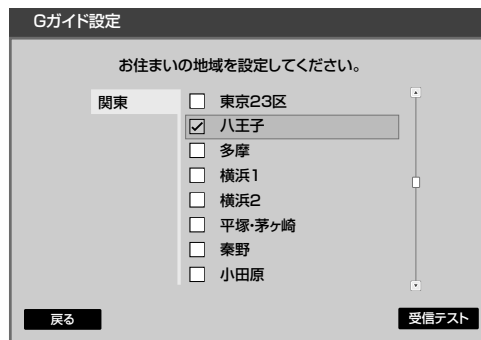
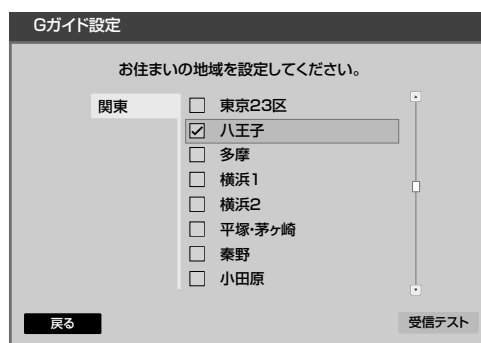
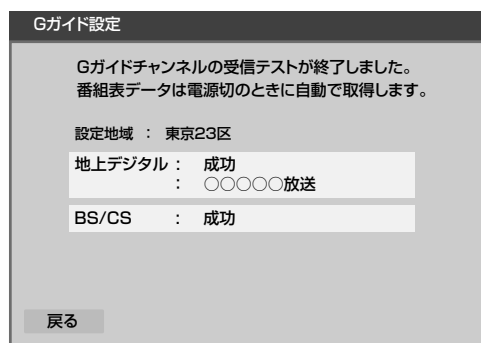
Gガイドの設定をする

番組検索やトピックスを表示するために、お住まいの地域の設定と受信テストをします。

1 「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「Gガイド設定」を選び、決定を押す

3 設定内容を確認する

- 設定内容が正しければ手順5へ進みます。

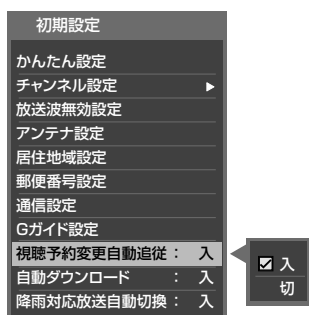
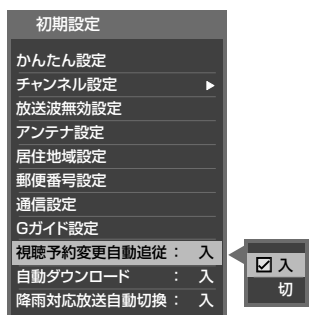
正しく設定されていない場合

4 △▽でお住まいの地域を選び、決定を押して、☑をつける

5 ◁▷で「受信テスト」を選び、決定を押す

6 受信テストが終わって下の画面が表示されたら、内容を確認する

7 メニュー●を押す

放送時刻の変更に対応する

スポーツ番組の延長などで、予約していた番組の放送開始時刻が繰り下がったときに、自動的に視聴予約の開始時刻を自動で修正するように設定できます。

1 「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「視聴予約変更自動追従」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

「入」… 予約開始時刻を自動で修正します。
「切」… 予約を取り消します。

4 メニュー●を押す

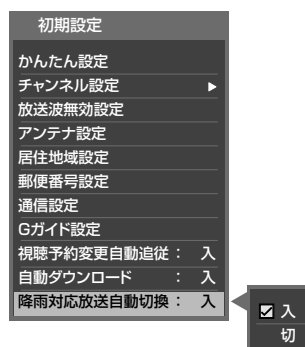
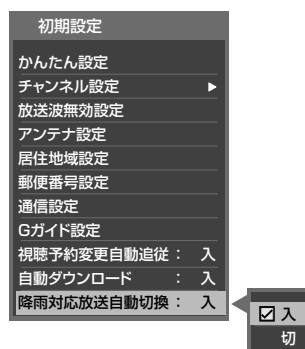
お知らせ

- 放送局が送信する放映時刻情報を受信して、3時間以内の繰り下げであれば対応します。
- 番組によっては、放映時刻情報がない場合があります。その場合は予約開始時刻を修正できません。
- 予約開始時刻が自動的に修正されることで、他の予約と重複することがあります。
- 予約していた番組そのものが放送を延長した場合は、予約設定でどちらに設定していても、放送終了まで予約が維持されます。

受信状態が悪いときに降雨対応放送に切り換える

雨などでBS・110度CSデジタル放送の受信状態が悪くなると、自動的に降雨対応放送に切り換わるように設定されています。通常は、切り換える必要はありません。

1 「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「降雨対応放送自動切換」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

「入」… 受信状態に応じて、自動的に降雨対応放送に切り換えます。
「切」… 常に通常の放送を受信します。

4 メニュー●を押す

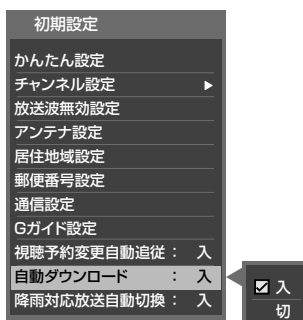
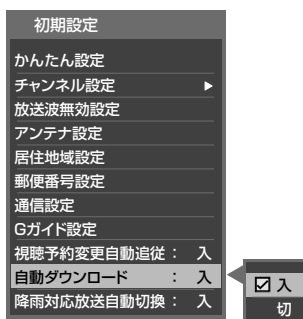
お知らせ

- 降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べて劣ります。
- 番組によっては、降雨対応放送のない場合があります。
- 「入」に設定していると、天候回復後、自動的に通常の放送に切り換わります。

ダウンロード設定をする

ダウンロードとは、電源スタンバイ中（電源ランプが赤色に点灯中）に、デジタル放送電波を使ってソフトウェアを自動的に書き換える機能です。この機能により、新しい放送環境に合わせて機能アップや機能改善を行なうことができます。
お買い上げ時は、自動でダウンロードを行なう設定になっていますので、お客さまによる操作や設定は不要です。

1 「初期設定」画面を表示する P.110

2 △▽で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

3 △▽で設定を選び、決定を押す

「入」…本機の制御プログラムを最新の内容に自動で書き換えます。
「切」…本機の制御プログラムを書き換えません。

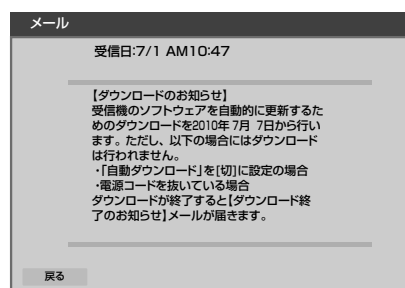
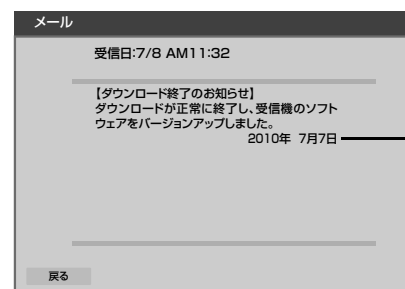
4 メニューを押す

ダウンロードについて

ダウンロードはいつ行なわれるの？
ダウンロードは、製品出荷後、適時実施してまいります。お客さまにダウンロード実施時期および期間はお知らせしておりません。本機をご使用になっていない場合にも、電源スタンバイの状態にしていただくことをおすすめします。
ケーブルテレビ（CATV）でもダウンロードは行なわれます。同じようにお使いください。

ダウンロードが行なわれるとき

- 「ダウンロードのお知らせ」メールが届きます。メールが届くと本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに「お知らせあり ✉」と表示されます。

※メールの見かたについては P.70 をご覧ください。

- ダウンロード実施期間中に、デジタル放送電波を使って、1日に数回、数分間程度のソフトウェアが送信されます。ダウンロードは本機が電源スタンバイ中に、そのソフトウェアを受信して自動的に書き換えます。
- ダウンロードが成功すると「ダウンロード終了のお知らせ」メールが届きます。

以下のような場合にはダウンロードが行なわれません

- 電源コードが抜かれている（電源ランプが消えた状態）
- アンテナの受信レベルが20以下になっている P.73
- 「自動ダウンロード」の設定が「切」になっている
- 視聴予約実行中
- 電源が「入」（電源ランプが緑点灯）のとき

■ ダウンロードによって、本機のソフトウェアが更新されたとき、この取扱説明書に記載されている画面や文言と本機が一致しなくなることがあります。

設定を初期化する

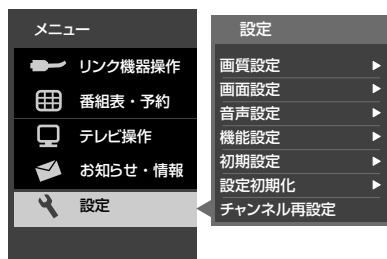
一部の設定または全ての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

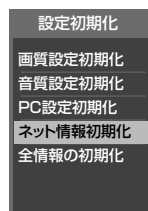
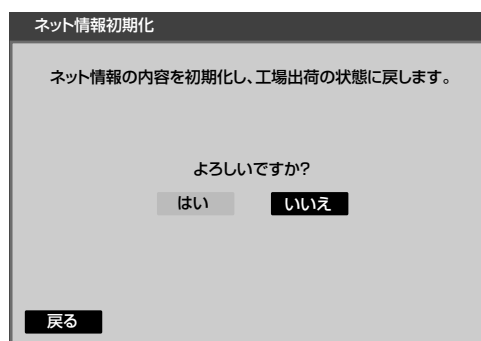
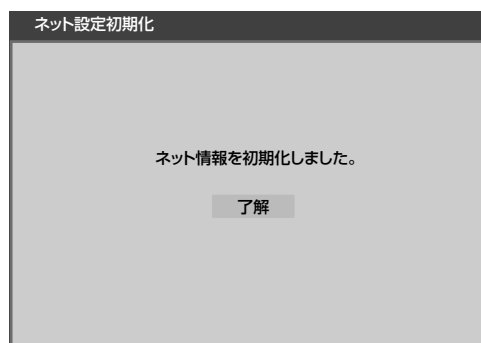
一部の設定を初期化する

画質設定、音質設定、PC設定、「アクトビラ」に関する内容を、別々にお買い上げ時の状態に戻します。

例:「アクトビラ」に関する内容を初期化するとき

1 メニュー●を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「設定初期化」を選び、決定を押す

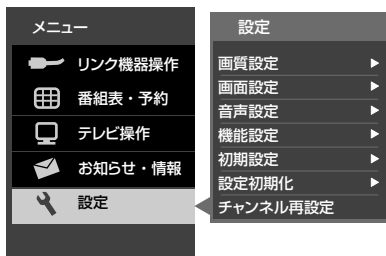
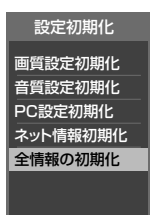
4 △▽で「ネット情報初期化」を選び、決定を押す

5 ◁▷で「はい」を選び、決定を押す

6 下の画面が表示されたら、決定を押す

7 メニュー●を押す

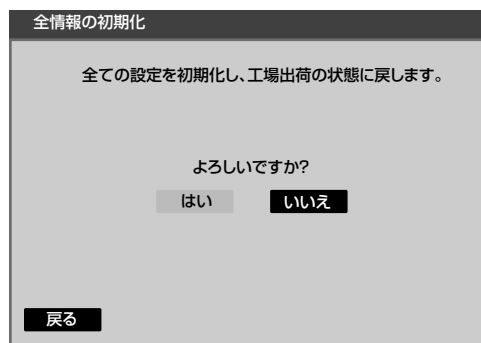
すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。
本機を譲渡するときや廃棄するとき以外には、実行しないでください。

1 メニュー●を押す

2 △▽で「設定」を選び、決定を押す

3 △▽で「設定初期化」を選び、決定を押す

4 △▽で「全情報の初期化」を選び、決定を押す

ご注意
- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

5 ◁▷で「はい」を選び、決定を押す

- 約１分で初期化が完了します。
- 完了すると「かんたん設定」画面になります。
  - 引き続き放送をご覧になるには、そのまま「かんたん設定」P.33を行なってください。
  - 本機をご使用にならない場合は、そのまま電源をお切りください。

B-CASカードについて

地上·BS·110度CSデジタル放送を視聴するためには、B-CAS(ビーキャス)カードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2004年4月から、デジタル放送には、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が付いています。
- 2008年7月から「ダビング10」 P.151 の運用が開始されましたが、運用開始後も全ての番組が「ダビング10」になるものではありません。

●限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS(キャス)）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

●（株）B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム（CAS(キャス)）を管理するため設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS(ビーキャス)カードの発行・管理をしています。

B-CAS(ビーキャス)カードに個人情報が書き込まれることはありません。

付属のB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは（2010年2月現在）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
受付時間　　10：00～20：00（年中無休）
http://www.b-cas.co.jp/

デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS・110度CS対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

- デジタル放送全般については、社団法人　デジタル放送推進協会（Dpa）　http://www.dpa.or.jp/　をご覧ください。

地上デジタル放送

- 受信可能エリアなど、地上デジタルテレビ放送の受信に関するご相談・お問合わせは、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター　0570-07-0101（IP電話：03-4334-1111）へ。
  受付時間　　月～金9：00～21：00　　土・日・祝日9：00～18：00
- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ（CATV）でも受信できます。お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

● 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行なっています。
有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター
TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　　9：00～20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

■「スター・チャンネル」総合案内窓口
TEL：0570-013-111
045-339-0399（PHS、IP電話）
受付時間　　10：00～18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

110度CSデジタル放送

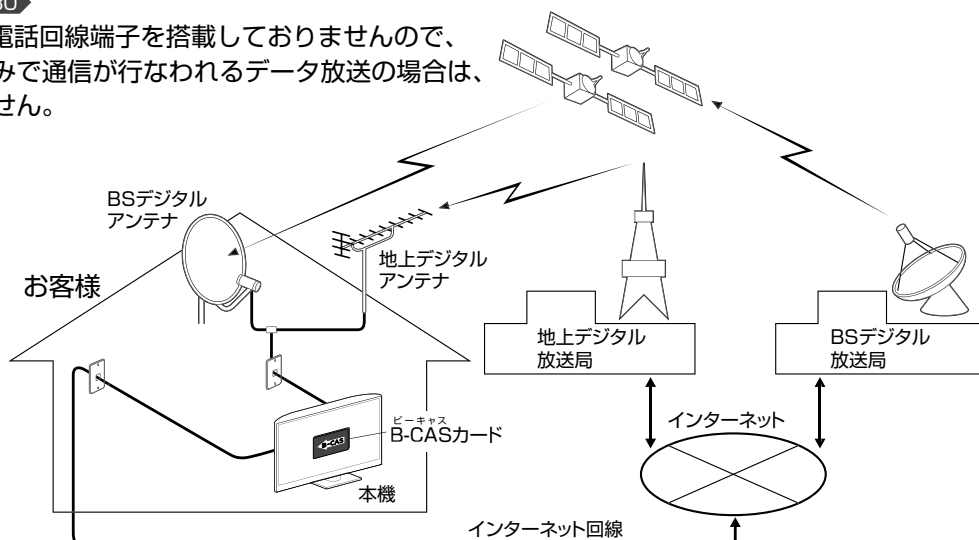
● BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
ほとんどの放送が有料です。

● 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！ e2」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の２つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

■「スカパー！ e2」カスタマーセンター
TEL：0570-08-1212
045-276-7777（PHS、IP電話）
受付時間　　10：00～20：00（年中無休）
http://www.e2sptv.jp/

●双方向サービスとは

データ放送で行なわれるサービスの１つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.30

※本機には電話回線端子を搭載しておりませんので、電話回線のみで通信が行なわれるデータ放送の場合は、対応できません。

地上デジタル放送のチャンネル一覧表

- かんたん設定 P.33、111 や地上デジタル自動 P.116 でお住まいの地域を設定すると、チャンネル 1 ～ 12 の数字ボタンに下記の地上デジタルの放送局が割り当てられます。
- 地上デジタル放送が開始される時期は、地域によって異なります。

お知らせ

- お住まいの地域によっては、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の数字ボタンに割り当てます。

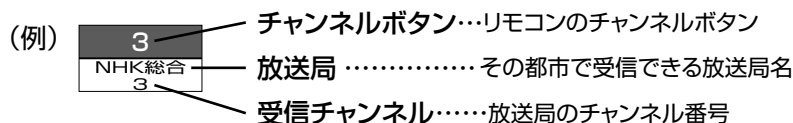
都道府県	放送局名								
北海道(札幌)	3 NHK総合・札幌	2 NHK教育・札幌	1 HBC札幌	5 STV札幌	6 HTB札幌	8 UHB札幌	7 TVH札幌		
北海道(函館)	3 NHK総合・函館	2 NHK教育・函館	1 HBC函館	5 STV函館	6 HTB函館	8 UHB函館	7 TVH函館		
北海道(旭川)	3 NHK総合・旭川	2 NHK教育・旭川	1 HBC旭川	5 STV旭川	6 HTB旭川	8 UHB旭川	7 TVH旭川		
北海道(帯広)	3 NHK総合・帯広	2 NHK教育・帯広	1 HBC帯広	5 STV帯広	6 HTB帯広	8 UHB帯広	7 TVH帯広		
北海道(釧路)	3 NHK総合・釧路	2 NHK教育・釧路	1 HBC釧路	5 STV釧路	6 HTB釧路	8 UHB釧路	7 TVH釧路		
北海道(北見)	3 NHK総合・北見	2 NHK教育・北見	1 HBC北見	5 STV北見	6 HTB北見	8 UHB北見	7 TVH北見		
北海道(室蘭)	3 NHK総合・室蘭	2 NHK教育・室蘭	1 HBC室蘭	5 STV室蘭	6 HTB室蘭	8 UHB室蘭	7 TVH室蘭		
宮城	3 NHK総合・仙台	2 NHK教育・仙台	1 TBCテレビ	8 仙台放送	4 ミヤギテレビ	5 KHB東日本放送			
秋田	1 NHK総合・秋田	2 NHK教育・秋田	4 ABS秋田放送	8 AKT秋田テレビ	5 AAB秋田朝日放送				
山形	1 NHK総合・山形	2 NHK教育・山形	4 YBC山形放送	5 YTS山形テレビ	6 テレビュー山形	8 さくらんぼテレビ			
岩手	1 NHK総合・盛岡	2 NHK教育・盛岡	6 IBCテレビ	4 テレビ岩手	8 めんこいテレビ	5 岩手朝日テレビ			
福島	1 NHK総合・福島	2 NHK教育・福島	8 福島テレビ	4 福島中央テレビ	5 KFB福島放送	6 テレビュー福島			
青森	3 NHK総合・青森	2 NHK教育・青森	1 RAB青森放送	6 ATV青森テレビ	5 青森朝日放送				
東京	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	9 東京MXテレビ	12 放送大学
神奈川	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	3 TVKテレビ	12 放送大学
群馬	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	3 群馬テレビ	12 放送大学
茨城	1 NHK総合・水戸	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	12 放送大学	
千葉	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	3 チバテレビ	12 放送大学
栃木	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	3 とちぎテレビ	12 放送大学
埼玉	1 NHK総合・東京	2 NHK教育・東京	4 日本テレビ	6 TBS	8 フジテレビジョン	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	3 テレ玉	12 放送大学
長野	1 NHK総合・長野	2 NHK教育・長野	4 テレビ信州	5 abn長野朝日放送	6 SBC信越放送	8 NBS長野放送			
新潟	1 NHK総合・新潟	2 NHK教育・新潟	6 BSN	8 NST	4 TeNYテレビ新潟	5 新潟テレビ21			
山梨	1 NHK総合・甲府	2 NHK教育・甲府	4 YBS山梨放送	6 UTY					
大阪	1 NHK総合・大阪	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	7 テレビ大阪		
京都	1 NHK総合・京都	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	5 KBS京都		
兵庫	1 NHK総合・神戸	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	3 サンテレビ		
和歌山	1 NHK総合・和歌山	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	5 テレビ和歌山		
奈良	1 NHK総合・奈良	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	9 奈良テレビ		
滋賀	1 NHK総合・大津	2 NHK教育・大阪	4 MBS毎日放送	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	10 よみうりテレビ	3 BBCびわ湖放送		
広島	1 NHK総合・広島	2 NHK教育・広島	3 RCCテレビ	4 広島テレビ	5 広島ホームテレビ	8 TSS			
岡山	1 NHK総合・岡山	2 NHK教育・岡山	4 RNC西日本テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	6 RSKテレビ	7 テレビせとうち	8 OHKテレビ		
香川	1 NHK総合・高松	2 NHK教育・高松	4 RNC西日本テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	6 RSKテレビ	7 テレビせとうち	8 OHKテレビ		
島根	3 NHK総合・松江	2 NHK教育・松江	8 山陰中央テレビ	6 BSSテレビ	1 日本海テレビ				
鳥取	3 NHK総合・鳥取	2 NHK教育・鳥取	8 山陰中央テレビ	6 BSSテレビ	1 日本海テレビ				
山口	1 NHK総合・山口	2 NHK教育・山口	4 KRY山口放送	3 TYSテレビ山口	5 YAB山口朝日				
愛知	3 NHK総合・名古屋	2 NHK教育・名古屋	1 東海テレビ	5 CBC	6 メ～テレ	4 中京テレビ	10 テレビ愛知		
三重	3 NHK総合・津	2 NHK教育・名古屋	1 東海テレビ	5 CBC	6 メ～テレ	4 中京テレビ	7 三重テレビ		
岐阜	3 NHK総合・岐阜	2 NHK教育・名古屋	1 東海テレビ	5 CBC	6 メ～テレ	4 中京テレビ	8 岐阜テレビ		
石川	1 NHK総合・金沢	2 NHK教育・金沢	4 テレビ金沢	5 北陸朝日放送	6 MRO	8 石川テレビ			
静岡	1 NHK総合・静岡	2 NHK教育・静岡	6 SBS	8 テレビ静岡	4 静岡第一テレビ	5 静岡朝日テレビ			
福井	1 NHK総合・福井	2 NHK教育・福井	7 FBCテレビ	8 福井テレビ					
富山	3 NHK総合・富山	2 NHK教育・富山	1 KNB北日本放送	8 BBT富山テレビ	6 チューリップテレビ				
愛媛	1 NHK総合・松山	2 NHK教育・松山	4 南海放送	5 愛媛朝日	6 あいテレビ	8 テレビ愛媛			
徳島	3 NHK総合・徳島	2 NHK教育・徳島	1 四国放送						
高知	1 NHK総合・高知	2 NHK教育・高知	4 高知放送	6 テレビ高知	8 さんさんテレビ				
福岡	3 NHK総合・福岡	3 NHK総合・北九州	2 NHK教育・福岡	2 NHK教育・北九州	1 KBC九州朝日放送	4 RKB毎日放送	5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送	8 TNCテレビ西日本
熊本	1 NHK総合・熊本	2 NHK教育・熊本	3 RKK熊本放送	8 TKUテレビ熊本	4 KKTくまもと県民	5 KAB熊本朝日放送			
長崎	1 NHK総合・長崎	2 NHK教育・長崎	3 NBC長崎放送	8 KTNテレビ長崎	5 NCC長崎文化放送	4 NIB長崎国際テレビ			
鹿児島	3 NHK総合・鹿児島	2 NHK教育・鹿児島	1 MBC南日本放送	8 KTS鹿児島テレビ	5 KKB鹿児島放送	4 KYT鹿児島讀賣TV			
宮崎	1 NHK総合・宮崎	2 NHK教育・宮崎	6 MRT宮崎放送	3 UMKテレビ宮崎					
大分	1 NHK総合・大分	2 NHK教育・大分	3 OBS大分放送	4 TOSテレビ大分	5 OAB大分朝日放送				
佐賀	1 NHK総合・佐賀	2 NHK教育・佐賀	3 STSサガテレビ						
沖縄	1 NHK総合・那覇	2 NHK教育・那覇	3 RBCテレビ	5 QAB琉球朝日放送	8 沖縄テレビ(OTV)				

- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

地上アナログ放送の地域コード一覧表

地上アナログ自動 P.112 で入力する「地域コード」の一覧表です。
地域コードが複数ある都市の場合はいずれかのコードで設定し、映りが悪くなる場合はもう一方のコードで設定し直してください。

（例）

チャンネルボタン…リモコンのチャンネルボタン
放送局 ……………その都市で受信できる放送局名
受信チャンネル……放送局のチャンネル番号

お知らせ

- 共同受信の場合、ケーブルテレビをご覧になっている場合、地域コードは入力せずに「－－－」のままです。
- 受信チャンネルが変更になった場合は、「地上アナログ手動」で「選局」の番号を新しいチャンネル番号に変更してください。 P.114

都道府県	都市名	地域コード	チャンネルボタン											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	北海道放送 1		NHK総合 3	テレビ北海道 17	札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	江別	133	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	函館	052	テレビ北海道 21	北海道文化 27	北海道テレビ 35	NHK総合 4		北海道放送 6				NHK教育 10		札幌テレビ 12
	小樽	124		NHK教育 2		北海道テレビ 4	北海道文化 26		札幌テレビ 7		北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川	048		NHK教育 2	北海道文化 37	テレビ北海道 33	北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	名寄	134				NHK総合 4		札幌テレビ 6	北海道テレビ 24	北海道文化 26	テレビ北海道 33	北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内	125		北海道文化 26		NHK総合 28		札幌テレビ 22		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 30
	北見	049		NHK教育 2		北海道テレビ 61	北海道文化 59		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
	網走	066	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5		北海道文化 27		北海道テレビ 35			NHK教育 12
	室蘭	135		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧	123		NHK教育 49		北海道テレビ 61	北海道文化 53		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	帯広	050	北海道文化 32		北海道テレビ 34	NHK総合 4		北海道放送 6				札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路	051		NHK教育 2	北海道テレビ 39	北海道文化 41			札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
青森	青森/弘前	002	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸	053				青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ	101				NHK総合 4	青森朝日 56	青森テレビ 58	岩手めんこい 29			青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡	003	東北放送 1			NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石	071		NHK総合 2		岩手朝日 62		岩手めんこい 60		テレビ岩手 58		岩手放送 10		NHK教育 12
	二戸1	136		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 27	テレビ岩手 37		NHK教育 12
	二戸2	137		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台/石巻1	004	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻2	072	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼	102		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6		宮城テレビ 37		NHK教育 10		東日本放送 43
秋田	秋田	005		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館	054	青森放送 1			NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲	138		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形	006		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビュー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	米沢	139		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビュー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
	鶴岡	055	山形放送 1		NHK総合 3		さくらんぼテレビ 24	NHK教育 6		テレビュー山形 22				山形テレビ 39
	酒田	140	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビュー山形 22				山形テレビ 39
福島	福島	007	東北放送 1	NHK教育 2		テレビュー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	仙台放送 12
	会津若松	056	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビュー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		仙台放送 12
	いわき	057		テレビュー福島 32		NHK総合 4		福島中央 34		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 36
	郡山	141		NHK教育 2		テレビュー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
茨城	水戸	008	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBSテレビ 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
	日立	073	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBSテレビ 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮1	009	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25	とちぎTV 31	TBSテレビ 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19		テレビ東京 17
	宇都宮2	201	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53	とちぎTV 31	TBSテレビ 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41		テレビ東京 44
	矢板	202	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36	とちぎTV 33	TBSテレビ 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59		テレビ東京 61

次ページへつづく

CATV（ケーブルテレビ）放送について

このテレビではCATV13チャンネルから63チャンネル（C13～C63）の放送を受信することができます。（受信はサービスの行なわれている地域のみ可能です。）CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブル放送の受信には、ホームターミナル（アダプター）が必要です。
くわしくはCATV会社にお問合わせください。

共同受信の場合について

マンションなどで共同受信（壁にアンテナコンセントがある）の場合、どんな放送が受信できるか、管理人または管理会社にお問合わせください。チャンネル表示と画面の内容が一致しないときは、地上アナログ手動で設定をし直すことができます。 P.114

地上アナログ放送の地域コード一覧表（つづき）

都道府県	都市名	地域コード	チャンネルボタン											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
群馬	前橋	010	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBSテレビ 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	桐生	203	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBSテレビ 55		フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
	伊勢崎	142	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBSテレビ 56	テレビ埼玉 38	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	高崎	143	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBSテレビ 56		フジテレビ 58	テレビ埼玉 38	テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	沼田/富岡	122	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53	群馬テレビ 47	TBSテレビ 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
埼玉	さいたま(浦和)	011	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8		テレビ朝日 10	群馬テレビ 48	テレビ東京 12
	熊谷1/児玉1	076	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25	テレビ埼玉 28	TBSテレビ 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19		テレビ東京 17
	熊谷2/児玉2	204	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53	テレビ埼玉 30	TBSテレビ 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
	秩父	144	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBSテレビ 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
千葉	千葉	012	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	TVKテレビ 42	フジテレビ 8	千葉テレビ 46	テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	銚子	077	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53	千葉テレビ 39	TBSテレビ 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
東京	東京	013	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	TVKテレビ 42	フジテレビ 8	千葉テレビ 46	テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
	多摩	206	NHK総合 49	MXテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51	放送大学 16	TBSテレビ 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
	八王子	205	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBSテレビ 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
神奈川	横浜	014	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBSテレビ 6	TVKテレビ 42	フジテレビ 8		テレビ朝日 10		テレビ東京 12
	横浜みなと	116	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	放送大学 16	TBSテレビ 56	TVKテレビ 48	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
	茅ヶ崎	145	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBSテレビ 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	TVKテレビ 31	テレビ東京 43
	平塚	079	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35	TVKテレビ 31	TBSテレビ 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41		テレビ東京 43
	秦野	127	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBSテレビ 53	TVKテレビ 61	フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
	小田原	126	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBSテレビ 56	TVKテレビ 46	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
新潟	新潟/長岡	015			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合 35		NHK教育 12
	上越(直江津)	080	NHK教育 1		NHK総合 3			新潟総合 33		テレビ新潟 27		新潟放送 10		新潟テレビ21 37
	高田	114				テレビ新潟 27	新潟放送 5	新潟総合 33		NHK総合 8		新潟テレビ21 37		NHK教育 12
富山	富山	016	北日本放送 1		NHK総合 3			チューリップテレビ 32				NHK教育 10		富山テレビ 34
	高岡	081	北日本放送 1		NHK総合 3							NHK教育 10	チューリップテレビ 32	富山テレビ 34
石川	金沢	017	北日本放送 1			NHK総合 4		北陸放送 6	北陸朝日 25	NHK教育 8		テレビ金沢 33		石川テレビ 37
	小松	147		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
	七尾	082					NHK教育 5			北陸朝日 59	NHK総合 9	テレビ金沢 57	北陸放送 11	石川テレビ 55
福井	福井	018			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
	敦賀	083				福井テレビ 38		NHK総合 6		福井放送 8				NHK教育 12
山梨	甲府	019	NHK総合 1		NHK教育 3	日本テレビ 4	山梨放送 5	TBSテレビ 6	テレビ山梨 37	フジテレビ 8		テレビ朝日 10		テレビ東京 12
長野	長野1	119		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
	長野2	020		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
	松本	067		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
	岡谷/諏訪	146				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
	飯田	058			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
岐阜	岐阜	021	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本 5	テレビ愛知 25	三重テレビ 33	岐阜放送 37	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	中京テレビ 35
	各務原	084	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本 5	テレビ愛知 25	中京テレビ 35	岐阜放送 37	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	NHK総合 39
	大垣	150	東海テレビ 1		NHK総合 39	三重テレビ 33	中部日本 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	中津川	109	中京テレビ 26	岐阜放送 28		NHK総合 4		名古屋テレビ 6		中部日本 8		東海テレビ 10		NHK教育 12
	高山	108	NHK教育 2	NHK総合 4	中部日本 6	東海テレビ 8	名古屋テレビ 12	中京テレビ 26	岐阜放送 38					
静岡	静岡	022		NHK教育 2		静岡第一 31		静岡朝日 33			NHK総合 9		静岡放送 11	テレビ静岡 35
	清水/焼津	149		NHK教育 2	静岡第一 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
	藤枝	106	NHK教育 44	NHK総合 42	静岡放送 40	静岡第一 24	静岡朝日 26	テレビ静岡 38						
	島田	105	NHK教育 3	NHK総合 1	静岡放送 5	静岡第一 48	静岡朝日 50	テレビ静岡 58						
	浜松	059	東海テレビ 1	静岡第一 30		NHK総合 4	中部日本 5	静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士	103	静岡第一 27	静岡朝日 29	テレビ静岡 39	静岡放送 41	NHK総合 52	NHK教育 54						
	富士宮	148		NHK教育 54	静岡第一 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	沼津	112		NHK教育 2	静岡第一 31	静岡朝日 33	テレビ静岡 35				NHK総合 9		静岡放送 11	
	三島	104	NHK教育 51	NHK総合 53	静岡放送 55	静岡朝日 57	テレビ静岡 59	静岡第一 61						
愛知	名古屋	023	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本 5	テレビ愛知 25	三重テレビ 33	岐阜放送 37	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	中京テレビ 35
	豊橋	085	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊田	113	東海テレビ 57		NHK総合 53	テレビ愛知 49	中部日本 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	
	豊川	151	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本 62		中京テレビ 58	岐阜放送 37	NHK教育 50	三重テレビ 33	名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
三重	津	024	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本 5	テレビ愛知 25	三重テレビ 33		NHK教育 9		名古屋テレビ 11	中京テレビ 35
	伊勢	086	東海テレビ 57		NHK総合 53	三重テレビ 59	中部日本 55		中京テレビ 47		NHK教育 49		名古屋テレビ 61	
	名張	107	NHK教育 50		NHK総合 52		中京テレビ 54		名古屋テレビ 56		三重テレビ 58		中部日本 60	東海テレビ 62
滋賀	大津	025		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	KBS京都 34	関西テレビ 40	びわこ放送 30	読売テレビ 42		NHK教育 46
	彦根	087		NHK総合 52	びわこ放送 56	毎日放送 54		朝日放送 58	KBS京都 34	関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 50
	湖南/甲賀	110		NHK総合 49		毎日放送 55		朝日放送 57	KBS京都 34	関西テレビ 59	びわこ放送 53	読売テレビ 61		NHK教育 51
京都	京都1	026		NHK総合 32	KBS京都 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	京都2	120		NHK総合 2	KBS京都 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6	サンテレビ 36	関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	山科	121	びわこ放送 41	NHK総合 52	KBS京都 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60		NHK教育 50
	宇治	152		NHK総合 2	KBS京都 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10		NHK教育 12
	亀岡	111		NHK総合 43	テレビ大阪 19	毎日放送 33		朝日放送 35	KBS京都 41	関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
	福知山	128		NHK総合 50		毎日放送 54		朝日放送 58	KBS京都 56	関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	舞鶴	088		NHK総合 51	KBS京都 57	毎日放送 53		朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49

- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

次ページへつづく

都道府県	都市名	地域コード	チャンネルボタン											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大阪	大阪	027		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6	KBS京都 34	関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	枚方	068		NHK総合 2	テレビ大阪 21	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6	KBS京都 34	関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸1	028		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18	テレビ大阪 19	朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24		NHK教育 26
	神戸2	027		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	サンテレビ 36	朝日放送 6	KBS京都 34	関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	神戸3	207		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31	テレビ大阪 19	朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47		NHK教育 45
	神戸灘	154		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川西	129		NHK総合 29		毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39	サンテレビ 33	読売テレビ 41		NHK教育 31
	明石/北淡	118		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	加古川	155		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
	姫路/豊岡/城崎	089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	三木	130		NHK総合 44		毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40	サンテレビ 36	読売テレビ 42		NHK教育 46
奈良	奈良	029		NHK総合 2		毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	生駒	090		NHK総合 2	奈良テレビ 26	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 22
	五條	153		NHK総合 43	テレビ大阪 19	毎日放送 33	KBS京都 34	朝日放送 35	奈良テレビ 41	関西テレビ 37	サンテレビ 36	読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山	208		NHK総合 32		毎日放送 42	テレビ和歌山 30	朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 25
	海南/田辺	091		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	031	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK教育 4						山陰放送 22		山陰中央 24
	米子	092	日本海テレビ 30	山陰中央 34			NHK総合(鳥取) 32	NHK総合(島根) 6				山陰放送 10		NHK教育 12
島根	松江	032	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜田	061		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山	033	テレビせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津山	093		NHK総合 2	テレビせとうち 56	西日本放送 58	岡山放送 60	瀬戸内海放送 62	山陽放送 7					NHK教育 12
	笠岡	156		NHK総合 2		NHK教育 4	テレビせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	
広島	広島	034	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームテレビ 35			広島テレビ 12
	呉	131	NHK教育 1		広島ホームテレビ 24		広島テレビ 5		テレビ新広島 26		中国放送 9		NHK総合 11	
	尾道	157	NHK総合 1			広島ホームテレビ 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	福山1	060	NHK総合 1		テレビ新広島 26		広島ホームテレビ 24		NHK教育 7			中国放送 10		広島テレビ 12
	福山2	115	テレビ新広島 54	広島ホームテレビ 57	NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7				広島テレビ 11	
山口	山口	035	NHK教育 1	九州朝日 2			山口朝日 28		テレビ山口 38	RKB毎日 8	NHK総合 9	テレビ西日本 10	山口放送 11	
	徳山/防府	158	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	岩国	160	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
	宇部	159	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	下関	094	山口朝日 21	九州朝日 2	テレビ山口 33	山口放送 4	福岡放送 35	NHK総合(福岡) 6	TVQ九州 23	RKB毎日 8	NHK総合(山口) 39	テレビ西日本 10	NHK教育(山口) 41	NHK教育(福岡) 12
徳島	徳島	036	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	037	テレビせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37		瀬戸内海放送 33		西日本放送 41		山陽放送 29	岡山放送 31
	丸亀	095	テレビせとうち 16	山陽放送 18	西日本放送 20	岡山放送 22	NHK教育 40	瀬戸内海放送 42	NHK総合 44					
愛媛	松山	038		NHK教育 2				NHK総合 6		あいテレビ 29	愛媛朝日 25	南海放送 10		愛媛放送 37
	今治	132		NHK教育 30				NHK総合 32		あいテレビ 27	愛媛朝日 17	南海放送 34		愛媛放送 36
	新居浜	062		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6	愛媛朝日 14	あいテレビ 27				愛媛放送 36
	宇和島	161	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知	039				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさん 40
	中村	096	NHK総合 1	テレビ高知 32	高知放送 3	高知さんさん 14							NHK教育 11	
福岡	福岡	040	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4	TVQ九州 19	NHK教育 6			テレビ西日本 9			福岡放送 37
	北九州	063		九州朝日 2		福岡放送 35	TVQ九州 23	NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	久留米	100	NHK総合 46	RKB毎日 48	福岡放送 52	NHK教育 54	九州朝日 57	テレビ西日本 60	TVQ九州 14					
	大牟田	069	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61	TVQ九州 19	NHK教育 50			テレビ西日本 55			福岡放送 43
	行橋	162		九州朝日 57	TVQ九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀	041	TVQ九州 14	サガテレビ 36	NHK総合 38	NHK教育 40	RKB毎日 48	福岡放送 52	九州朝日 57	テレビ西日本 60	NHK総合(熊本) 9		熊本放送 11	
	伊万里	097	NHK教育 44		福岡放送 52	サガテレビ 41	TVQ九州 14	九州朝日 57		RKB毎日 48	NHK総合 51	テレビ西日本 60	熊本放送 11	
長崎	長崎	042	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	諫早	163	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
	佐世保	070		NHK教育 2					テレビ長崎 35	NHK総合 8	長崎文化 31	長崎放送 10	長崎国際 17	
熊本	熊本	043		NHK教育 2	熊本朝日 16	熊本県民 22		テレビ熊本 34			NHK総合 9		熊本放送 11	
	八代	164		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
	水俣	098	NHK教育 1		熊本朝日 32	NHK総合 4		熊本放送 6		熊本県民 36		テレビ熊本 38		
大分	大分/別府	044			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津	099			NHK総合 48		大分放送 51	大分朝日 17	テレビ大分 37					NHK教育 45
宮崎	宮崎	045			テレビ宮崎 35					NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	064		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
	都城	165						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
鹿児島	鹿児島	046	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根	065		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	166		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇	047		NHK総合 2						沖縄テレビ 8	琉球朝日 28	琉球放送 10		NHK教育 12

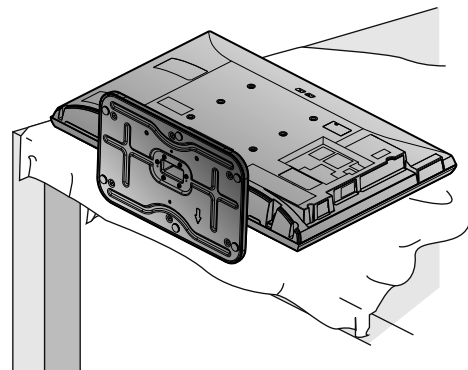
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

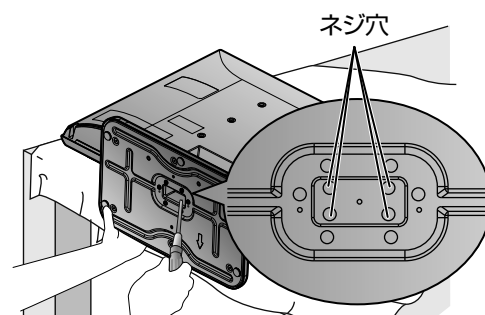
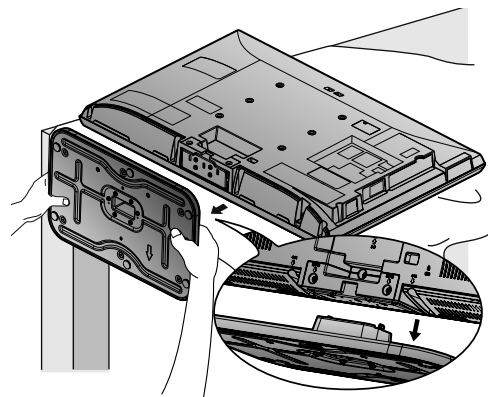
スタンドの取りはずしかた

お願い！

- 必ず２人以上で作業してください。
- 作業を始める前に、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類をはずしてください。
- 指示されたネジ以外をはずさないでください。

1 本体を裏返して、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置いてください。
そのとき、画面を傷つけないように注意してください。

- テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- テーブルは必ず本体の重さに耐えることができて、本体より大きいものを使用してください。

2 ネジ穴に取り付けたスタンド取付ネジ（付属品）を取りはずします。

- スタンド取付ネジをドライバーでゆるめる際は、ネジにあったドライバーをご使用ください。

3 フックをはずしながら、本体からスタンドをゆっくりと取りはずしてください。

お願い！

- 取りはずしたスタンドやネジなどは大切に保存してください。
- スタンドを再度取り付ける場合は、必ず元のネジ４個で取り付けてください。
- スタンドを取りはずすときに、液晶テレビを落としたりバランスを崩したりしないよう気を付けてください。

仕様

仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

項目		仕様
形名		LVW-264K
種類		液晶カラーテレビ
電源		AC100 V 50 ／ 60 Hz
消費電力		起動時：76 W
		待機時：0.1 W
年間消費電力量※1		63 kWh ／年［標準※2時］ 区分名※3：DK 受信機型サイズ：26V
音声	実用最大出力 JEITA	10 W＋10 W（同時出力）
	スピーカー	（12.3 cm×4.5 cm）×2
アンテナ入力		VHF ／ UHF 1軸 75 Ω不平衡形
BS・110度CSアンテナ入力		75 Ω不平衡形（C15形）兼コンバーター用電源（DC 15 V）出力
受信チャンネル		VHF：1〜12ch UHF：13〜62ch CATV：C13〜C63ch BSデジタル：000〜999ch 110度CSデジタル：000〜999ch 地上デジタル：000〜999ch
液晶モジュール	液晶パネル	26V型カラー TFT液晶
	表示画素数	1366 ドット×768 ライン
	駆動方式	TFT
	視野角	水平、垂直：178°
	輝度	400cd/㎡
	コントラスト比	3500:1
	応答速度	8ms
	アスペクト比	16:9
有効表示領域		幅57.6×高さ32.4 ／対角66.1 cm
表示色		1677万色
ヘッドホン		φ3.5ステレオミニジャック
ビデオ入力端子		（映像）1.0 V（p-p） 75 Ω（同期負極性） （音声）150 mV（rms） ハイインピーダンス
音声出力端子		150 mV（rms） ローインピーダンス（400 Hz 30 %変調）
S(S2)映像端子		輝度信号 1.0 V（p-p）（同期負極性）75 Ω不平衡 クロマ信号 0.286 V（p-p）（バースト信号）75 Ω不平衡
D4映像端子		対応水平周波数 15.75 kHz, 31.5 kHz, 33.75 kHz, 45 kHz Y 1.0 V（p-p） 75 Ω（同期負極性） CB/PB, CR/PR ±350 mV 75 Ω
HDMI入力端子		3系統 3端子
PC入力端子		（映像）ミニD-SUB15ピン （音声）φ3.5ステレオミニジャック
LAN端子		10BASE-T/100BASE-TX
SDメモリーカード挿入口		SDカードスロット対応
デジタル音声（光）出力端子		1系統 1端子
外形寸法	スタンドあり	幅65.6×高さ50.2×奥行29.2 cm
	スタンドなし	幅65.6×高さ45.0×奥行10.5 cm
質量	スタンドあり	10.2 kg
	スタンドなし	7.8 kg
キャビネット材質		前：PC＋ABS樹脂 後：PS樹脂
使用周囲温度		0 ℃〜40 ℃

項目		仕様
リモコン	形名	NH202JD
	電源	DC 3 V 単4形乾電池2個
	質量	約98 g（乾電池含む）
	操作範囲	左右各約30° 以内、上約15° 下約30° 以内

- テレビのV型（26V型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2 適合品：「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

※1：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※2：一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。このモデルでは、映像モード＝スタンダードをおすすめしています。
※3：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

保証とアフターサービス

1）保証書（梱包箱に貼り付けしてあります。）

保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、本取扱説明書と共に大切に保管してください。

2）保証期間はお買い上げの日から１年間です。

業務用や特殊使用の場合、保証期間内でも**「有償修理」**となります。

3）アフターサービスのご依頼について

- 保証期間中、万一製品が故障してしまった場合
  この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をよくお読みになり、点検を繰り返しても正常に作動しないときは、**販売店**にお問い合わせいただくか、最寄りの**船井サービス（株）カスタマーセンター**または**船井サービス（株）修理受付センター**にご相談ください。
- 保証期間を過ぎて製品が故障してしまった場合
  販売店にお問い合わせいただくか、最寄りの**船井サービス（株）カスタマーセンター**または**船井サービス（株）修理受付センター**にご相談ください。

修理をご依頼される際にご連絡いただきたい内容：

・ご住所　**・ご氏名**　**・電話番号**

故障または異常の内容

・製品名　**・製造番号**　**・ご購入日**

4）アフターサービスについてご不明な点は…

販売店、または最寄りの**船井サービス（株）カスタマーセンター**までお問い合わせください。

5）補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低８年間保有してあります。

廃棄時にご注意願います。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入ください。
（この製品の製造番号は背面および保証書に記載してあります。）

お買い上げ年／月／日	**年　月　日**
お買い上げ店名／住所／電話番号	☎
お買い上げ製品の型番	**LVW-264K**
お買い上げ製品の製造番号	
ID番号＊	カードID（B-CASカード番号）：

＊ 72ページに記載の「B-CASカード情報」画面で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。

愛情点検

●長年ご使用の製品の点検を！

（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

困ったときは

接続や操作方法がわからないときは、

まず、
「故障かな？と思ったら」と「メッセージ表示一覧」でお調べください。 P.143～149

それでも解決しない場合は使用を中止し、
必ず電源プラグを抜いてから

お買上げの販売店へご相談ください。

転居などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は、

「船井電機お客様ご相談窓口」へ

0120-952-932（無料）

1 お買い物・取扱いのご相談窓口
2 修理ご相談窓口（技術相談窓口）
3 付属品（リモコンなど）・補修部品のご注文窓口

音声ガイダンスに従って、お問い合わせの内容を電話のプッシュボタン（PB）信号で選択してください。担当するご相談窓口へおつなぎします。
※IP 電話などで上記番号をご利用になれない場合は、各相談窓口まで直接お問い合わせください。（通話料：有料） 裏表紙

（2010 年 4 月現在）

■ 電　源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	● 電源プラグが抜けていませんか。 ● 電源ランプ（赤色）が点滅している場合は、電源プラグを抜いて、ランプが消えるのを待って、電源プラグを差し直してください。 →それでも電源が入らずランプが点滅する場合は、次項を参照ください。	32
電源が入らない。 電源ランプが赤点滅する、または点灯しない。	● 安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	

故障かな？と思ったら（つづき）

電　源（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。	19 16
急に電源が切れた。	●無操作パワーオフ、無信号パワーオフが「入」になっていませんか。 ●おやすみタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、おやすみタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 ● オンタイマーや視聴予約で電源が「入」になったときは、一定時間後に電源が「切」になります。	103 44
テレビの電源を入れるとHDMIケーブルでつないだレコーダーの電源が入る。	●「リンク制御」が「入」、「テレビ電源入連動」が「入」になっていませんか。 →HDMI CEC機能をより有効にお使いいただくには「テレビ電源入連動」を「入」にしておくことをおすすめします。 HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。	107
リモコンで電源を切ったあと、しばらくして「カチッ」と音がした。	●電源を切ったあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に「カチッ」と音がします。 故障ではありません。 電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。	
電源を切っているときに「カチッ」と音がした。	●デジタル放送のデータ取得のための動作に入るとき、抜けるときの音です。 故障ではありません。	

リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12 ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル△▽や番組表でチャンネル切換をしてください。	19 16
チャンネル △▽ で、特定のチャンネルだけ選べない。	●スキップされていませんか。 →選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 13～62、C13～C63チャンネルはお買い上げ時にスキップされています。	114、115 120

■ テレビを見ているとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
映像も音も出ない。	●アンテナ線がはずれていませんか。 ●入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。 ●外部機器の接続コードがはずれていませんか。	21〜24 42 25〜29
映像は出るが、音が出ない。	●消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。 ●ビデオなどの入力端子がはずれていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。	16 25〜29 13
ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。	●ビデオ入力端子の接続コードがはずれていないか調べてください。	25
ステレオ放送がモノラルになる。	●「モノラルオン」になっていませんか。	43
音がつまったような感じがする。	●「ぴったり音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じることがあります。	101
音の大きさが変化する。 人の声が変化する。	●「ぴったり音量」が「ナイトモード」、「標準」になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。	101
音声出力端子から音が出ない。	●リモコンで「消音」にすると音声出力端子からの出力も消音されます。	16
音声に異音が入ったり 映像にノイズが出る。	●テレビや接続機器の近くで携帯電話や無線機などを使用していませんか。 →携帯電話などを離して使用してください。	
映りが悪い。	●アンテナ接続コネクターへのつなぎかたを確認してください。 ●アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ●アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。 ●アンテナは正しい方向に向いていますか。 ●ビデオを接続しているときに、ビデオのテレビ/ビデオ切換がビデオになっていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。 ●チャンネルの設定をやり直してください。	21〜24 88 112〜115
映像にしまが出る。 色のしまが出る。 色が消える。 縦線状の妨害が見える。	●アンテナやアンテナ端子への妨害電波が考えられます。 →アンテナ線をなるべくテレビ本体から遠ざけてみてください。 →アンテナの位置、高さ、方向を調節して改善できる場合があります。 ●ビデオ映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。 どうしても避けられない場合はお買上げの販売店へご相談ください。	21〜24
色がつかない。 色がおかしい。	●色の濃さの調節をしてください。 ●色あいの調節をしてください。 ●チャンネルの設定をやり直してください。 ●S端子、D端子の場合、接続不良がないか確認してください。	88 88 112〜115 25
PC入力が表示されない。	●本機に対応した信号が入力されていますか。 ●パソコンの出力信号が、「アナログRGB対応信号表」と合っているか確認してください。	 29

故障かな？と思ったら（つづき）

■ テレビを見ているとき（つづき）

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
時々はんてんが出る。	●自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。 →アンテナを原因となるものから離してください。	
二重三重に映る。	●ビルなどで反射した電波が入っています。 →アンテナの位置、高さ、方向などを調節してください。	
画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。	●画面モードが「ノーマル」になっていませんか。 → 画面モード を押して、映像に合った画面モードを選んでください。	48、49
「ダイナミック」を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。	●ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。	48、49
字幕が切れる。	●画面モードによっては切れる場合があります。 →メニュー機能で画面の上下の位置（垂直位置）を調整してください。	93
画面が暗い。 夜になると画面が暗くなる。	●明るさセンサーが設定されていませんか。 ●映像モードが変更されていませんか。 ●コントラストの調節を確認してください。	91 87 88
リモコンのチャンネルボタンの番号と画面の表示がちがう。	●地上アナログ放送の場合、「地上アナログ手動」で表示を合わせることができます。	114、115
外部入力の画面が選べない。	●ビデオ1、側面端子、D端子1の場合、接続線がはずれていませんか。 ●HDMI1～3、PCの場合、「入力スキップ設定」が「する」に設定されていませんか。	25 108
テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。	●本体上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。（本体の通風孔をふさがないように、お使いください。）	
本体ボタンで操作できない。	●「本体操作部ロック」が「入」になっていませんか。	107
テレビから時々「ピシッ」と音がする。	●室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。	

デジタル放送のとき(共通)

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
デジタル放送が映らない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。	20
リモコンで操作できない。	●デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1～12ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル△▽や番組表でチャンネル切り換えをしてください。	
字幕や文字スーパーが出ない。	●「字幕」が「切」に設定されていませんか。 →「第一言語」または「第二言語」に設定してください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 →字幕や文字スーパーのある番組では、選局後、画面表示内に「字幕あり」が表示されます。	46
番組表に表示されないチャンネルがある。	●代表チャンネル表示や飛び越し(スキップ)設定になっていませんか。	120

地上デジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
地上デジタル放送が映らない。 映像が乱れる。	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。 →地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されているため、受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。 ●UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 →地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 ●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 →従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。	37 37 37
映像や音が出ない、または時々出なくなる。 映像が静止する、または時々静止する。	●UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。 →受信レベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなることがあります。	73
番組表が表示されない。 番組表に表示されない番組がある。	●地上デジタル放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。「番組情報取得」をすると、番組情報を取り直します。 ●電源を「入」にして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかります。	55
地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。	●地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。 放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。	

故障かな？と思ったら（つづき）

■ BS•110度CSデジタル放送のとき

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
BS･110度CSデジタル放送が映らない。映像が乱れる。	●「アンテナ設定」のアンテナ電源で「テレビ連動」を選んでいますか。 ●BS･110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。 ●BS･110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 ●分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。 ●アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されていますか。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルが「26」以上になっているか、ご確認ください。	122 73
BS･110度CSデジタル放送の映りが悪い。	●アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 ●アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。 →「アンテナ受信レベル」で受信レベルが「26」以上になっているか、ご確認ください。	73
データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。	●データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの1～12ボタンを押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。	
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる。	●本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。 →BS･110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS･110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。	
有料放送の視聴ができない。	●B-CASカードは、正しく挿入されていますか。 B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。 ●有料放送を視聴するための手続きをされていますか。 →視聴契約の手続きをしてください。	20 135
BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。	●110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。 ●ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。 ●契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 ●110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。	
急に画像や音質が少し悪くなった。	●降雨対応放送になっていませんか。 →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。	130

BS･110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

●BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着すると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。

■ アクトビラ

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
アクトビラが利用できない	●「アクトビラ」を利用するためには、ブロードバンド環境との接続が必要です。また、「アクトビラ ビデオ･フル」を利用する場合は、光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。 ●ネットワークの接続と設定は正しいですか。 ●「通信設定」画面の「DNS」が「使用する」に設定されていない場合は、「アクトビラ」が利用できないことがあります。 ●利用環境や接続回線の混雑状況などによって、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	30、31 125～128 127

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。
代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

コード番号	メッセージ	メッセージの意味	参照ページ
E209	アンテナ電源を確認してください。 くわしくは取扱説明書をご覧ください。	● アンテナ電源の異常です。アンテナ線の心線と編組線が接触していないか、アンテナ設定でアンテナ電源の設定が間違っていないかを確認してください。	21～24、73、121
–	B-CASカードを正しく挿入してください。	● B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく挿入してください。B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。	20
E204	このチャンネルでの放送はありません。	● チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。	38
–	地上デジタル放送を受信するためにはチャンネルスキャンを行なう必要があります。「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」より「地上デジタル自動」を行なってください。	● 地上デジタル放送を受信するために、「地上デジタル自動」で、「初期スキャン」を行なってください。	116、117
E202	放送を受信できません。 放送局(送信所)が変更されている可能性があります。 「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」より「地上デジタル自動」を行なうことをおすすめします。	● 地上デジタル放送の「地上デジタル自動」で、「再スキャン」を行なってください。	116、117
E202	放送を受信できません。 悪天候やアンテナ設置に問題がある場合もあります。	● 受信レベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	73、116、117
E201	悪天候などにより、降雨対応放送に切り換わりました。	● 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。	130、151
A103	この番組を視聴するには契約が必要です。契約に関する詳細はご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	● 未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像・音声の信号を選んでいます。	135
–	このデータ放送は視聴条件により視聴できません。	● データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。	
A1FF A102 A104 A105 A106 A107	このB-CASカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	● 使用できないカードが挿入されています。B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。	20
–	B-CASカードに正しくアクセスできません。B-CASカードを挿し直しても直らない場合はご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	● カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。B-CASカードの抜き差しは必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。	20、134
–	この番組はコピー制限により正常に録音できません。	● コピープロテクトの番組を選んでいます。	
E200	放送チャンネルではないため選局できません。	● 選局したチャンネルが非放送番組です。	
E203	このチャンネルは現在休止中です。	● 選局したチャンネルが放送休止中です。	
E210	この受信機では、このチャンネルは選局できません。	● 本機では選局できないチャンネルです。	
E400	データが受信できません。	● データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。	
E401	この受信機では、このデータを表示できません。	● 本機では対応していないデータです。	
E402	データの表示に失敗しました。	● データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。	

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽くふきとってください。
- 油などふきとりにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、ふきとったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
- 水滴などがかかった場合はすぐにふきとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 表面にホコリがついたときは、市販の柔らかいブラシなどで落としてください。

※ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。

※表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。
ベンジンやシンナーなどでふくと変質する原因になります。
【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽くふきとってください。
  特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネふきなどの柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞りふいてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
  電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- １年に一度くらいを目安にしてください。
  内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。
  とくに梅雨期の前に行なうのが効果的です。

アイコン一覧

デジタル放送では、アイコン(機能表示のシンボルマーク)によって画面表示の情報をお知らせします。
放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組表・番組内容

アイコン	アイコンの意味
HD	デジタルハイビジョン放送
SD	標準テレビ放送
d	データ放送 (テレビ・BSラジオに連動)
((●))	サラウンド放送
字	字幕あり放送
	マルチビュー放送
	視聴年齢制限番組
二	二重音声放送
	視聴予約済み番組

番組表のジャンルアイコン

アイコン	アイコンの意味
	ドラマ番組
	映画番組
	音楽番組
	スポーツ番組

テレビ視聴中

アイコン	アイコンの意味
d	データ取得中

用語の説明

アクトビラ

本機をブロードバンド環境に接続して、役立つ情報や映画などの映像をテレビで見ることができます。
本機は「アクトビラ ベーシック」「アクトビラ ビデオ」「アクトビラ ビデオ・フル」のコンテンツをお楽しみいただけます。

降雨対応放送

衛星放送では、雨の影響で電波が弱くなったとき急激に画質が劣化することがあります。
BSデジタル放送では、最低限必要な情報は電波が弱くなっても受信できるようなデータを送ることができます。
降雨対応放送が行なわれている場合、電波が弱くなると引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。
降雨対応放送では少し画質、音質が悪くなり、番組情報などのデータも表示されない場合もあります。

サラウンド

デジタル放送では、AAC方式の最大5.1チャンネルサラウンド音声の番組も行なわれ、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
[5.1チャンネル:5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル]

多チャンネル放送

デジタル放送では、デジタル圧縮技術の向上により、アナログ放送に比べてより多くのチャンネルで放送が可能です。
CSデジタル放送では200チャンネルを超える多チャンネル放送が行なわれています。

「ダビング10」(コピー9回+ムーブ1回)番組

2008年7月から運用が開始された、著作権保護・違法コピー防止のため、10回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組。ハードディスクに録画されたデジタル放送番組のみ動作可能であり、「ダビング10」番組をダビングすると、9回目までは「コピー」、10回目は「ムーブ(移動)」になります。デジタル放送の全ての番組が「ダビング10」になるというものではありません。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様の住んでいる所の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。
その他に、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

用語の説明（つづき）

デジタルハイビジョン

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には、デジタルハイビジョン放送があり、従来のアナログハイビジョンと同等の画質で放送されます。ハイビジョンの有効走査線数は現行テレビ放送の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

デジタル放送

デジタル放送の特長

- 高画質・高音質
- 1つの放送電波に複数のチャンネルを送ることができる
- 映像や音声だけでなく、文字や図形なども送ることができる

デジタル放送の方式

このテレビは、次のデジタル放送の方式に対応しています。

映像フォーマット	有効走査線数	総走査線数	走査方式
480i(525i)	480本	525本	インターレース（飛び越し走査）
480p(525p)	480本	525本	プログレッシブ（順次走査）
1080i(1125i)	1080本	1125本	インターレース（飛び越し走査）
720p(750p)	720本	750本	プログレッシブ（順次走査）

地上アナログ放送をはじめとする現行のアナログ放送は、NTSC方式と呼ばれ、有効走査線数480本の飛び越し走査方式(480i)です。

電子番組ガイド（EPG : Electronic Program Guide）

番組表のことをいいます。8日分の番組情報が送られてくるので、番組表から番組を選んだり、番組の詳細情報を見ることができます。本機では、Gガイドを利用して番組表を表示しています。

マルチビュー放送

マルチビュー放送では、1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送を行なう、などが考えられます。

ADSLモデム

本機やパソコンなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換機です。公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換したり、その逆を行ないます。

CATVパススルー対応

ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、UHF以外の周波数帯域に変換して伝送する方式があります。これを周波数変換パススルー方式と呼びます。この方式での地上デジタル放送を受信するためには【CATVパススルー対応】の受信機が必要です。

D端子

映像信号を輝度、青系統、赤系統の3つの信号に分けて接続するコンポーネント接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と走査方式などの制御信号を1本のケーブルで接続できます。

D4映像

コンポーネント映像の480i(525i)、480p(525p)、1080i(1125i)、720p(750p)に対応し、制御信号により信号フォーマット、画面モードを識別できます。
このテレビにはD4映像端子が搭載されており、次の映像フォーマットに対応しています。

- 480i(525i)
  有効走査線数480本（総走査線数525本）の飛び越し走査
- 480p(525p)
  有効走査線数480本（総走査線数525本）の順次走査
- 1080i(1125i)
  有効走査線数1080本（総走査線数1125本）の飛び越し走査
- 720p(750p)
  有効走査線数720本（総走査線数750本）の順次走査

画面モード制御信号があるときは、自動的に画面モードが切り換わります。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、DVDプレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェースです。
映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

HDMI CEC

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

MPEG-2 AAC

MPEGは、Moving Picture Experts Group の略称です。
MPEG-2は、通信・放送・コンピュータ業界で汎用的に使えることをめざして1994年11月に制定され、動画のコマ間の情報差だけを記録する方式で大幅なデータ圧縮を実現しています。
AACは、Advanced Audio Coding の略称で、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD並の音質データを約1／12にまで圧縮できます。また、5ch＋低域強調チャンネル（ウーハー）のサラウンド音声や多言語放送を行なうこともできます。

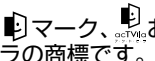
PCM

Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われているデジタル信号です。

S1映像

S映像（Y/C分離映像）の信号に16：9の映像を自動判別する信号を重ね合わせた信号をS1映像信号といいます。S1映像対応（S1映像端子がある）ビデオを接続して16：9の映像を見るときは、自動的に横長の映像（「フル」）になります。

S2映像

S1映像信号に4：3の映像で上下に黒帯がある劇場サイズの映像を自動判別する信号を重ね合わせた信号をS2映像といいます。劇場サイズの番組やビデオソフトなどを見るときは、自動的に画面いっぱいの映像（「シネマ」）になります。

著作権等について

■商標・登録商標について

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。
© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS NetFront

- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は（株）アクトビラの商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- SVGA、XGA、SXGAは米国IBM社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Playerを搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のAdvanced Wnn を使用しています。
- Advanced Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1999-2009 All Rights Reserved.
- 本製品は、以下のソフトウェアを使用しています。
camellia.h ver 1.2.0
camellia.c ver 1.2.0
Copyright (c) 2006,2007
NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation).
All rights reserved.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
- 本製品は、FreeTypeを使用しています。
The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved.
- 本製品は、OpenSSLを使用しています。
OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
Original SSLeay License
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
- 本製品は、ntpdateを使用しています。
Copyright (c) University of Delaware 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty.

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License（以下、GPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェアは、以下の[ソフトウェア情報]に記載のGPLおよびLGPLの条件によりソースコードの入手、再配布の権利があります。 組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、下記にご連絡ください。

〒652-0807
兵庫県神戸市兵庫区浜崎通２番15号　DXアンテナ株式会社
なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not includ eanything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any

particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared

library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user

who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR MPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY S WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

A、B、C・・・

1、2、3・・・

記号

取扱い・修理に関するご質問は、まず **お買い上げの販売店へ** お問い合わせください。

販売店が分からずお困りの場合は、下記のご相談窓口までお問い合わせください。その際は、

・**この製品の型番**（取扱説明書又は保証書などに記載しています）・**ご購入日**・**具体的な症状など** をお教えください。

※故障の場合、お問い合わせの前にこの説明書の「故障かな?と思ったときは」もご参照ください。

船井電機お客様ご相談窓口　お買い物・取扱い・修理・補修部品のご注文に関するお問い合わせ

音声ガイダンスに従って、お問い合わせの内容を電話のプッシュボタン（PB）信号で選択してください。担当するご相談窓口へおつなぎします。

各窓口の受付時間　9：00 ～ 17：30

（土曜・日曜・祝日及び夏季休暇・年末年始は除く）

※修理受付センターへはおつなぎできませんので、直接お問い合わせください。

・IP 電話などで上記番号をご利用になれない場合は、各相談窓口まで直接お問い合わせください。（通話料：有料）
・ナビダイヤルでのお問い合わせは、2010 年３月末で終了しました。ご利用誠にありがとうございました。

1 お買い物・取扱いのご相談窓口

船井電機株式会社　お客様ご相談室

電話　(072) 871-1110　FAX　(072) 871-1199
Web　**http://www.funai.jp/support/**

各相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

・お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でいただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、弊社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。

2 修理ご相談窓口（技術相談窓口）、修理品持込・送付先、アフターサービス

対象地区　関東・甲信越を除く全国

船井サービス株式会社　本社カスタマーセンター

電話　(06) 6746-3373　FAX　(06) 6746-3374
住所　〒577-0012　大阪府東大阪市長田東3-2-43 長田SKパークビル1F

対象地区　関東・甲信越

船井サービス株式会社　東京カスタマーセンター

電話　(042) 679-5402　FAX　(042) 679-5406
住所　〒192-0363　東京都八王子市別所 1-18-10

Web　**http://www.funai-service.co.jp/repair/**

船井サービス株式会社 修理受付センター（出張修理・持込修理受付窓口）

◆出張修理のご依頼や修理品の持ち込み・ご送付は下記窓口でもお受けしております。

札幌修理受付センター
☎(011)281-0130　FAX (011)281-0137
〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西 10-4 南大通ビルアネックス 1F

仙台修理受付センター
☎(022)299-1658　FAX (022)299-1662
〒984-0046 宮城県仙台市若林区二軒茶屋 3-5 鴫原ビル 1F

名古屋修理受付センター
☎(052) 735-0440　FAX (052) 735-0441
〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞 3-4-3 富田ビル 2F

津山修理受付センター
☎(0868) 28-7586　FAX (0868) 28-1746
〒708-0015 岡山県津山市神戸 88

福岡修理受付センター
☎(092) 475-1252　FAX (092) 475-3227
〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町 17-7 サンシティパーキングビル 1F

3 付属品（リモコンなど）・補修部品のご注文窓口

船井サービス株式会社　部品受注センター（全国）

電話　(0868) 28-7183　FAX　フリーコール 0120-0271-82（通信料：無料）
Web　**http://www.funai-service.co.jp/shop/（オンラインショッピング）**

名称・所在地・電話番号は都合により予告無く変更する場合がございますので、ご了承ください。

【DXアンテナ株式会社】　受付時間9:00～17:30（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）

首都圏ホームエレクトロニクス営業部	〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地　秋葉原ビルディング7F ☎(03) 3526-5318　F X (03) 3526-5712
近畿ホームエレクトロニクス営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号 新大阪上野東洋ビル8F ☎(06) 6889-1530　F X (06) 6889-1540

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹	・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹	・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹	・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹	・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹	・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹	・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹	・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹	・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹	・木更津出張所 TEL.(0438)23-6281㈹	・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹	・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹	・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881㈹	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹	・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹	・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹	・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹	・姫路出張所 TEL.(079)283-5920㈹	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹	・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹	・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311㈹	・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133㈹	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹	・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001（代）　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327（代）
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

販売元:	DXアンテナ株式会社	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通2番15号
製造元:	船井電機株式会社	〒574-0013	大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

A02A0JH
1EMN26065A ★★★★

※ 所在地、電話番号は都合により変更する場合がございますので、ご了承ください。（2010年4月現在）

Printed in China